

2 3 循環器・呼吸器病センター実験検査棟吸収式冷温水発生機改修工事

(工事名称はすべて上記名称に読み替えるものとする。)

図面番号	図面名称	
M-	1	機械設備工事特記仕様書(1)
	2	機械設備工事特記仕様書(2)
	3	機械設備工事特記仕様書(3)
	4	案内・配置図
	5	空調機器表(新設)
	6	空調機器表(撤去)
	7	空調配管設備 系統図(改修後)
	8	1階 空調配管設備図(改修後)
	9	2階 空調配管設備図(改修後)
	10	R階 空調配管設備図(改修後)
	11	空調ダクト設備 系統図(改修後)
	12	1階 空調ダクト設備図(改修後)
	13	2階 空調ダクト設備図(改修後)
	14	R階 空調ダクト設備図(改修後)
	15	空調配管設備 系統図(撤去)
	16	1階 空調配管設備図(撤去)
	17	2階 空調配管設備図(撤去)
	18	R階 空調配管設備図(撤去)
	19	空調ダクト設備 系統図(撤去)
	20	1階 空調ダクト設備図(撤去)

図面番号	図面名称	
M-	21	2階 空調ダクト設備図(撤去)
	22	R階 空調ダクト設備図(撤去)
	23	1階 天井改修範囲図
	24	2階 天井改修範囲図
	25	1階 天井伏図(既存)
	26	2階 天井伏図(既存)
	27	1階屋外 基礎図(撤去)
	28	自動制御設備 中央監視装置(改修後)
	29	自動制御設備 計装図(改修後)
	30	1階 自動制御設備図(改修後)
	31	2階 自動制御設備図(改修後)
	32	R階 自動制御設備図(改修後)
	33	自動制御設備 中央監視装置(改修前)
	34	自動制御設備 計装図1(改修前)
	35	自動制御設備 計装図2(改修前)
	36	1階 自動制御設備図(改修前)
	37	2階 自動制御設備図(改修前)
	38	R階 自動制御設備図(改修前)

図面番号	図面名称	
E-	1	電気設備工事特記仕様書
	2	案内・配置図
	3	受変電設備 結線図(既存)
	4	1階・屋外 詳細図
	5	R階 動力設備図(改修後)
	6	R階 動力設備図(改修前)
	7	照明器具 姿図
	8	1階 電灯設備図(改修後)
	9	2階 電灯設備図(改修後)
	10	1階 電灯設備図(改修前)
	11	2階 電灯設備図(改修前)
	12	1階 ファンコイルユニット電源接続図(改修前、後)
	13	2階 ファンコイルユニット電源接続図(改修前、後)

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部

	本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部					

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要																					
1	工事名称	23循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷水水発生機 改修工事																			
2	工事場所	熊谷市板井1696																			
3	工期	契約日から令和6年1月19日																			
	現場施工期間	令和6年 月 日から 令和6年 月 日																			
4	建物概要	現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。																			
	建物名称	構造	階数	延面積(m ²)	消防法施行令別表第一	備考															
①	実験検査棟	RC	2F	425.0																	
②																					
③																					
④																					
⑤																					
5	工事種目(●印を付いたものを適用する。)																				
	建物別及び屋外	工事種別																			
	工事種目	①	②	③	④	⑤	屋外														
●	空気調和設備	一式																			
○	換気設備																				
○	排煙設備																				
●	自動制御設備	一式																			
○	衛生器具設備																				
●	給水設備	一式																			
○	排水設備																				
○	給湯設備																				
○	消火設備																				
○	厨房機器設備																				
○	ガス設備																				
6	指定部分	※無 有 対象部分： 工期：令和 年 月 日																			
7	主任技術者又は監理技術者の専任期間(建設業法により必要になった場合)																				
1	専任期間の始期 請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで)の期間。令和 年 月 日までの期間)については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。																				
2	専任期間の終期 工事完成後、検査が終了(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。																				
3	専任期間の中断 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。																				
8	工事範囲 図示のとおり																				
9	機械設備工事概要 ・既存冷水水発生機を撤去し、空冷ヒートポンプチャラーに改修。 ・既存空気調和機の撤去、更新。 ・既存ファンコイルユニット、パッケージエアコンの撤去、更新。																				
	埼玉県環境配慮方針の適用項目(12)(該当項目数：)																				
	長寿命機材の選定(2-3-③)	設備更新を踏まえた計画(2-3-④)	再生品の優先使用(2-3-⑥)	有害物質の放散量が少ない材料の使用(2-4-②)	発生材の再資源化を推進(3-1-⑥)	フロン等の回収、破壊を行う(4-1-①)	代替フロンの使用抑制(4-1-②)	新冷媒の採用(4-1-③)	太陽熱利用システムの導入(5-1-②)	高効率機器の採用(5-2-②)	ソーニングの工夫(5-3-①)	外気冷房制御の導入(5-3-④)	搬送動力の低減(5-3-③)	ヒートポンプの採用(5-3-②)	熱回収システムの導入(5-3-⑤)	コージェネレーションの導入(5-4-①)	節水機器の採用(6-1-①)	雨水利用(6-1-③)	排水再利用(6-1-④)	アスコン廃材の再利用(6-3-②)	再生塩ビ管の採用(6-3-③)
10	電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。																				
11	同時期発注の関連工事 ・建築工事 ・電気設備工事																				
II 工事仕様																					
1	共通仕様																				
(1)	この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(以下「標準仕様書等」という。))及び監督員の指示に従い施工する。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。 (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。 (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。																				
2	特記仕様																				
(1)	章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。																				
(2)	特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。																				

項目		特記事項		
①	機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7%以内の有無を確認し、7%以内を含む機材は、使用しないこと。「国等による環境物品等の調達に関する法律」(グリーン購入法)に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。 ・置く ※置かない		
②	電気保安技術者			
③	施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律(563第91号)に定める行政機関の休日以外。 ○上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。 ・配管施工(配管工事) ・建築板金施工(風道制作及び取付け) ・熱絶縁施工(保温工事) ・冷凍空気調和機器施工(冷凍空調機器の据付け)		
4	技能士の適用	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所(事前に監督員の承諾を得る)に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化水素イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。 ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに(概ね3ヶ月以内)流入水・処理水の水質試験を行う。 試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。		
⑥	監督員事務所	本工事で ・設ける(規模) ※設けない		
⑦	官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。		
⑧	工事用電力・水等	本工事に必要な工事用電力及び水などの費用は、すべて受注者の負担とする。		
⑨	工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない		
⑩	足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ○本工事とする。		
⑪	建設発生土の処理	埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。		
⑫	埋め戻し土・盛土	※根切土中の良質土(但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ・山砂の類		
⑬	再生砂・再生砕石・再生アスコン使用	契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。 再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。		
⑭	発生材の処理等	※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 (構外搬出処理費は ※本工事 ・別途) (1) 引渡しを要するもの() (2) 買取処分を要するもの() (3) 再生資源化を図るもの(・硬質塩化ビニル管 ・) (4) 特別管理産業廃棄物() ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調査を提出すること。		
⑮	容量等の表示	(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。		
16	配管	(1) 地中埋設配管(排水管を除く) 1) 地中埋設機(コンクリート製) ※要(図示の箇所) ・不要 2) 地中埋設機(キャットパイ) ※要(舗装部の分岐、曲部) ・不要 3) 埋設表示テープ(2倍折込み) ※要 ・不要		
⑰	耐震施工	設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)を参考とする。 ただし、設計用地震力(水平及び鉛直)は次の設計用水平地震力 K_h 及び設計用鉛直地震力 K_v ($K_h/2$)を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。		
	設計用水平地震			
	設置場所	耐震安全性の分類		
		特定の施設 一般の施設		
		重要機器 一般機器 重要機器 一般機器		
上層階	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)
	<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>
1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4
	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>
(注)	()内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 < >内の数値は水槽類に適用する。 ※上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階) 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの(平屋建の場合は無し) 重要機器は次のものを示す。 給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器 防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置 火を使用する設備 避難経路上に設置する機器			
⑱-1	あと施工アンカー	機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 (原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。) あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。		

⑳ 防露保温工事	標準仕様書第2編によるほか下記による。
	空気調和設備工事の保温の種別
	区分 施工箇所 保温種別
ドレン管	屋内露出(一般居室、廊下) a1・(ハ)・Ⅶ 機械室、書庫、倉庫 b・(ハ)・Ⅶ 天井内、P S内及び空腔壁中 c2・(ロ)・Ⅶ 浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。) e3・(ハ)・Ⅶ
蒸気管	屋内露出(一般居室、廊下) A1・(イ)・Ⅱ 機械室、書庫、倉庫 B・(イ)・Ⅲ 天井内、P S内及び空腔壁中 C2・(ロ)・Ⅱ 床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。) D・(ロ)・Ⅱ 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。) E3・(イ)・Ⅱ
冷水・冷温水管(膨張管、空気抜き管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下) A1・(ハ)・Ⅲ 機械室、書庫、倉庫 B・(ハ)・Ⅲ 天井内、P S内及び空腔壁中 C1・(イ)・Ⅲ 床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。) D・(ハ)・Ⅲ 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。) E3・(ハ)・Ⅲ
温水管(膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下) A1・(イ)・Ⅰ 機械室、書庫、倉庫 B・(イ)・Ⅰ 天井内、P S内及び空腔壁中 C2・(ロ)・Ⅰ 床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。) D・(ロ)・Ⅰ 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。) E3・(イ)・Ⅰ
(注)1.	冷媒管は、断熱材被覆鋼管を使用し、外装は下記による。 屋内露出部 ※保温化粧カバー(※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製) 屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング ・保温化粧カバー(※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製)
2.	施工種別日の材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。
3.	機器類の保温材の種類は、(※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材)とする。
	ダクトの保温の種別
	区分 施工箇所 保温種別
長方形ダクト	屋内露出(一般居室、廊下) J1・(イ)・XⅠ 屋内露出(機械室、書庫、倉庫) I・(イ)・XⅠ 屋内隠ぺい、D S内 I・(ロ)・XⅠ 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。) K3・(イ)・XⅠ
円形ダクト	屋内露出(一般居室、廊下) O1・(イ)・XⅠ 屋内露出(機械室、書庫、倉庫) N・(イ)・XⅠ 屋内隠ぺい、D S内 N・(ロ)・XⅠ 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。) P3・(イ)・XⅠ
消音内貼り	サブライチャンパー M・(ロ)・IX 消音チャンパー・消音エルボ L・(ロ)・Ⅶ
	給湯衛生設備工事の保温の種別
	区分 施工箇所 保温種別
給水管	屋内露出(一般居室、廊下) a1・(ハ)・Ⅶ 機械室、書庫、倉庫 b・(ハ)・Ⅶ 天井内、P S内及び空腔壁中 c2・(ロ)・Ⅶ 戸建住宅P S内 c2・(ハ)・Ⅶ 床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。) - 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。) e3・(ハ)・Ⅶ
排水及び通気管	屋内露出(一般居室、廊下) - 機械室、書庫、倉庫 - 天井内、P S内及び空腔壁中 c2・(ロ)・Ⅶ P S及び空腔壁中 - 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。) e3・(ハ)・Ⅶ
給湯管(膨張管、空気抜き管、膨張タンクからボイラー等への補給水管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下) a1・(イ)・Ⅰ 機械室、書庫、倉庫 b・(イ)・Ⅰ 天井内、P S内及び空腔壁中 c2・(ロ)・Ⅰ P S内及び空腔壁中 d・(ロ)・Ⅰ 屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。) e3・(イ)・Ⅰ
(注)1.	消火、排水及び通気管のうち見えかきり部は塗装を施す。
2.	排水管の管理が耐火二層管、耐火V Pの場合は、保温を要しない。
3.	施工種別bの材料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。
4.	機器類の保温材の種類は、(※グラスウール ・ロックウール)とする。
5.	消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ) ・Ⅶとする。
6.	便所内露出S U管及び流し内露出S U管は保温を要しない。
7.	空調設備を要する便所(特別支援学校等)以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所によらず保温を要しない。 ※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。
19	防凍保温 ・屋外露出給水管(呼び径20以内のみ)は、保温厚50mmの防凍保温を行うこと。 ※図示の屋外露出部(給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。)は下記仕様により防凍保温を行う。 ※保温仕様は保温厚さを40mmとする。 ・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。
20	塗装 下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ※機械室、書庫、倉庫 ・ 下記の金属電線管は塗装を行う。 ※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出(見えかきり部)
㉑	電線 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐業外観性能を有するものとする。 ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。

㉒	はつり及びあと施工アンカー打設	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所について×線影調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合には、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。
㉓	管の埋設深さ	(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。 (2) 構内車両通過では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。 (3) その他の場所では、地表面(舗装する部分では路盤材下面)から管の上端まで300mmとする。
㉔	既設管分岐・接続	既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。
㉕	絶縁継手の設置 ・種別	※コンクリートの建築物に出入りする箇所付近の露出部配管 ※鋼管と銅管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ※50 A以下は絶縁ユニオンとし、それ以外は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ
26	天井仕上げ区分	()書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
27	他工事との取合区分	スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。
㉘	施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。
㉙	保険	受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写しを監督員に提出する。
㉚	配管識別	配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。
㉛	墜落制止用器具(フルハーネス型)	※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン(平成30年6月22日付け基発0622第2号)による ・使用を要しない
32	誘導電動機	三相誘導電動機はJ I S C 4 2 1 3 (I E 3) トップランナーモーターとする。
㉜	完成図書 の電子納品	完成図書の電子納品運用ガイドライン ※適用する ・適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表(名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等)を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り製本4部とする。
㉝	その他	工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又は、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
①	共通事項	改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。
②	改修部分の足場	本工事で単独に必要な足場は、下記より設ける。 (1) 内部足場 ※ 脚立足場 ・枠組足場 ・ (2) 外部足場 ※A種(枠組足場) ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 ※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「動きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中せん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。
③	既存部分養生 ・既存家具等養生	(1) 関係受注業者と共用部分 ※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。(種別は(2)による。) (2) 本工事で単独で必要となる養生は、下記による。 ※B種 単管下地全面シート張り ・
④	備品等の移動	・別途工事 ・本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事
5	仮設間仕切り	(1) 関係請負業者と共用部分 ※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。(種別は(2)による。) (2) 本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。 ※A種 単管下地全面シート張り ・
⑥	撤去後機材の扱い	(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。 (2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。 それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出すること。
⑦	支持金物の再使用	(1) インサート金物 ・インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品 (2) 形鋼支持金物等 ・再使用できる ※新品
⑧	あと施工アンカーの種別	金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
⑨	フロン回収	冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。 ※破壊プラント搬入 ・フロン再生後引き渡し ・再生引き渡し 「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づき処理すること。
⑩	総合調整	・全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整
⑪	既設基礎類の解体 はつり	建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。 粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。
⑫	アスベスト事前 調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あたりに報告すること。
⑬	その他	(1) 図面上の縮尺は、J I S A1幅とし縮尺とする。 (2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図面名	図面番号
								23 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷水水発生機改修工事	機械設備工事特記仕様書(1)	M-01

		(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 (4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの(一財)日本石油燃焼機器保守協会)が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。	標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転制御 ・ オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の新熱材被覆配管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	12 振音装置 13 そ の 他	2 洗面器等の排水管 3 満水試験継手 4 樹の適用	洗面等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・ 満水試験用掃除口ソケット 別紙表による。																																																																
			標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転制御 ・ オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の新熱材被覆配管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	12 振音装置 13 そ の 他	2 洗面器等の排水管 3 満水試験継手 4 樹の適用	洗面等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・ 満水試験用掃除口ソケット 別紙表による。																																																																
			標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転制御 ・ オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の新熱材被覆配管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	12 振音装置 13 そ の 他	2 洗面器等の排水管 3 満水試験継手 4 樹の適用	洗面等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・ 満水試験用掃除口ソケット 別紙表による。																																																																
● 空気調和設備	① 設計温湿度	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2">屋 内</th> </tr> <tr> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> <td>温度 (DB)</td> <td>湿度 (RH)</td> </tr> <tr> <td>夏 期 36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>9%</td> <td>℃</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>冬 期 0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>℃</td> <td>9%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの室内設定値は、夏期湿度50%とする。</p>	外 気		一 般 系 統		屋 内		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期 36.9℃	46.1%	28℃	9%	℃	9%	冬 期 0.6℃	50.7%	20℃	9%	℃	9%	● 給水設備	① 配管材料	配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シダー内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td>※H1VP ・ 水通用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>県営住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シダー内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、PS内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注)1. SUSとは、JIS G 3448 またはJIS G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (圧縮・グアム) ※拡管 使用・廊下流し廻り露出配管 (拡管) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、該接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。 5. 口径2.5Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	地中埋設部 (水道直結部分)	※H1VP ・ 水通用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE)	地中埋設部 (一般部分)	※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE)	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	湿潤シダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	地中埋設部 (一般部分)	※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE)	便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管	○ 給湯設備	1 配管材料	・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管 (M鋼管) ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法) 取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分
外 気		一 般 系 統		屋 内																																																																		
温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																	
夏 期 36.9℃	46.1%	28℃	9%	℃	9%																																																																	
冬 期 0.6℃	50.7%	20℃	9%	℃	9%																																																																	
施 工 箇 所	管 種 別																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ ポリブテン管																																																																					
ウエット厨房、浴室等の湿潤シダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																					
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD																																																																					
地中埋設部 (水道直結部分)	※H1VP ・ 水通用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																					
地中埋設部 (一般部分)	※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																					
県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)																																																																					
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																					
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																					
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																					
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																					
湿潤シダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																					
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD																																																																					
地中埋設部 (一般部分)	※H1VP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE)																																																																					
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																					
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																					
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																					
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ H1VP ・ ポリブテン管																																																																					
	② 総合試運転調整	※本工事 ・ 別途 風量調整 ※する ・ しない 水量調整 ・する ※しない 騒音の測定 ※する ※しない 室内外空気温度の測定 ※する ・ しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・ しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ・する ※しない	2 円形ダクト	● 給水設備	○ 給湯設備	2 絶縁フランジ	取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分																																																															
	3 煙 道	(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・ 4.5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・ 設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は8φとする) ・ 設けない	3 風量測定口	○ 給湯設備	○ 給湯設備	3 弁 類	(1) 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。																																																															
	4 煙 突	※別途 ・ 本工事	4 チャンパー	○ 給湯設備	○ 給湯設備	4 ガス瞬間湯沸器	※屋外設置の潜熱回収型 ・ PS扉内設置の潜熱回収型																																																															
	⑥ 長方形ダクト	※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (A区分 ※B区分) ・塩ビ製ダクト (A区分 ※B区分)	5 ダンパー	○ 給湯設備	○ 給湯設備	5 電気給湯器	飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。																																																															
	⑥ 円形ダクト	※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製) ・ 硬質塩化ビニル管 (VU) ・ 換気用耐火二層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (保温付 ・ 保温無) (注)1 使用区分は図示による。	6 多湿箇所排気ダクト	○ 給湯設備	○ 給湯設備	1 配管材料	屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・ STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・ H1VP 消火用 一般配管※SGP (白) ・ STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・ H1VP 不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・ STPG370 (白) Sch80																																																															
	⑦ 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト	7 保 温	○ 給湯設備	○ 給湯設備	2 建物導入部配管	図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 ((a) ・ (b) ・ (c))																																																															
	8 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付け付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	8 試運転調整	○ 給湯設備	○ 給湯設備	1 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・ SGP (白) 地中埋設 ※PE管																																																															
	⑨ 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製	9 試運転調整	○ 給湯設備	○ 給湯設備	2 ガス漏れ警報遮断装置	漏洩検知装置は、流量検知圧力監視型とする。																																																															
	10 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・)	1 ダクト	○ 給湯設備	○ 給湯設備	3 液化石油ガスの供給権	ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																															
	⑪ 配管材料	① 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ (3) ブライン管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ ④ 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・ 10以上 液管 ・ 20以上 ※10以上) ⑤ ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 硬質塩化ビニル管VP ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (XLD/AC/UP/A'相当品) ・ 耐火二層管VP (FDPS-1) ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ・ ステンレス鋼管 ⑧ 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	2 排煙口の形式	○ 給湯設備	○ 給湯設備	1 厨房機器の固定	原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。																																																															
	⑫ 弁 類	規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	3 排煙口手動開放装置	○ 給湯設備	○ 給湯設備	2 シンク用水栓	※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓																																																															
	⑬ 温 度 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・	4 排煙風量測定	○ 給湯設備	○ 給湯設備	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																															
	⑭ 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・	① 中央監視制御装置	● 自動制御	○ 給湯設備	1 厨房機器の固定	原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。																																																															
	⑮ 瞬間流量計	瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・ 個) 付属とする。 ○熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 ○空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。	② 構成・機能	● 自動制御	○ 給湯設備	2 シンク用水栓	※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓																																																															
	16 油面制御装置	※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 制御盤には (※給油ポンプ制御 ※漏減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロースイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	③ 電気計装用機材	● 自動制御	○ 給湯設備	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																															
	17 冷却塔	※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	1 小便器用排水装置	● 自動制御	○ 給湯設備	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注)1. リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-VF、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はV45度で行う。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)	その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管	その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU	共通	※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)	その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	○ 給湯設備	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注)1. リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-VF、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はV45度で行う。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)	その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管	その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU	共通	※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)	その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管												
施 工 箇 所	管 種 別																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																					
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)																																																																					
その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管																																																																					
その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU																																																																					
共通	※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)																																																																					
その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
施 工 箇 所	管 種 別																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																					
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)																																																																					
その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管																																																																					
その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU																																																																					
共通	※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)																																																																					
その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
			2 バリアフリー対応	○ 給湯設備	○ 給湯設備	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注)1. リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-VF、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はV45度で行う。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)	その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管	その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU	共通	※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)	その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																							
施 工 箇 所	管 種 別																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																					
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)																																																																					
その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管																																																																					
その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU																																																																					
共通	※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)																																																																					
その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
			3 衛生器具付止水栓	○ 給湯設備	○ 給湯設備	2 ガス漏れ警報遮断装置	漏洩検知装置は、流量検知圧力監視型とする。																																																															
			4 自動水栓類の電源	○ 給湯設備	○ 給湯設備	3 液化石油ガスの供給権	ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																															
			5 暖房便座	○ 給湯設備	○ 給湯設備	1 厨房機器の固定	原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。																																																															
			6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク	○ 給湯設備	○ 給湯設備	2 シンク用水栓	※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓																																																															
			7 大便器耐火カバー	○ 給湯設備	○ 給湯設備	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																															
			8 掃除戻し	○ 給湯設備	○ 給湯設備	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注)1. リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-VF、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はV45度で行う。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)	その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管	その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU	共通	※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)	その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																							
施 工 箇 所	管 種 別																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																					
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)																																																																					
その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管																																																																					
その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU																																																																					
共通	※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)																																																																					
その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
			9 排水器具用JL継手	○ 給湯設備	○ 給湯設備	2 ガス漏れ警報遮断装置	漏洩検知装置は、流量検知圧力監視型とする。																																																															
			10 標 記 板	○ 給湯設備	○ 給湯設備	3 液化石油ガスの供給権	ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																															
			11 水せつけん入れ	○ 給湯設備	○ 給湯設備	1 厨房機器の固定	原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。																																																															
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	2 シンク用水栓	※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓																																																															
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																															
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注)1. リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-VF、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はV45度で行う。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)	その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管	その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU	共通	※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)	その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																							
施 工 箇 所	管 種 別																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																					
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)																																																																					
その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管																																																																					
その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU																																																																					
共通	※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)																																																																					
その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	2 ガス漏れ警報遮断装置	漏洩検知装置は、流量検知圧力監視型とする。																																																															
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	3 液化石油ガスの供給権	ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																															
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	1 厨房機器の固定	原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。																																																															
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	2 シンク用水栓	※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓																																																															
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																															
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td>耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注)1. リサイクルVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-VF、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はV45度で行う。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)	その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管	その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU	共通	※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)	その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																							
施 工 箇 所	管 種 別																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																					
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)																																																																					
その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ 排水用/非-塩化ビニル鋼管																																																																					
その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU																																																																					
共通	※卵形管 (ゴム輪接合) ・ RFP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
通気配管	耐火性能を要求される箇所 ※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)																																																																					
その他の部分	※リサイクルVP又はRF-VF ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	2 ガス漏れ警報遮断装置	漏洩検知装置は、流量検知圧力監視型とする。																																																															
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	3 液化石油ガスの供給権	ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																															
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	1 厨房機器の固定	原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。																																																															
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	2 シンク用水栓	※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓																																																															
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	3 安全装置の機能の適用	標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																															
				○ 給湯設備	○ 給湯設備	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。 <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr></table>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)	その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																					
施 工 箇 所	管 種 別																																																																					
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP																																																																					
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																					
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1) 又は耐火VP ・ SGP (白)																																																																					
その他の部分	※RF-VF又はリサイクルVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																					

環境配慮 (グリーン) 改修工事	① アスベスト処理工事 一般共通事項	留意事項 1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。 2 アスベスト処理を所管する行政の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。 3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)(以下「改修仕様」という)及び「建築物等の解体に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」(令和3年3月 厚生労働省・環境省)による。
	2 アスベスト含有分析 調査	分析によるアスベスト含有建材の調査 [9.1.1] ・ 行う(下表による)
	③ アスベスト粉じん 濃度測定	アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1] ・ 行う(測定名称及び測定点は下表による)

材料名	調査方法(1材料あたりの試料数:3サンプル)
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示

分析対象
※ アスベスト 6 種類(アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト)

調査方法・分析方法
※ JIS A 1481 規格群(1481-1,2,3,4)「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。
分析結果については、監督員に提出すること。

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 (各処理作業ごと)	備考	
レベル1	レベル2	レベル3				
○	○	●	処理作業前	処理作業室内	※各2点・各3点	
○	○	●	測定2	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
		●	測定3	処理作業室内	各2点	
○	○	●	測定4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	空気の混れを確認
○	○	●	測定5	処理作業中	負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)	除じん装置の性能確認
○	○	●	測定6	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
○	○	●	測定7	処理作業後	処理作業室内	各2点(レベル3は1点)
○	○	●	測定8	処理作業後(隔離シート除去前)	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点
		●	測定9	処理作業後(シート除去後)	処理作業室内	各2点(レベル3は1点)
		●	測定10	1週間以降	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点

アスベスト粉じん濃度測定方法
アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部:光学顕微鏡法及び定査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定3	測定1,2,4,6,7,8,9,10	測定5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
フィルター径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径(幅) 3µm 未満、長さ 5µm 以上、長さ直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成(記録する項目)
ア 測定結果
イ 測定時間
ウ 測定位置(測定高さとともに図面上に記載)
エ サンプリング条件(メンブレンフィルタ径、吸引時間、吸引空気量)
オ マウンティング方法
カ 顕微鏡視野面積、計数視野数
キ 測定時(各測定場所ごと)の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク 周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4 7μm以上含有吹き付け材の撤去(レベル1)	アスベスト含有吹き付け材の除去 [9.1.3] ・ 行う 除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。 除去物及び汚染物質等 処理方法 ※密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・セメント固化 処理を行う吹き付けアスベストの仕様
5 7μm以上含有保温材等の撤去(レベル2)	アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4] ・ 行う 作業上の隔離 ・ 行う ・ 行わない 処理を行う保温材等アスベストの仕様
6 7μm以上含有成形板類の撤去(レベル3)	① アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5] ・ 行う 処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
		※ 図示

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
		※ 図示

材料名(製品名)	含有するアスベストの種類	処理を行う範囲
○天井材(ケイ酸カルシウム板)	クリソタイル	※ 図示
		※ 図示
		※ 図示
		※ 図示

2 非石綿部での切断による除去 [9.1.6]
・ 行う
処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材料名	含有するアスベストの種類	処理を行う範囲
・設備機器ダクト接合部(石綿含有パッキン紐込)		※ 図示 ・撤去範囲すべて
・石綿含有保温材付配管		※ 図示 ・撤去範囲すべて
・石綿含有配管フランジパッキン		※ 図示 ・撤去範囲すべて
		※ 図示 ・撤去範囲すべて

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれ考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

<参考>石綿使用有無の事前調査フロー

```

graph TD
    A["(1) 設計図書による調査  
① 施工年による調査  
② 使用建築材料による調査"] --> B{可能性あり・不明}
    A --> C{可能性なし}
    B --> D["(2) 現場目視による調査  
目視調査(建材の確認)"]
    D --> E{可能性あり・不明}
    D --> F{可能性なし}
    E --> G{分析を実施しない場合}
    E --> H{分析を実施する場合}
    G --> I{石綿含有とみなす}
    I --> J[石綿使用あり・届出要件確認・届出]
    H --> K["(3) 分析調査による判定  
JIS A 1481-2「建設製品中のアスベスト含有率測定方法」など"]
    K --> L{石綿含有0.1%を超えていると判断}
    L --> J
    K --> M{石綿含有0.1%以下と判断}
    M --> N[石綿使用なし]
  
```

<参考>非飛散性石綿含有建材を除去する時の作業フロー

1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去(レベル2)
成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生(負圧不要)、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有吹き付け材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に通報する。

<作業フローチャート>

```

graph TD
    A[石綿作業主任者の選任  
作業員への特別教育の実施] --> B[工事計画・要領書の作成・届出  
必要機器・資材の準備・調達]
    B --> C[除去工事実施の表示  
外側から見やすい位置に掲示する。]
    C --> D[事前清掃]
    D --> E[周辺の養生  
成層生以外に開口部もシート等で養生する。]
    E --> F[粉じん飛散抑制剤の散布・遠送]
    F --> G[原形のまま取り外し]
    G --> H[取り残しがないことの確認]
    H --> I[除去面に粉じん飛散防止処理剤散布]
    I --> J[養生材の清掃または粉じん飛散抑制剤散布]
    J --> K[養生の除去]
    K --> L[最終清掃]
    L --> M[作業記録]
    N[所管行政の指導により、特別管理産業廃棄物として最終処分]
  
```

2 非石綿部での切断による除去【ダクトパッキン・配管パッキン】(レベル3)
建築物のダクトには、接合部に石綿含有物を使用されていることが多い。この場合、直接石綿含有物に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱いは作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

<作業フローチャート>

```

graph TD
    A[石綿作業主任者の選任  
作業員への特別教育の実施] --> B[作業計画の作成・作業の届出  
必要機器・資材の準備・調達]
    B --> C[除去工事実施の表示  
所管行政の指導がある場合]
    C --> D[事前清掃]
    D --> E[石綿含有部分以外の部分で切断  
参考図のとおり切断する。]
    E --> F[プラスチックシートまたは袋で二重梱包]
    F --> G[最終清掃]
    G --> H[作業記録]
    I[切断部分の収集・運搬]
    J[最終処分]
  
```

参考図1 設備機器ダクト接合部の除去方法

参考図2 配管フランジパッキンの除去方法

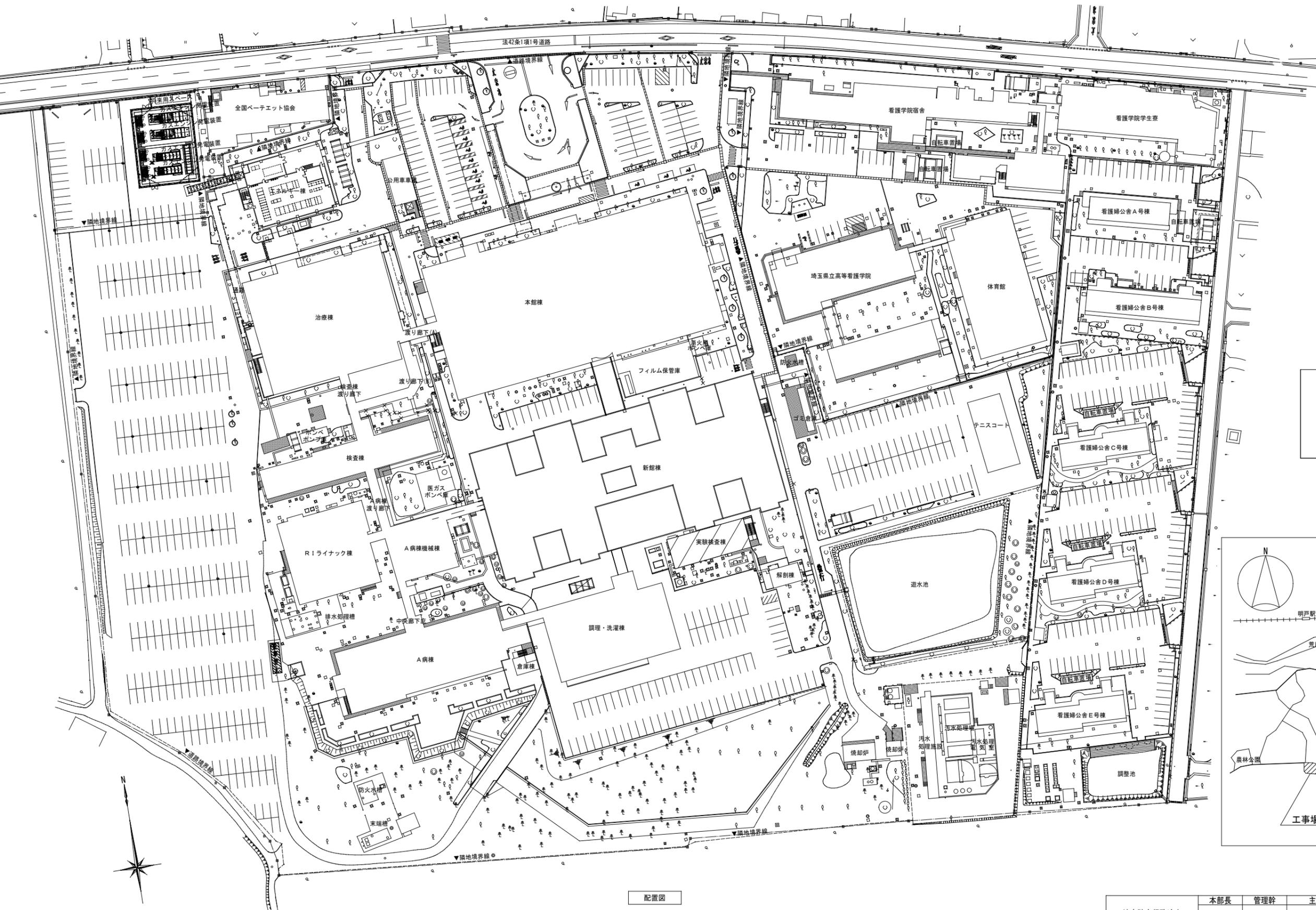
参考図3 石綿含有保温材付配管の除去方法

3 非石綿部での切断による除去【配管保温材】(レベル2)
直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大気汚染防止法の届出は不要とされている。ただし、石綿障害予防規則では、石綿取り扱いは作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

<作業フローチャート>

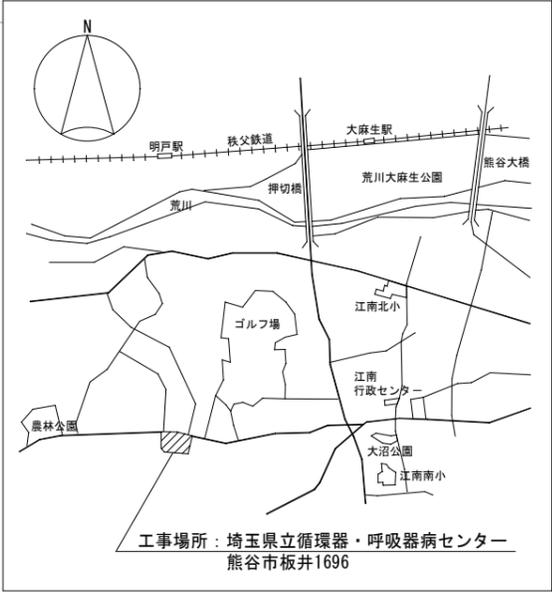
```

graph TD
    A[石綿作業主任者の選任  
作業員への特別教育の実施] --> B[工事計画・要領書の作成・届出  
必要機器・資材の準備・調達]
    B --> C[除去工事実施の表示  
外側から見やすい位置に掲示する。]
    C --> D[事前清掃]
    D --> E[周辺の養生  
開口部等をシート等で養生する。]
    E --> F[配管エルボ部をポリシートまたは養生テープで養生  
配管エルボ部を覆らしたウエス等で湿潤化]
    F --> G[石綿含有部分以外の部分で切断  
参考図のとおり切断する。]
    G --> H[液流で安定化し、プラスチックシートまたは袋で二重梱包]
    H --> I[最終清掃]
    I --> J[作業記録]
    K[切断部分の収集・運搬]
    L[最終処分  
※廃棄する場合、特別管理産業廃棄物として管理責任者を選任し適正に処理すること。]
  
```



凡例

 工事範囲を示す



案内図

配置図

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事 図面名 案内・配置図	設計図 図面番号 M - 04 縮尺 A 1 : 600 A 3 : 1200
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------

機器表(新設)

図面記号	名称	仕様	相	電圧(V)	消費電力(kW)	台数	設置階	設置室名	備考
HPC-1	空冷ヒートポンプチラー	屋外型	3	200	冷房44.3	1	R	屋上	既存基礎利用
		冷房能力: 150 kW 冷水 7-12 °C、外気 DB 35°C 暖房能力: 145 kW 温水 50-45 °C、外気 DB 0°C 冷水: 流量 430L/min 圧力損失 114kPa			既存基礎増打ち				
		定速冷水ポンプ内蔵、機外揚程 25m 防振架台、アクティブフィルター10 kVA内蔵 自動制御盤(中央監視盤より遠方発停、状態、警報、凍結防止用ポンプ運転信号出力) 参考寸法 3400 x 1020 x 2430H 重量 1.380 kg	3	200	5.5				
EXPT-1	密閉式膨張タンク	タンク容積 39.0L 最大使用受水量 23.0L 屋外設置床置型 参考寸法 391φ x 508H 重量 10.0 kg 最高使用圧力 0.5 MPa 初期封入圧力 0.15 MPa 保温ラッキングとも				1	R	屋上	既存サービスタンク基礎利用 基礎上面モルタル補修とも
PS-1	受水槽内蔵型水道加圧装置	加圧スタター 貯水量 10L 給水量 20L/min 押し高さ 8m 一次給水口 20mm 二次給水口 20mm 参考寸法 450 x 285 x 705H 重量 23 kg	1	100	出力 0.1	1	R	屋上	既存サービスタンク基礎利用 基礎上面モルタル補修とも
AHU-1	空調機	屋外床置水平型 全外気 給気フード、防虫網付 冷房能力 41.0 kW 冷水 7-12°C 125L/min 暖房能力 44.0 kW 温水 50-44.7°C 125L/min 風量 3,400m³/h 機外静圧 300Pa 冷房 入口 DB 36.8°C WB 27.4°C 出口 DB 19.5°C WB 18.0°C 暖房 入口 DB 0.3°C WB -3.2°C 出口 DB 34.5°C 気化式加湿器 有効加湿量 21.2 kg/h プレフィルター、中性能フィルター(比色法65%以上) 溶融亜鉛メッキ架台、ステンレス製ドレンパン付 参考寸法 3,800 x 1,500 x 1,100H 重量 1,100 kg	3	200	1.5	1	R	屋上	既存基礎利用
FQU-4CS	ファンコイルユニット	天吊隠蔽カセット 二方向吹型 冷房能力 3.05 kW 冷水 7-12°C DB 26°C 水量 10L/min 暖房能力 3.77 kW 温水 50-45.0°C DB 22°C 水量 10L/min 小型電動三方弁組込(計装工事支給) ファンコイル運動運転用リレー及び端子付、表示灯付リ モコンスイッチとも	1	100	0.100	1	2	工作室	
FQU-6CS	ファンコイルユニット	天吊隠蔽カセット 二方向吹型 冷房能力 4.58 kW 冷水 7-12°C DB 26°C 水量 15L/min 暖房能力 5.68 kW 温水 50-45.0°C DB 22°C 水量 15L/min 小型電動三方弁組込(計装工事支給) ファンコイル運動運転用リレー及び端子付、表示灯付リ モコンスイッチとも	1	100	0.130	10	1 2	準備室 中央実験室、会議室 スタッフ事務室	
FQU-3CA	ファンコイルユニット	天吊隠蔽ダクト型 冷房能力 1.99 kW 冷水 7-12°C DB 26°C 水量 6L/min 暖房能力 2.48 kW 温水 50-45.0°C DB 22°C 水量 7L/min 小型電動三方弁組込(計装工事支給) ファンコイル運動運転用リレー及び端子付、表示灯付リ モコンスイッチとも	1	100	0.060	2	1	ネコ飼育室、ウサギ飼育室	
FQU-8CA	ファンコイルユニット	天吊隠蔽ダクト型 冷房能力 5.33 kW 冷水 7-12°C DB 26°C 水量 16L/min 暖房能力 6.61 kW 温水 50-45.0°C DB 22°C 水量 19L/min 小型電動三方弁組込(計装工事支給) ファンコイル運動運転用リレー及び端子付、表示灯付リ モコンスイッチとも	1	100	0.130	2	1	慢性実験室 中大動物飼育室	
OFQU-1	クリーン ファンコイルユニット	天吊隠蔽カセット、HEPAフィルター内蔵吹出グリル付、プレフィルター付き吸込口一体型 冷房能力 2.1 kW 冷水 7-12°C DB 26°C 水量 6L/min 暖房能力 2.8 kW 温水 50-45.0°C DB 22°C 水量 8L/min 小型電動三方弁組込(計装工事支給)、外気取入口付 ファンコイル運動運転用リレー及び端子付、表示灯付リ モコンスイッチとも 参考寸法 750 x 1,565 x 660H 重量 160 kg	1	200	0.2	1	1	ラットマウス飼育室	
OFQU-2	クリーン ファンコイルユニット	天吊隠蔽カセット、HEPAフィルター内蔵吹出グリル付、吸込ダクト 接続型 冷房能力 3.4 kW 冷水 7-12°C DB 26°C 水量 9.7L/min 暖房能力 4.5 kW 温水 50-45.0°C DB 22°C 水量 12.9L/min 小型電動三方弁組込(計装工事支給) ファンコイル運動運転用リレー及び端子付、表示灯付リ モコンスイッチとも 参考寸法 750 x 1,215 x 660H 重量 135 kg	1	200	0.2	4	1	手術室	
OFQU-3	クリーン ファンコイルユニット	天吊隠蔽カセット、HEPAフィルター内蔵吹出グリル付、プレフィルター付き吸込口一体型 冷房能力 3.6 kW 冷水 7-12°C DB 26°C 水量 10.3L/min 暖房能力 4.5 kW 温水 50-45.0°C DB 22°C 水量 12.9L/min 小型電動三方弁組込(計装工事支給)、外気取入口付 ファンコイル運動運転用リレー及び端子付、表示灯付リ モコンスイッチとも 参考寸法 1,050 x 1,750 x 660H 重量 240 kg	1	200	0.2	2	2	クリーンルーム	
PAC-1	パッケージエアコン	天吊リカセット型 中温用 更新対応 冷房能力 4.7 kW DB 20°C WB 15°C 外気 DB 35°C リ モコンスイッチとも	3	200	1.63	1	1	倉庫	室外機既存基礎利用 既存冷媒管15.9φx6.4φ再利用

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

概要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤	大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷水発生機改修工事	設計図 図面番号 空調機器表(新設)	縮尺 A 1:1: NON A 3:1: NON	M - 05
----	---------------------	-------	----------	----------	----------	----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------	--------------------------	--------------------------------	--------

機器表(撤去)

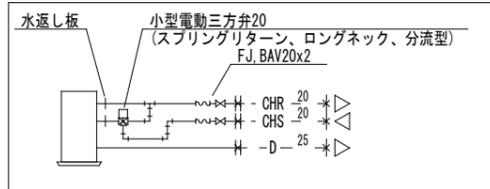
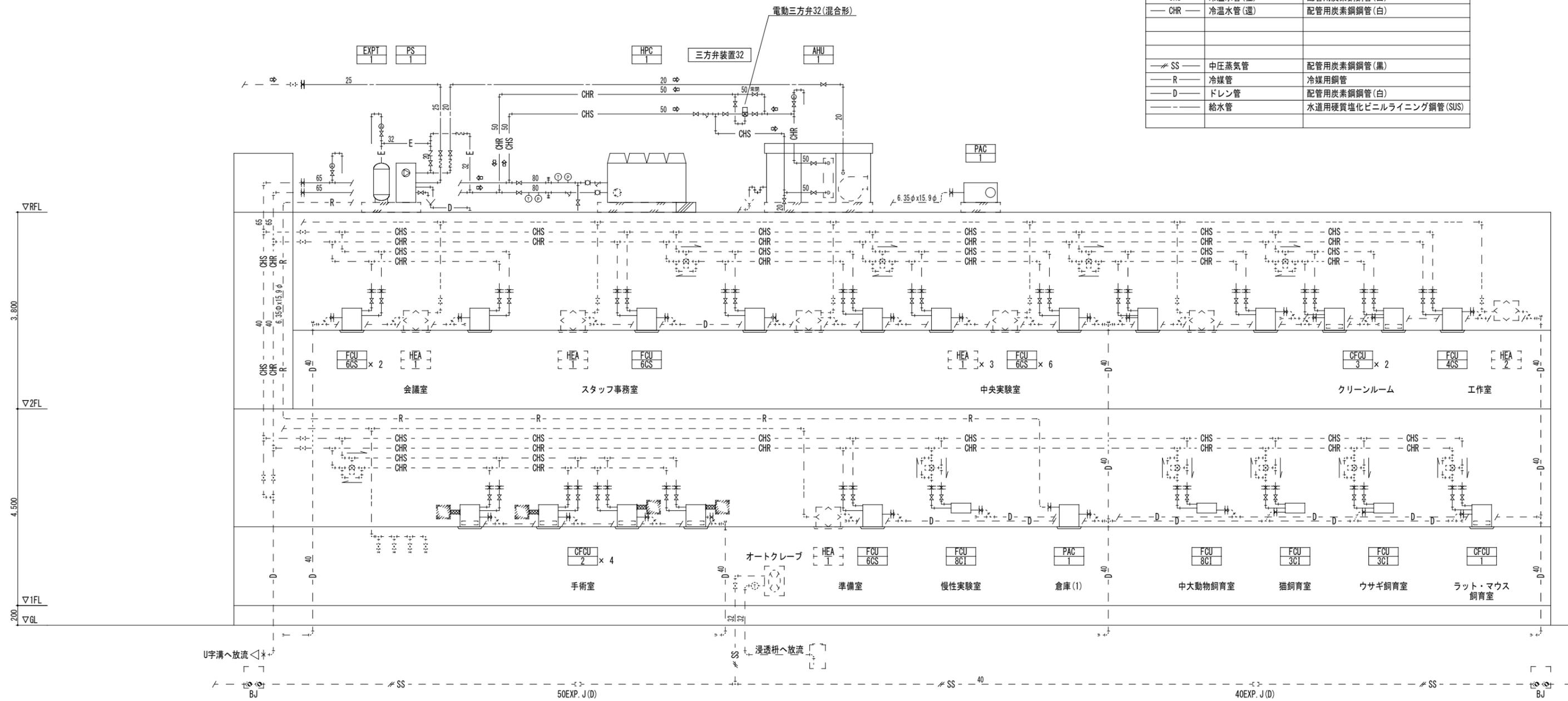
図面記号	名称	仕様	相	電圧(V)	消費電力(kW)	台数	設置階	設置室名	備考
R-1	吸収式冷温水機	屋外冷却塔一体型 冷房能力: 40RT 140KW, 冷水 7-12.5℃ 暖房能力: 122KW, 温水 55-50.2℃ 冷温水: 流量 366L/min 冷温水ポンプ、冷却水ポンプ、冷却塔付属 寸法 3105x2250x2465H 重量3,280Kg	3	200	冷房12.6 暖房6.4	1	R	屋上	撤去処分、日立HAU-FK-40SPA 基礎再利用
OT-1	オイルタンク	屋外地上型 灯油 1900L 1300φ x 1524H 重量 370Kg 消火器ABC50型(BOX共) オイルトラップ 800x600x700H FRP製とも				1		屋外	撤去処分、残油抜き処分 基礎、防油堤とも
Ost-1	オイルサービスタンク	屋外型 灯油 100L 400 x 450 x 600H 架台1000H 重量 46Kg				1	R	屋上	撤去処分、残油抜き処分 基礎、防油堤立ち上がり部撤去とも
OGP-1	オイルギアポンプ	屋外型 灯油 25φ x 25L/min x3 Kg/cm3	3	200	0.75	1		屋外	撤去処分 基礎とも
AHU-1	空気調和機	屋外床置水平型 全外気 冷房能力 36.7kW 冷水7-12℃ 105L/min 暖房能力 44.0kW 温水55-50.2℃ 134L/min 風量 3,400m3/h 機外静圧 300Pa 高圧スプレー式加湿器 有効加湿量 28.2Kg/h 参考寸法 3,800 x 1,500 x 1,100H 重量 1,100Kg	3	200	1.5	1	R	屋上	撤去処分 基礎再利用
FCU-1	ファンコイルユニット	天吊隠蔽カセット二方向吹型 冷房能力 3.6kW 冷水 7-12℃ DB26℃ 暖房能力 5.7kW 温水55-50.0℃ DB22℃	1	100	0.110	2	2	会議室	撤去処分
FCU-2	ファンコイルユニット	天吊隠蔽カセット二方向吹型 冷房能力 4.3kW 冷水 7-12℃ DB26℃ 暖房能力 7.3kW 温水55-50.0℃ DB22℃	1	100	0.110	8	1 2	準備室 スタッフ事務室、実験室	撤去処分
FCU-3	ファンコイルユニット	天吊隠蔽カセット二方向吹型 冷房能力 4.8kW 冷水 7-12℃ DB26℃ 暖房能力 7.8kW 温水55-50.0℃ DB22℃	1	100	0.015	1	2	工作室	撤去処分
FCU-4	ファンコイルユニット	天吊隠蔽ダクト吹型 冷房能力 1.2kW 冷水 7-12℃ DB26℃ 暖房能力 2.2kW 温水55-50.0℃ DB22℃	1	100	0.042	2	1	ネコ飼育室 ウサギ飼育室	撤去処分
FCU-5	ファンコイルユニット	天吊隠蔽ダクト吹型 冷房能力 5.0kW 冷水 7-12℃ DB26℃ 暖房能力 8.0kW 温水55-50.0℃ DB22℃	1	100	0.150	1	1	慢性実験室	撤去処分
FCU-6	ファンコイルユニット	天吊隠蔽ダクト吹型 冷房能力 4.4kW 冷水 7-12℃ DB26℃ 暖房能力 7.4kW 温水55-50.0℃ DB22℃	1	100	0.150	1	1	中大飼育室	撤去処分
CFCU-1	クリーン ファンコイルユニット	天吊隠蔽カセット、HEPAフィルター内蔵吹出グリル付、プレフィルター付き吸込ロー一体型 冷房能力 1.6kW 冷水 7-12℃ DB26℃ 暖房能力 3.0kW 温水55-50.0℃ DB22℃ 寸法 750 x 1,565 x 660H 重量 160Kg	1	200	0.2	1	1	ラットマウス飼育室	撤去処分、進和テックS-FC-15S
CFCU-2	クリーン ファンコイルユニット	天吊隠蔽カセット、HEPAフィルター内蔵吹出グリル付、吸込ダクト接続型 冷房能力 3.2kW 冷水 7-12℃ DB26℃ 暖房能力 5.8kW 温水55-50.0℃ DB22℃ 寸法 750 x 1,215 x 660H 重量 135Kg	1	200	0.2	4	1	手術室	撤去処分、進和テックS-FC-15
CFCU-3	クリーン ファンコイルユニット	天吊隠蔽カセット、HEPAフィルター内蔵吹出グリル付、プレフィルター付き吸込ロー一体型 冷房能力 4.2kW 冷水 7-12℃ DB26℃ 暖房能力 6.2kW 温水55-50.0℃ DB22℃ 寸法 1,050 x 1,750 x 660H 重量 240Kg	1	200	0.2	2	2	クリーンルーム	撤去処分、進和テックS-FC-24S
PAC-1	パッケージエアコン	天吊リカセット型 中温用 冷房能力 4.6KW	3	200	2.02	1	1	倉庫	撤去処分、日立RCID-45A8S 基礎再利用
S-1	蒸気発生器	電熱式、ダクト挿入型 加湿量 2.6Kg/h	3	200	2.00	4	1	階段下倉庫	撤去処分

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤	大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事	設計図 空調機器表(撤去)	図面番号 M - 06
----	---------------------	-------	----------	----------	----------	----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------	------------------	----------------

縮尺A 1:1: NON
A 3:1: NON

記号	名称	配管材
— CHS —	冷温水管(往)	配管用炭素鋼管(白)
— CHR —	冷温水管(還)	配管用炭素鋼管(白)
— SS —	中圧蒸気管	配管用炭素鋼管(黒)
— R —	冷媒管	冷媒用銅管
— D —	ドレン管	配管用炭素鋼管(白)
— —	給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SUS)

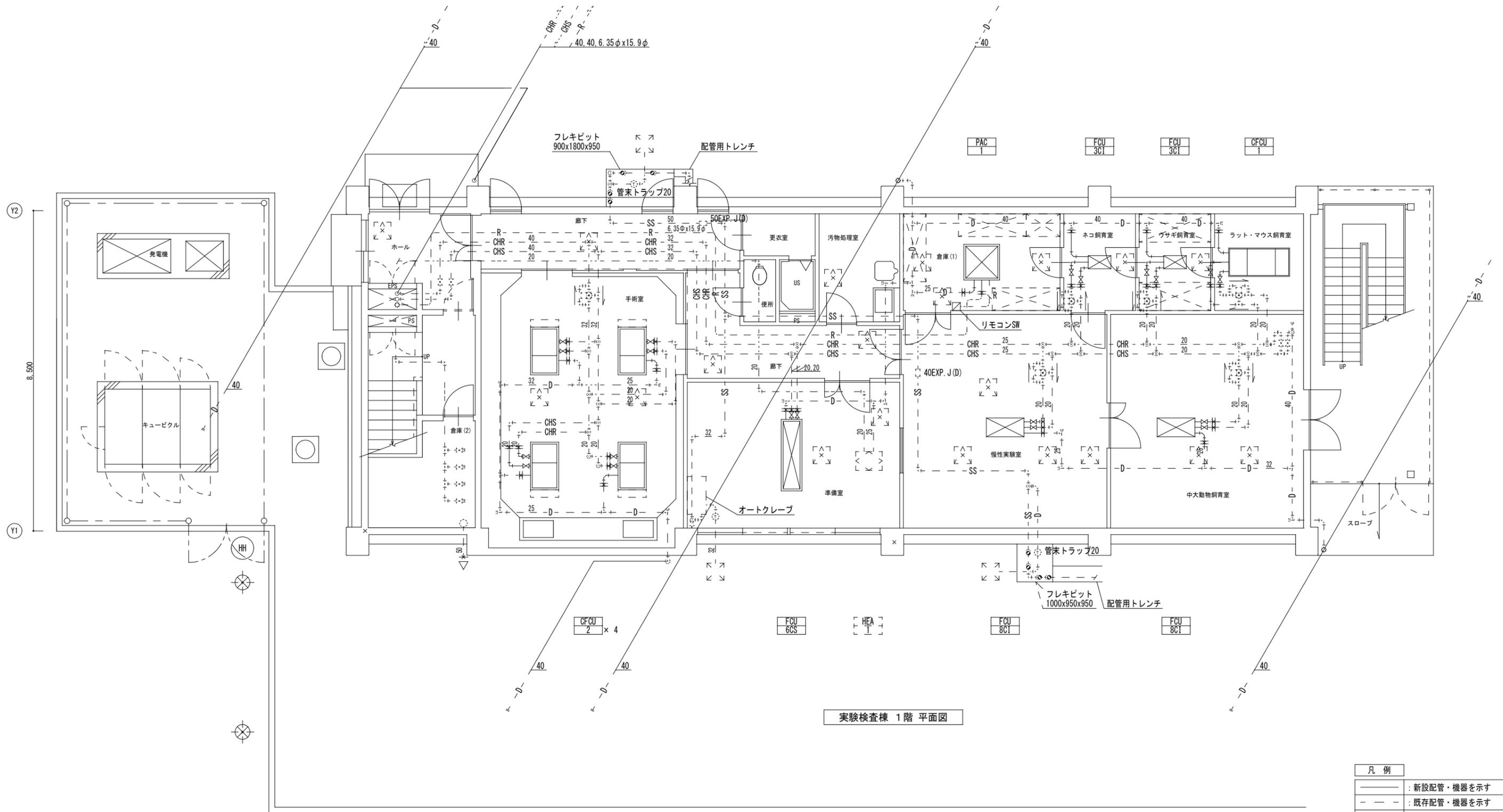
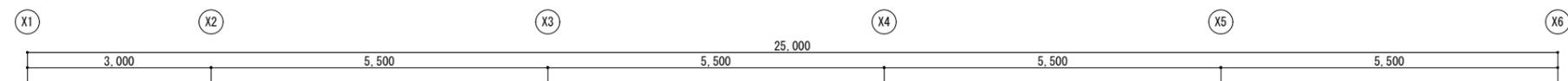


改修後ファンコイル廻り配管要領図
(全てのファンコイル、クリーンファンコイルに共通)

凡例	
— (solid line) —	: 新設配管・機器を示す
- - - (dashed line) - - -	: 既存配管・機器を示す
- + - (dash-dot line) - + -	: 既存配管に接続を示す

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長	管理幹	主 幹	主 任	担 当

摘要	設計年月日	変更年月日	照 査	設 計	製 図	有 限 公 司 ク ラ フ ト 設 備 設 計	工事名称	設計図	図面番号	
	R04年03月04日		栗木	栗木	佐藤 大谷	建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事	図面名 空調配管設備 系統図(改修後)	縮尺A 1:1: NON A3 1:1: NON	M - 07



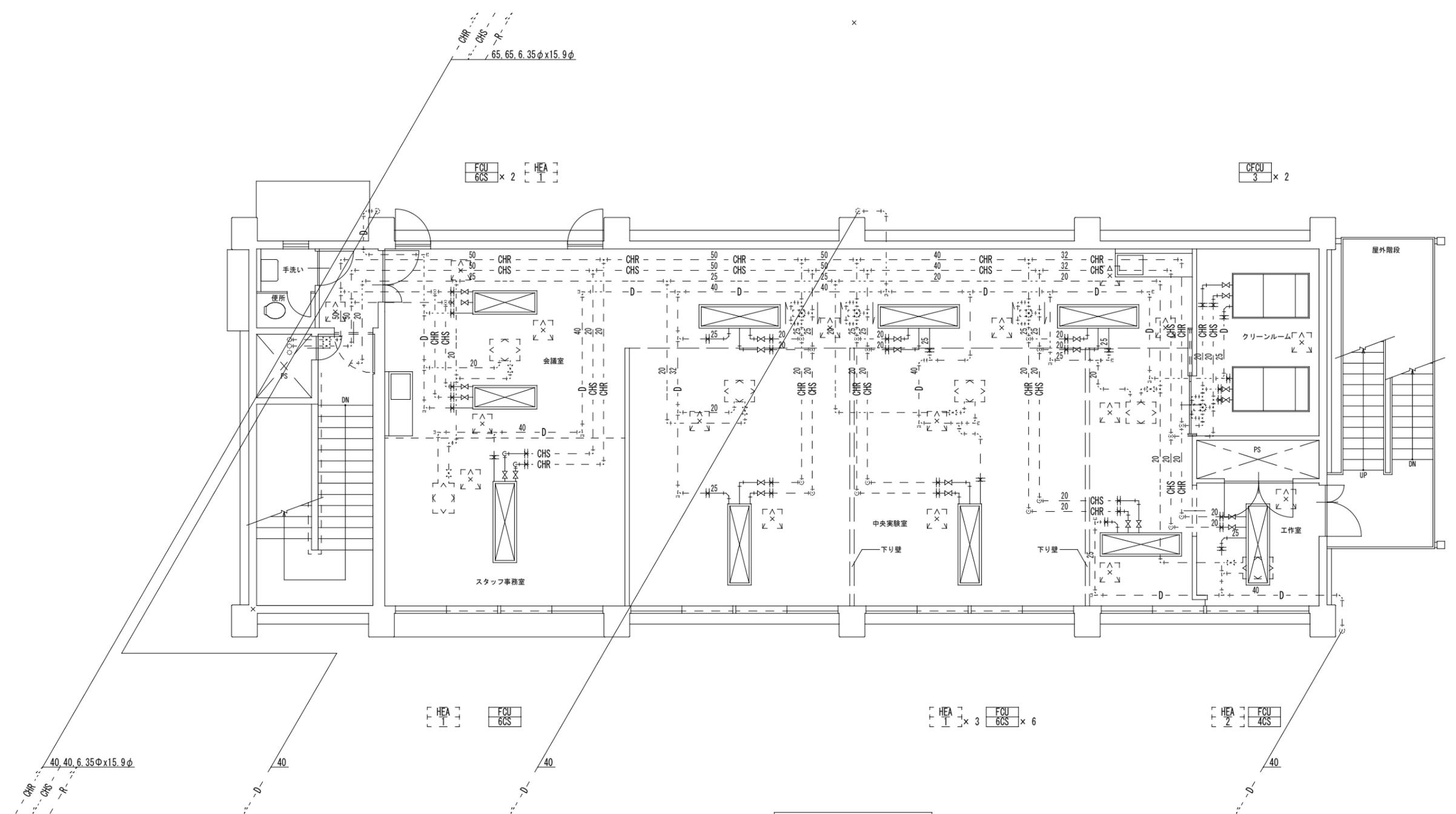
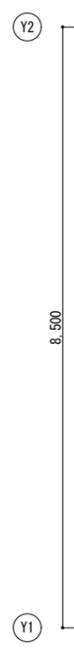
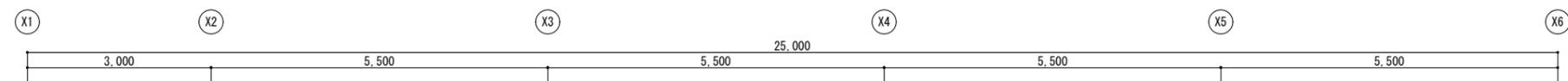
実験検査棟 1階 平面図

凡例	
—	: 新設配管・機器を示す
- - -	: 既存配管・機器を示す
- + -	: 既存配管に接続を示す
—	: 断り・補修を示す

*ファンコイル廻り配管要領
系統図参照

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長	管理幹	主 幹	主 任	担 当

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照 査 栗 木	設 計 栗 木	製 図 佐 藤 大 谷	有 限 公 司 ク ラ フ ト 設 備 設 計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事	設計図 1階 空調配管設備図(改修後)	縮尺 A1 1:50 A3 1:100	図面番号 M - 08
----	---------------------	-------	------------	------------	----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------	------------------------	---------------------------	----------------



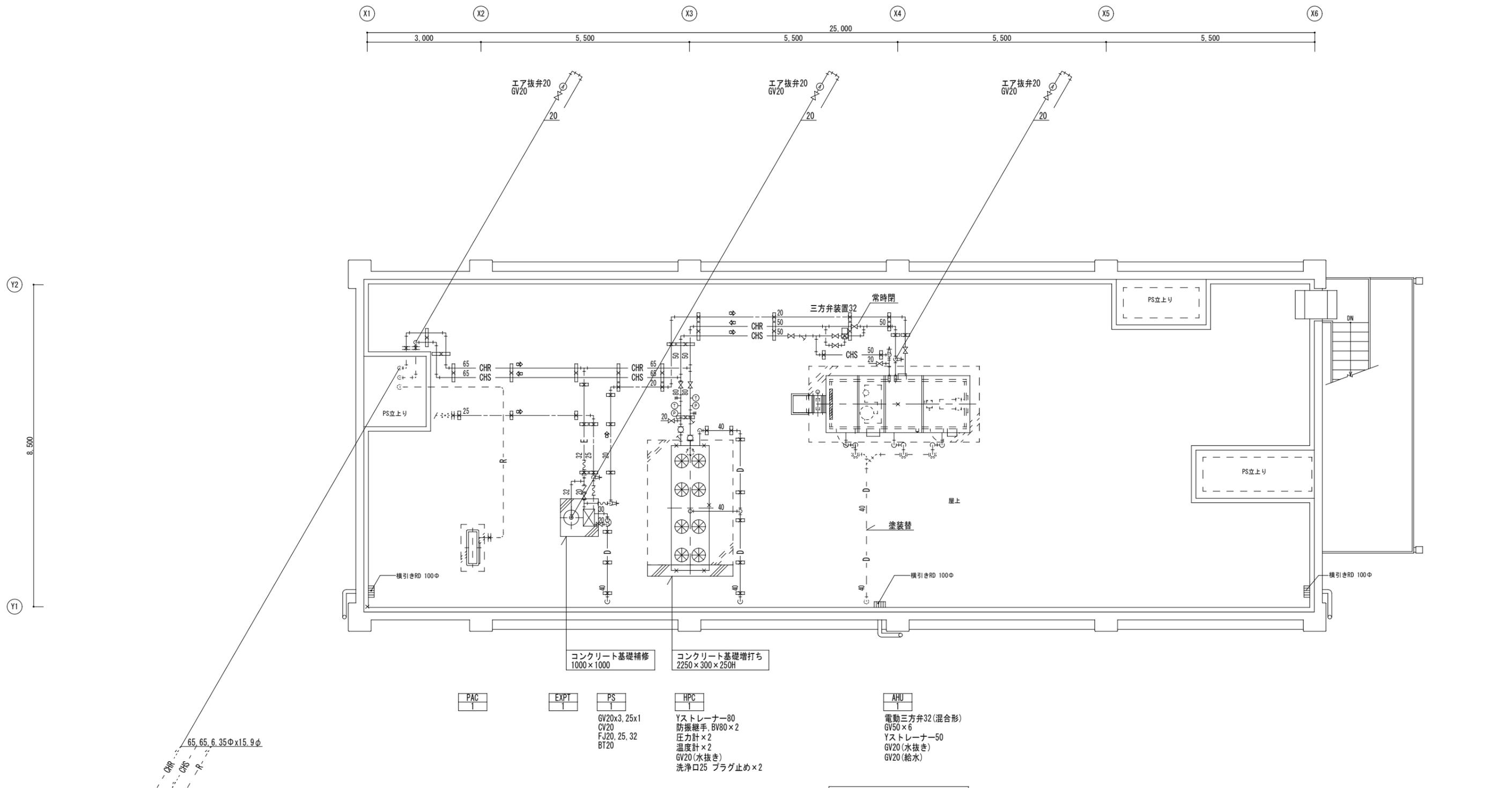
実験検査棟 2階 平面図

凡例	
— (solid line)	: 新設配管・機器を示す
- - - (dashed line)	: 既存配管・機器を示す
- + - (dash-dot line)	: 既存配管に接続を示す
≡ (triple line)	: 斫り・補修を示す

*ファンコイル廻り配管要領
系統図参照

	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事 図面名 2階 空調配管設備図(改修後)	設計図 縮尺A 1:50 A3 1:100	図面番号 M - 09
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------	----------------



コンクリート基礎補修
1000×1000

コンクリート基礎増打ち
2250×300×250H

- PAC**
- EXPT**
- PS**
GV20x3, 25x1
CV20
FJ20, 25, 32
BT20
- HPC**
Yストレーナー80
防振継手, BV80×2
圧力計×2
温度計×2
GV20(水抜き)
洗浄口25 プラグ止め×2
- AHU**
電動三方弁32(混合形)
GV50×6
Yストレーナー50
GV20(水抜き)
GV20(給水)

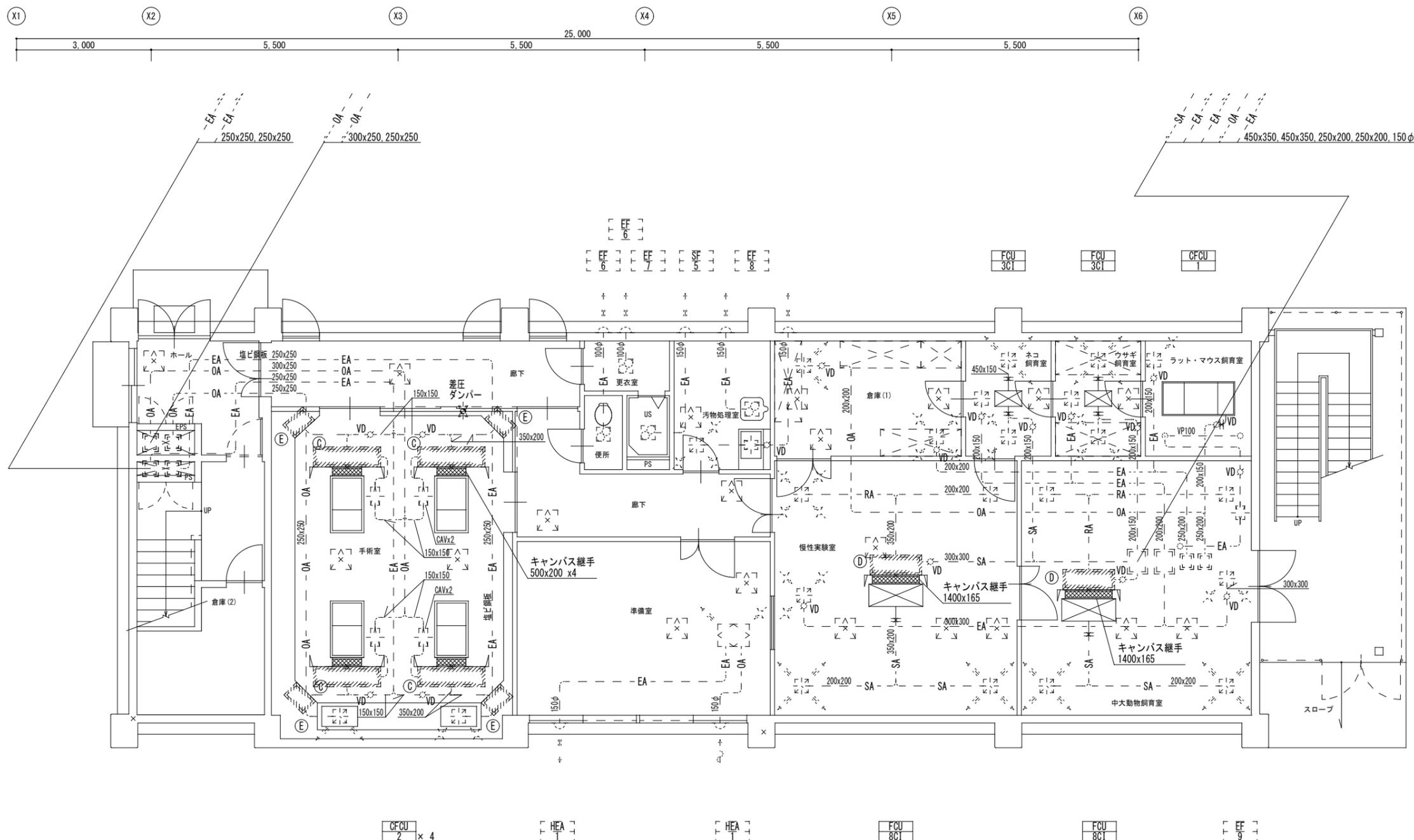
実験検査棟 R階 平面図

*電動三方弁廻り配管要領
系統図参照

凡例	
—	: 新設配管・機器を示す
- - -	: 既存配管・機器を示す
- + -	: 既存配管に接続を示す
≡	: 新り・補修を示す
⊥	: 配管支持架台を示す

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事 図面名 R階 空調配管設備図(改修後)	設計図 縮尺 A 1:50 A 3 1:100	図面番号 M - 10
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-------------------------------	----------------



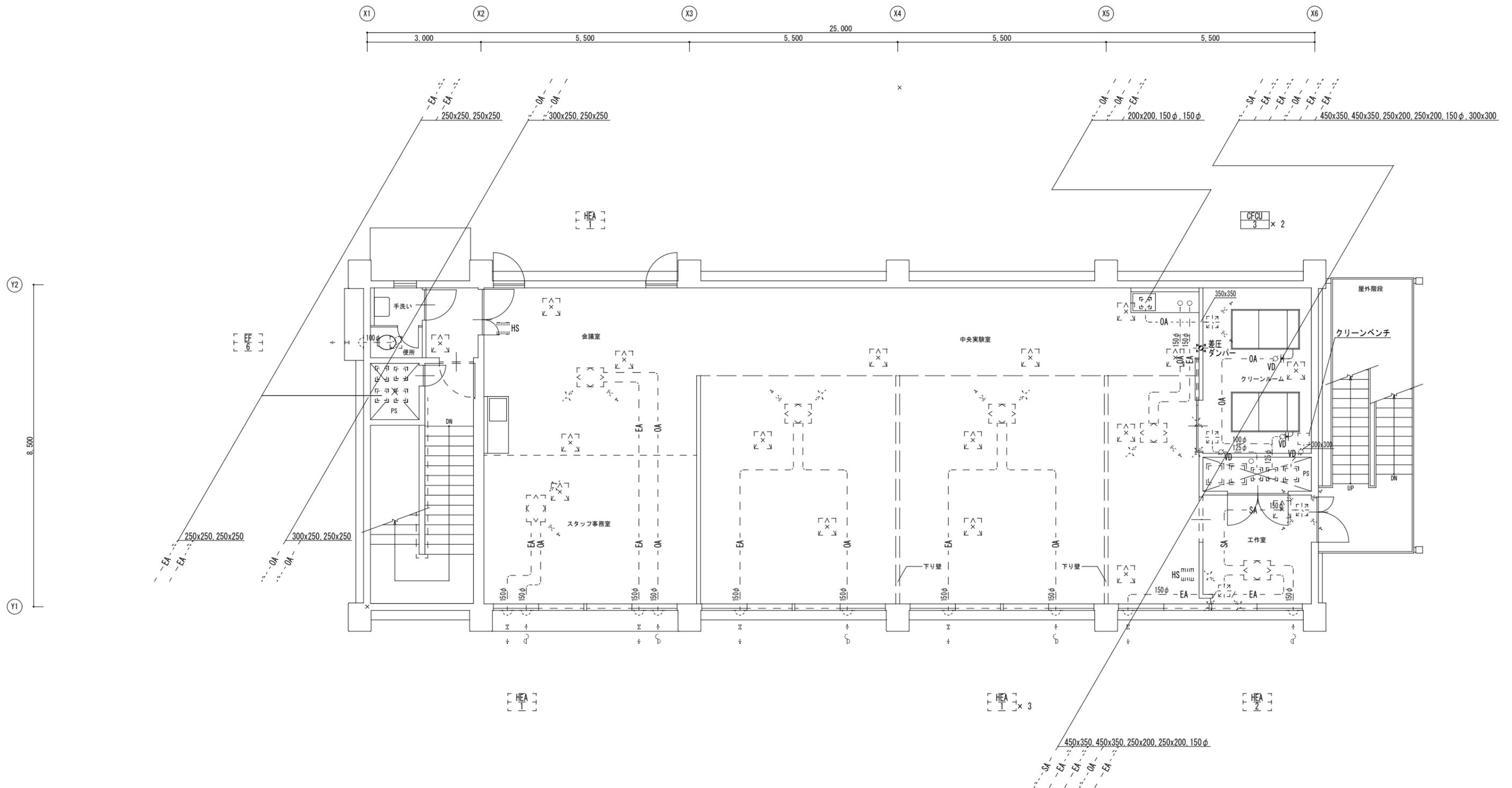
実験検査棟 1階 平面図

以下 全て既存

手術室 吹出口 VHS 450x300 OA 800/h BOX 750x500x350 × 1	吸込口 HS 400x300 EA 800/h BOX 700x500x350 × 1 (塩ビコーティング)	慢性実験室・中大動物飼育室(吹出口・吸込口とも各室2個づつ) 吹出口 VHS 300x300 SA 510/h BOX 500x500x400 × 4 (GW 25m/内貼り)	吸込口 H+フィルター 300x300 RA 510/h BOX 500x500x400 × 4	(各室1個づつ) 吹出口 HS 400x400 EA 1390/h BOX 600x600x500 × 2	ラット・マウス飼育室 吹出口 HS 200x200 EA 270/h BOX 400x400x350 × 1	ネコ・ウサギ飼育室(吹出口・吸込口とも各室1個づつ) 吹出口 VHS 200x150 SA 300/h × 2	吸込口 H+フィルター 200x150 RA 300/h × 2	(各室1個づつ) 吹出口 HS 150x150 EA 230/h BOX 350x350x350 × 2
倉庫(1) 吹出口 VHS 250x250 OA 450/h BOX 450x450x400 × 1	吸込口 H+フィルター 250x250 EA 450/h BOX 450x450x400 × 1	クリーンルーム 吹出口 VHS 250x250 OA 600/h BOX 350x350x350 × 1	吸込口 HS 150x150 EA 600/h BOX 300x300x300 × 1	汚物処理室 吹出口 G+フィルター 200x200 EA 250/h BOX 450x450x350 × 1	手術室 CAV 処理風量 250/h 単純定風量・機能型 × 4	廊下 差圧ダンパー 処理風量 200/h 調整圧力 2mmaq × 1	クリーンルーム 差圧ダンパー 処理風量 調整圧力 2mmaq × 1	
(A)チャンパー 500x500x500 × 8 (A)は塩ビコーティング (架台付)	(B)チャンパー 600x600x600 × 1 (架台付)	(C)チャンパー 450x1500x450 × 4 (GW 50m/内貼り)	(D)チャンパー 450x1150x450 × 2 (GW 50m/内貼り)	(E)吸込口BOX 600x950x400 × 4				

凡例	
———	: 新設配管・機器を示す
- - - -	: 既存配管・機器を示す
- + -	: 既存配管に接続を示す

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長	管理幹	主 幹	主 任	担 当
-----------------------------	-----	-----	-----	-----	-----

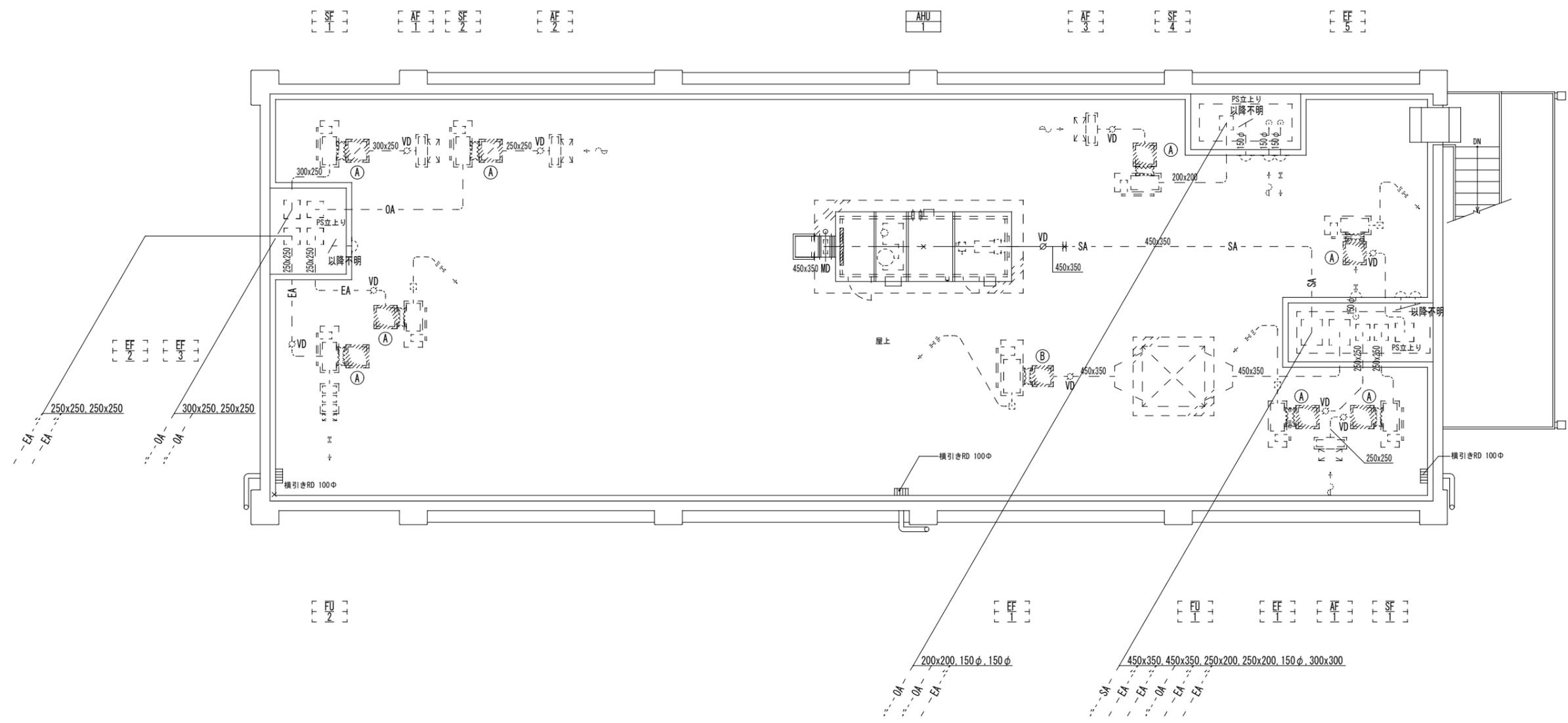
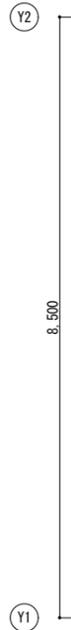
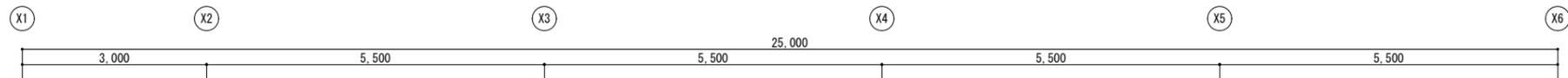


実験検査棟 2階 平面図

凡例	
—	: 新設配管・機器を示す
- - -	: 既存配管・機器を示す
- + -	: 既存配管に接続を示す

	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事 図面名 2階 空調ダクト設備図(改修後)	設計図 縮尺A 1:50 A3 1:100	図面番号 M - 13
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------	-----------------------------	----------------



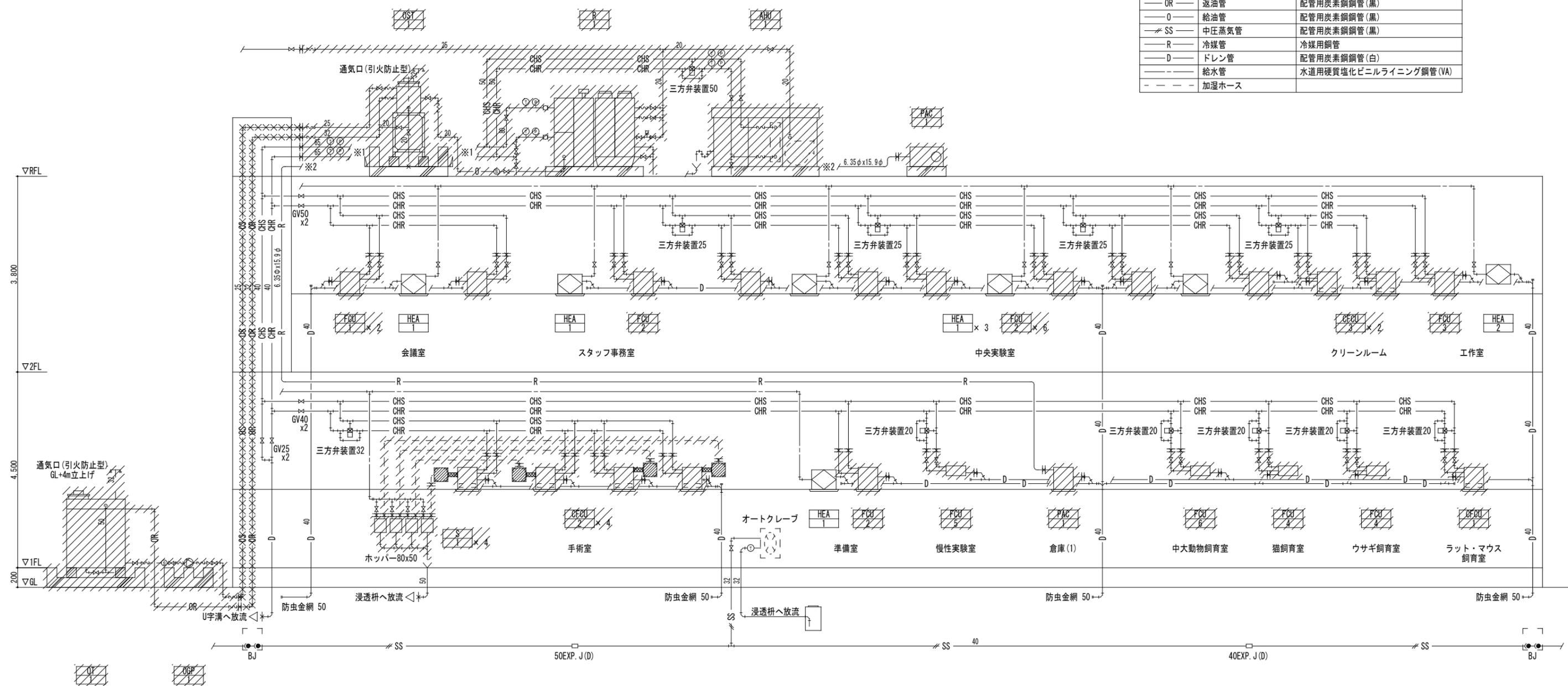
実験検査棟 R階 平面図

凡例	
—	: 新設配管・機器を示す
- - -	: 既存配管・機器を示す
- + -	: 既存配管に接続を示す

	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事 図面名 R階 空調ダクト設備図(改修後)	設計図 縮尺 A 1 : 50 A 3 1 : 100	図面番号 M - 14
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------	-----------------------------------	----------------

記号	名称	配管材
— CHS —	冷温水管(往)	配管用炭素鋼管(白)
— CHR —	冷温水管(還)	配管用炭素鋼管(白)
— OS —	給油管	配管用炭素鋼管(黒)
— OR —	返油管	配管用炭素鋼管(黒)
— O —	給油管	配管用炭素鋼管(黒)
— SS —	中圧蒸気管	配管用炭素鋼管(黒)
— R —	冷媒管	冷媒用銅管
— D —	ドレン管	配管用炭素鋼管(白)
— — —	給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(VA)
— — —	加湿ホース	

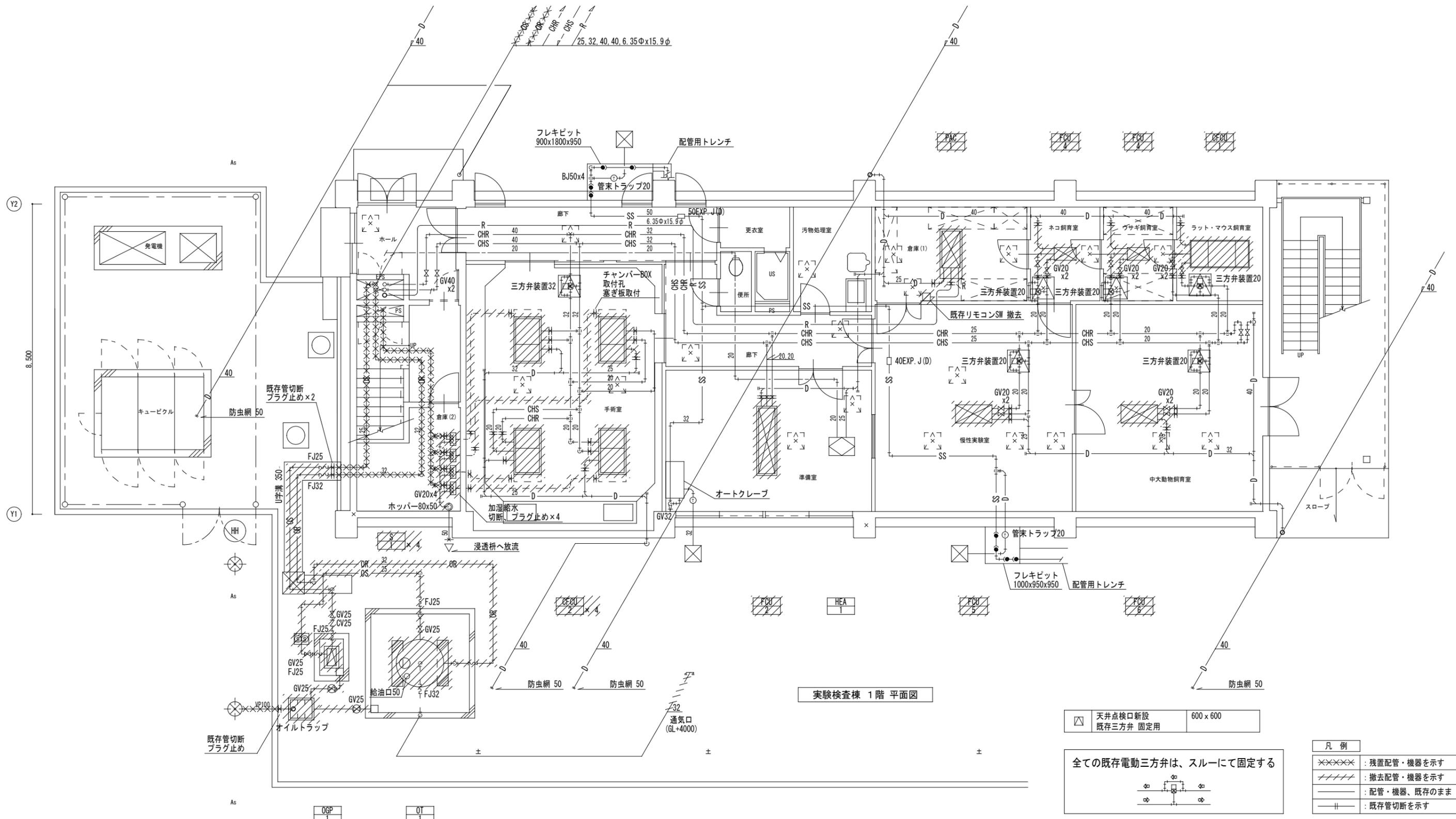
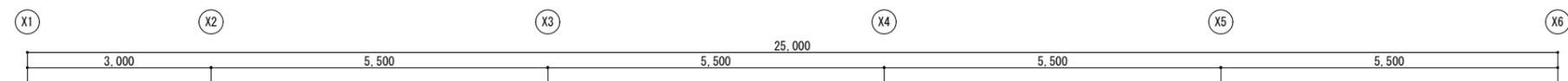


全ての既存電動三方弁は、スルーにて固定する

凡例	
×××××	: 残置配管・機器を示す
////	: 撤去配管・機器を示す
—	: 配管・機器、既存のまま
— —	: 既存管切断を示す

	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事 図面名 空調配管設備 系統図(撤去)	設計図 縮尺A 1:1: NON A3 1:1: NON	図面番号 M - 15
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	------------------------------------	----------------



実験検査棟 1階 平面図

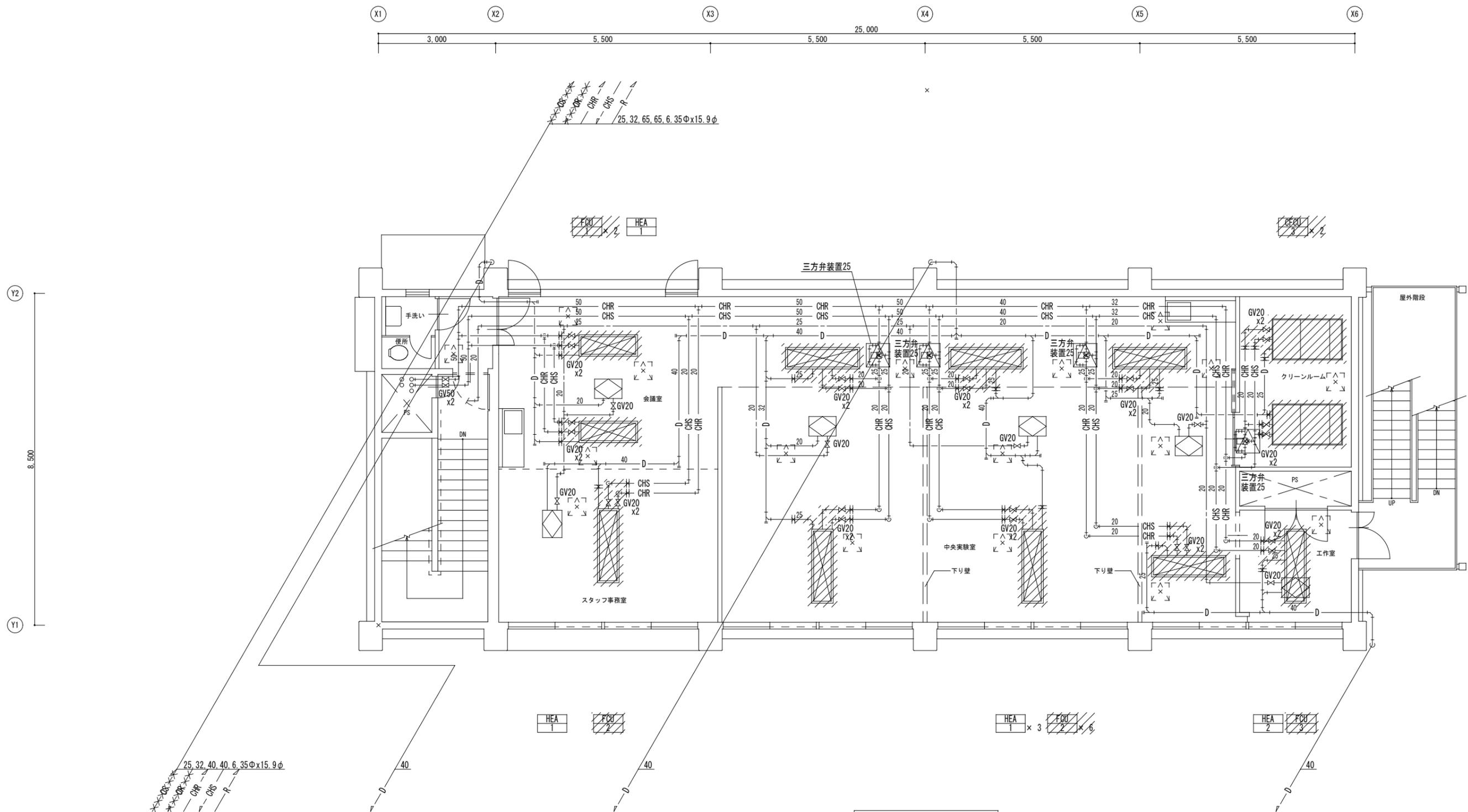
天井点検口新設 600 x 600
既存三方弁 固定用

全ての既存電動三方弁は、スルーにて固定する

凡例	
×××××	: 残置配管・機器を示す
////	: 撤去配管・機器を示す
—	: 配管・機器、既存のまま
	: 既存管切断を示す

	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					

概要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第1C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事 図面名 1階 空調配管設備図(撤去)	設計図 縮尺A 1:50 A3 1:100	図面番号 M - 16
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------	-----------------------------	----------------



実験検査棟 2階 平面図

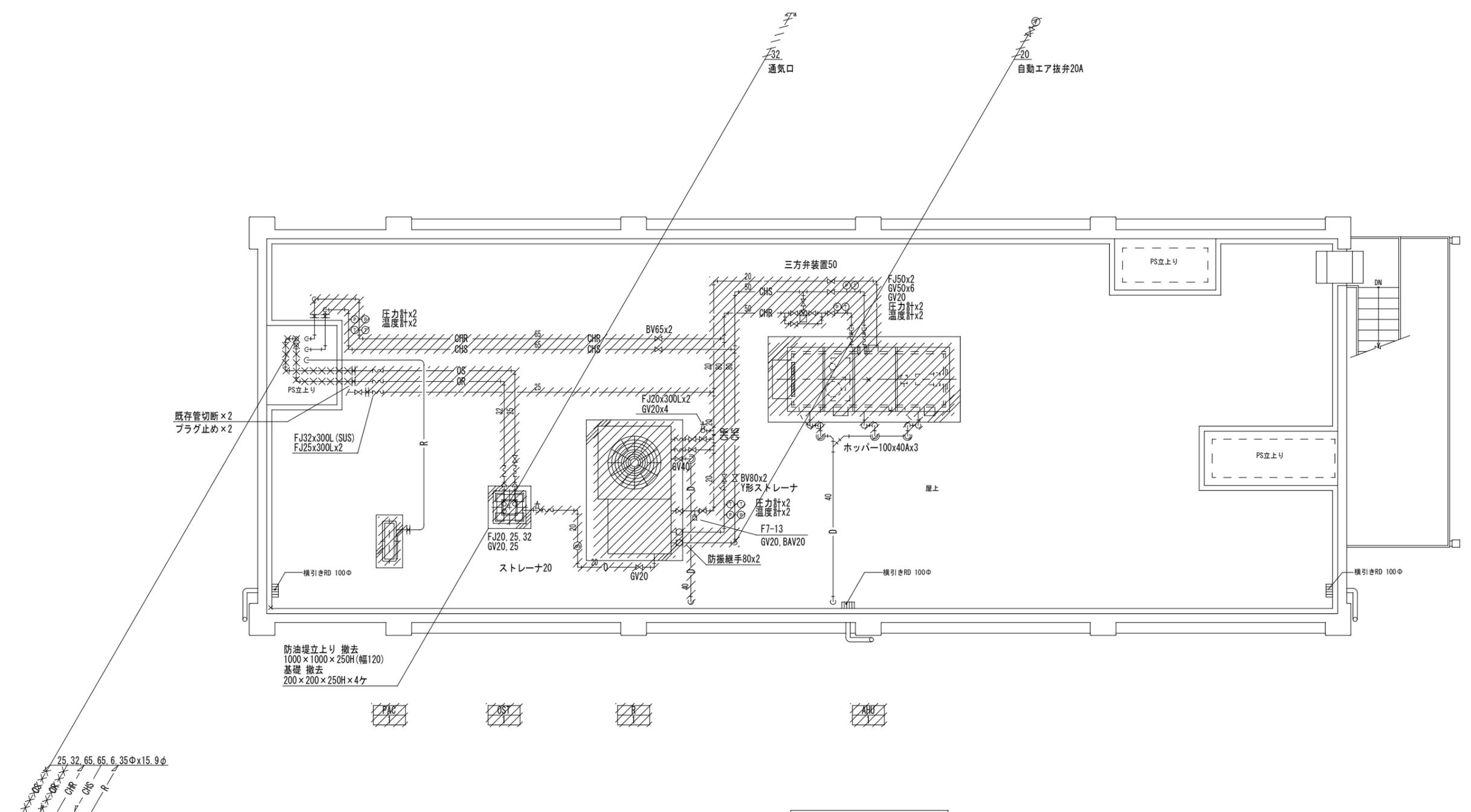
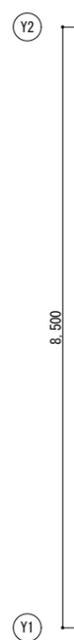
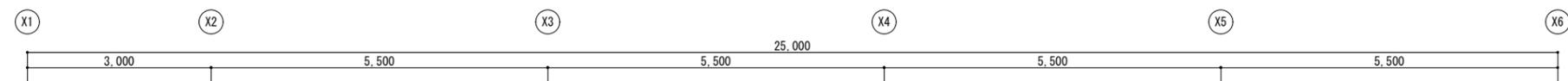
□ 天井点検口新設
既存三方弁 固定用 600 x 600

全ての既存電動三方弁は、スルーにて固定する

凡例	
×××××	: 残置配管・機器を示す
////	: 撤去配管・機器を示す
—	: 配管・機器、既存のまま
	: 既存管切断を示す

	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷水発生機改修工事 図面名 2階 空調配管設備図(撤去)	設計図 縮尺A 1:50 A3 1:100	図面番号 M - 17
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	-----------------------------	----------------

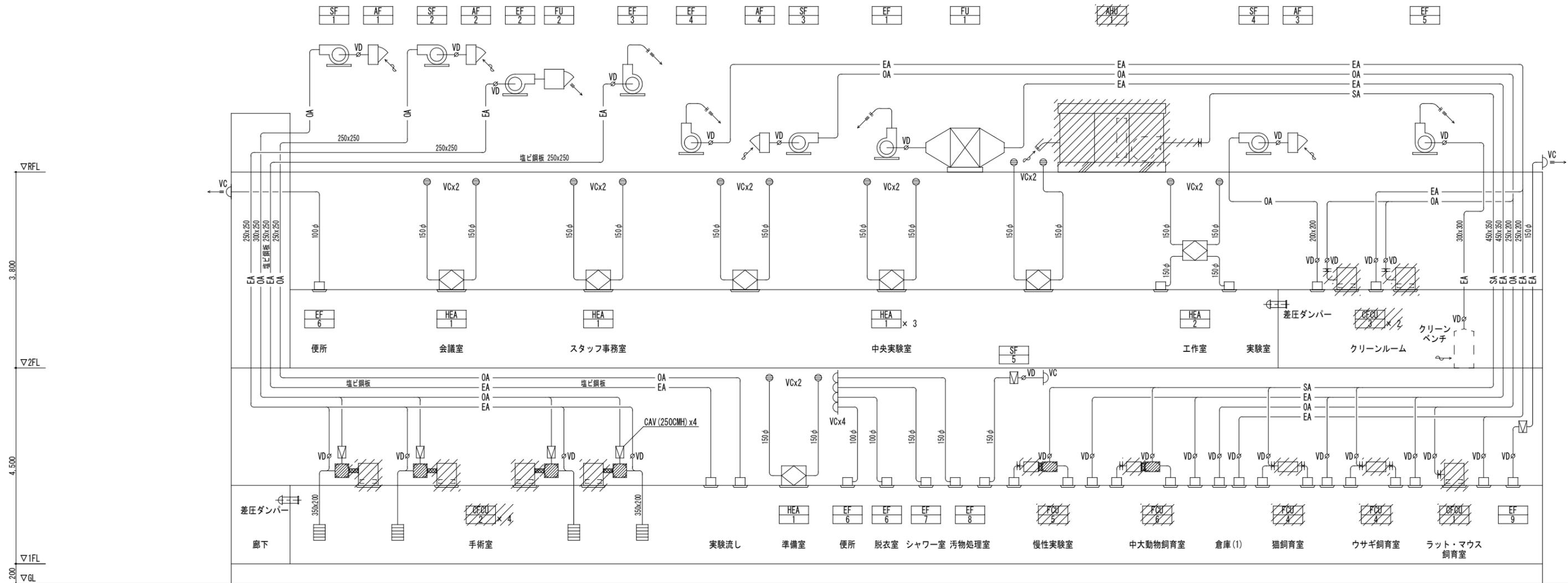


実験検査棟 R階 平面図

凡例	
××××××	: 残置配管・機器を示す
////	: 撤去配管・機器を示す
—	: 配管・機器、既存のまま
	: 既存管切断を示す

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限会社 クラフト設備設計	工事名称	設計図	図面番号
	R04年03月04日		栗木	栗木	佐藤 大谷	建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷水発生機改修工事	縮尺 A 1 : 50 A 3 1 : 100	M - 18



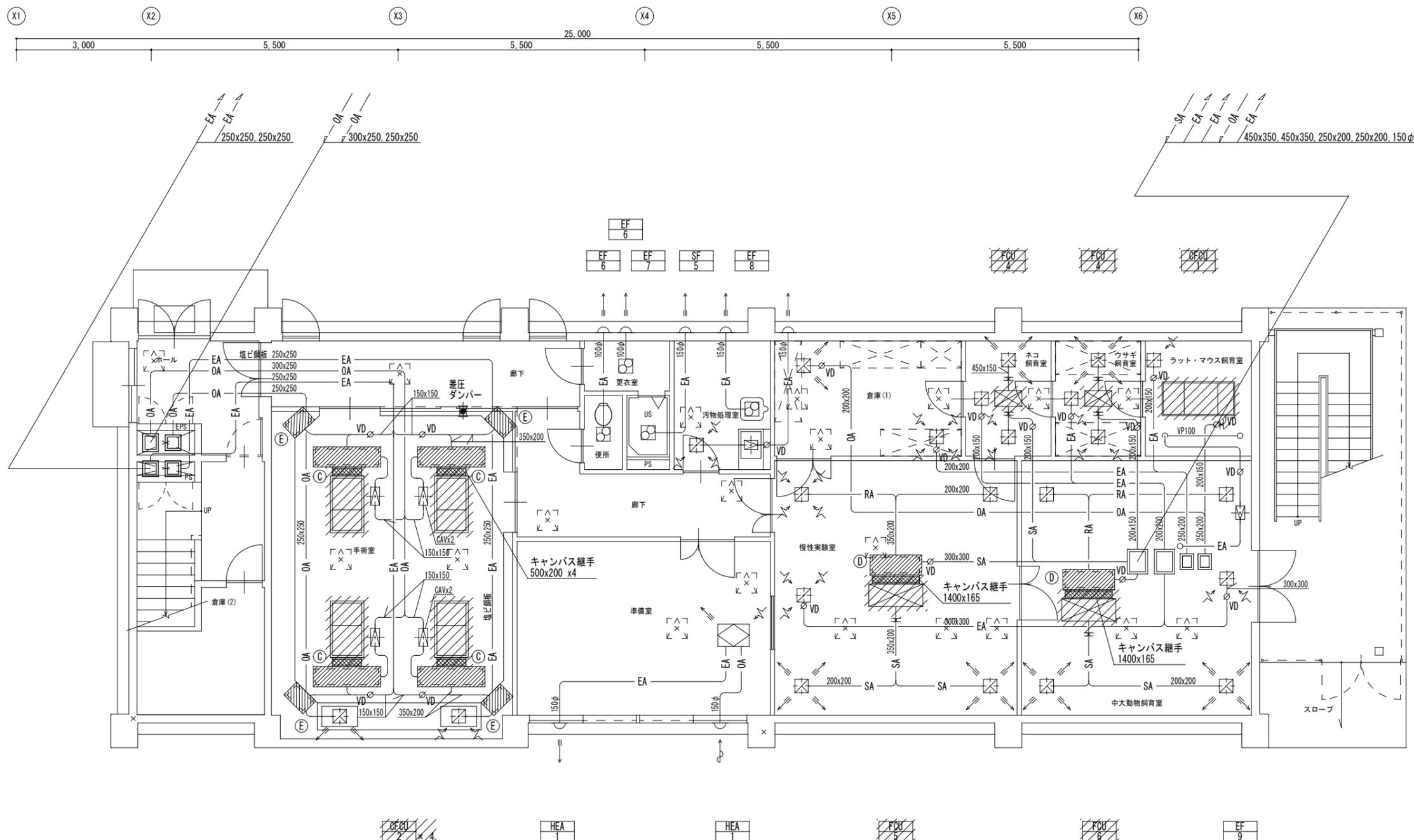
記号	名称	備考
VD	風量調整ダンパー	鋼板製
FD	防火ダンパー	鋼板製(1.6T)
SFD	防煙防火ダンパー	鋼板製(1.6T)
差圧ダンパー	差圧ダンパー	鋼板製
定風量装置	定風量装置	鋼板製
吹出口	吹出口	アルミ製
吸込口	吸込口	アルミ製
天井換気扇	天井換気扇	
VC	バンドキャップ	アルミ製(指定色)
消音チャンパー	消音チャンパー	亜鉛鉄板GW 内貼(50M/M)

記号	名称	配管材
SA	空調送気	亜鉛鉄板
RA	空調還気	亜鉛鉄板
OA	外気	亜鉛鉄板
EA	排気	亜鉛鉄板

凡例	
×××××	: 残置配管・機器を示す
////	: 撤去配管・機器を示す
—	: 配管・機器、既存のまま
	: 既存管切断を示す

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

概要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷水発生機改修工事	設計図 空調ダクト設備 系統図(撤去)	図面番号 M - 19
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------	------------------------	----------------



実験検査棟 1階 平面図

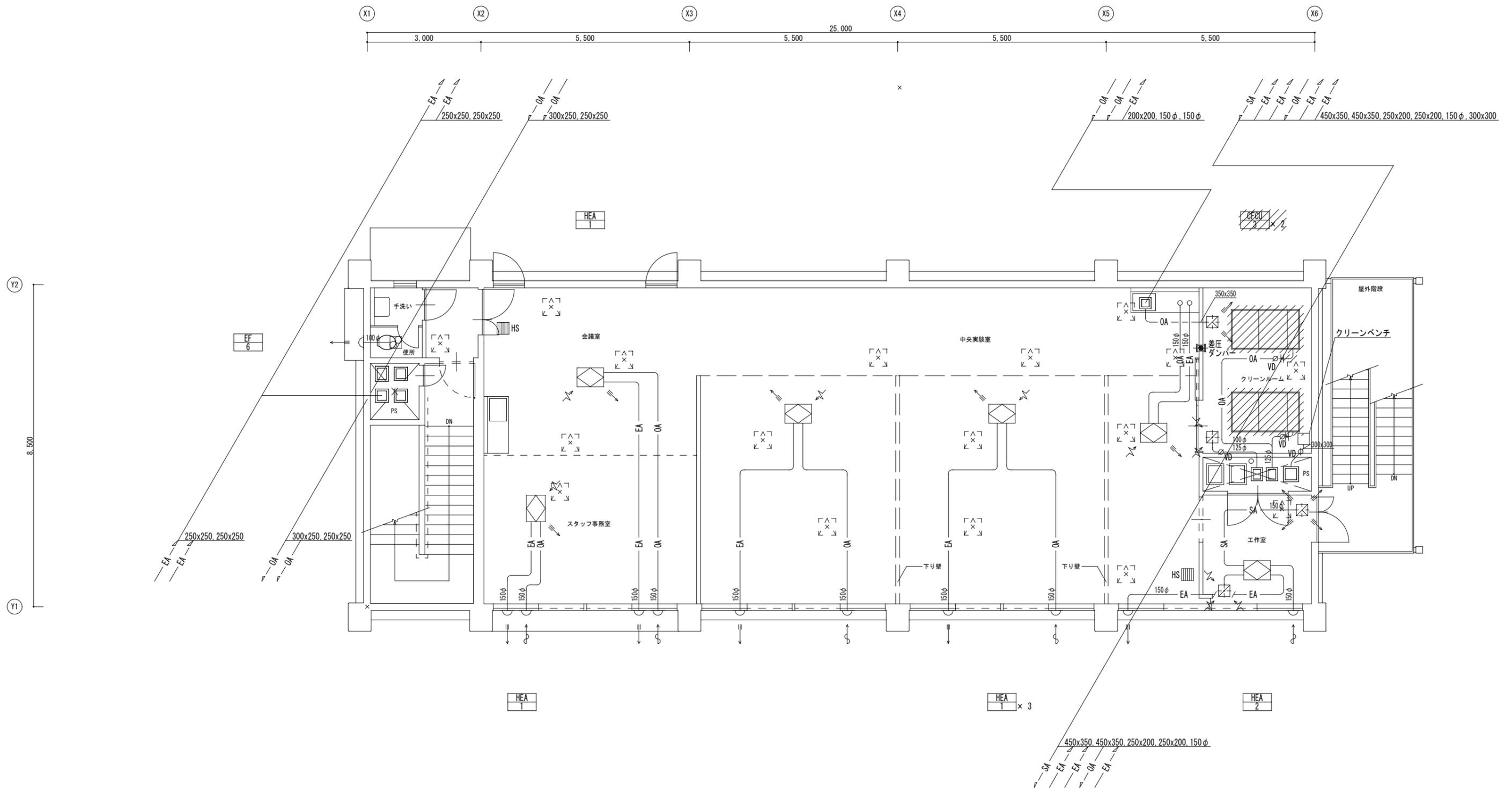
の吹出口、吸込口は天井改修の為、
取外し、再取付とする。

<p>手術室</p> <table border="1"> <tr><td>吹出口</td><td>VHS 450x300</td></tr> <tr><td>OA</td><td>800/h</td></tr> <tr><td>BOX</td><td>750x500x350</td></tr> </table> <p>× 1</p>	吹出口	VHS 450x300	OA	800/h	BOX	750x500x350	<p>慢性実験室・中大動物飼育室(吹出口・吸込口とも各室2個づつ)</p> <table border="1"> <tr><td>吹出口</td><td>VHS 300x300</td></tr> <tr><td>SA</td><td>510/h</td></tr> <tr><td>BOX</td><td>500x500x400</td></tr> </table> <p>× 4 (GW 25m/内貼り)</p>	吹出口	VHS 300x300	SA	510/h	BOX	500x500x400	<p>(各室1個づつ)</p> <table border="1"> <tr><td>吸込口</td><td>H+フィルター 300x300</td></tr> <tr><td>RA</td><td>510/h</td></tr> <tr><td>BOX</td><td>500x500x400</td></tr> </table> <p>× 4</p>	吸込口	H+フィルター 300x300	RA	510/h	BOX	500x500x400	<p>ラット・マウス飼育室</p> <table border="1"> <tr><td>吸込口</td><td>HS 200x200</td></tr> <tr><td>EA</td><td>270/h</td></tr> <tr><td>BOX</td><td>400x400x350</td></tr> </table> <p>× 1</p>	吸込口	HS 200x200	EA	270/h	BOX	400x400x350	<p>ネコ・ウサギ飼育室(吹出口・吸込口とも各室1個づつ)</p> <table border="1"> <tr><td>吹出口</td><td>VHS 200x150</td></tr> <tr><td>SA</td><td>300/h</td></tr> </table> <p>× 2</p>	吹出口	VHS 200x150	SA	300/h	<p>(各室1個づつ)</p> <table border="1"> <tr><td>吸込口</td><td>HS 150x150</td></tr> <tr><td>EA</td><td>230/h</td></tr> <tr><td>BOX</td><td>350x350x350</td></tr> </table> <p>× 2</p>	吸込口	HS 150x150	EA	230/h	BOX	350x350x350
吹出口	VHS 450x300																																						
OA	800/h																																						
BOX	750x500x350																																						
吹出口	VHS 300x300																																						
SA	510/h																																						
BOX	500x500x400																																						
吸込口	H+フィルター 300x300																																						
RA	510/h																																						
BOX	500x500x400																																						
吸込口	HS 200x200																																						
EA	270/h																																						
BOX	400x400x350																																						
吹出口	VHS 200x150																																						
SA	300/h																																						
吸込口	HS 150x150																																						
EA	230/h																																						
BOX	350x350x350																																						
<p>倉庫(1)</p> <table border="1"> <tr><td>吹出口</td><td>VHS 250x250</td></tr> <tr><td>OA</td><td>450/h</td></tr> <tr><td>BOX</td><td>450x450x400</td></tr> </table> <p>× 1</p>	吹出口	VHS 250x250	OA	450/h	BOX	450x450x400	<p>クリーンルーム</p> <table border="1"> <tr><td>吹出口</td><td>VHS 250x250</td></tr> <tr><td>OA</td><td>600/h</td></tr> <tr><td>BOX</td><td>350x350x350</td></tr> </table> <p>× 1</p>	吹出口	VHS 250x250	OA	600/h	BOX	350x350x350	<p>汚物処理室</p> <table border="1"> <tr><td>吸込口</td><td>G+フィルター 200x200</td></tr> <tr><td>EA</td><td>250/h</td></tr> <tr><td>BOX</td><td>450x450x350</td></tr> </table> <p>× 1</p>	吸込口	G+フィルター 200x200	EA	250/h	BOX	450x450x350	<p>手術室</p> <table border="1"> <tr><td>CAV</td><td>処理風量 250/h</td></tr> <tr><td>単純定風量・機能型</td><td>× 4</td></tr> </table>	CAV	処理風量 250/h	単純定風量・機能型	× 4	<p>廊下</p> <table border="1"> <tr><td>差圧ダンパー</td><td>処理風量 200/h</td></tr> <tr><td>調整圧力</td><td>2mmaq</td></tr> </table> <p>× 1</p>	差圧ダンパー	処理風量 200/h	調整圧力	2mmaq	<p>クリーンルーム</p> <table border="1"> <tr><td>差圧ダンパー</td><td>処理風量</td></tr> <tr><td>調整圧力</td><td>2mmaq</td></tr> </table> <p>× 1</p>	差圧ダンパー	処理風量	調整圧力	2mmaq				
吹出口	VHS 250x250																																						
OA	450/h																																						
BOX	450x450x400																																						
吹出口	VHS 250x250																																						
OA	600/h																																						
BOX	350x350x350																																						
吸込口	G+フィルター 200x200																																						
EA	250/h																																						
BOX	450x450x350																																						
CAV	処理風量 250/h																																						
単純定風量・機能型	× 4																																						
差圧ダンパー	処理風量 200/h																																						
調整圧力	2mmaq																																						
差圧ダンパー	処理風量																																						
調整圧力	2mmaq																																						
<p>(A)チャンパー</p> <table border="1"> <tr><td>500x500x500</td></tr> </table> <p>× 8 (架台付)</p>	500x500x500	<p>(B)チャンパー</p> <table border="1"> <tr><td>600x600x600</td></tr> </table> <p>× 1 (架台付)</p>	600x600x600	<p>(C)チャンパー</p> <table border="1"> <tr><td>450x1500x450</td></tr> </table> <p>× 4 (GW 50m/内貼り)</p>	450x1500x450	<p>(D)チャンパー</p> <table border="1"> <tr><td>450x1150x450</td></tr> </table> <p>× 2 (GW 50m/内貼り)</p>	450x1150x450	<p>(E)吸込口BOX</p> <table border="1"> <tr><td>600x950x400</td></tr> </table> <p>× 4</p>	600x950x400																														
500x500x500																																							
600x600x600																																							
450x1500x450																																							
450x1150x450																																							
600x950x400																																							

凡例

×××××	: 残置配管・機器を示す
////	: 撤去配管・機器を示す
—	: 配管・機器、既存のまま
	: 既存管切断を示す

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

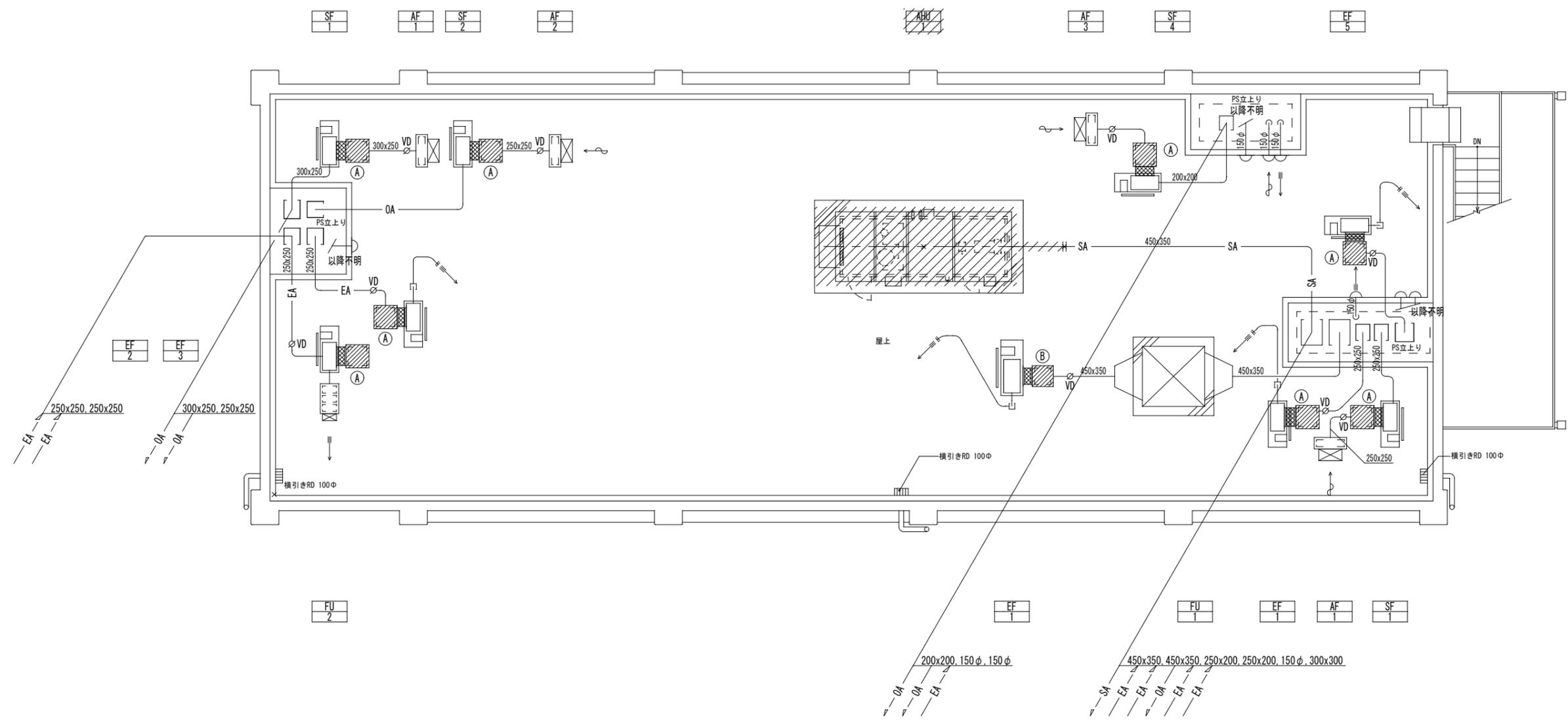
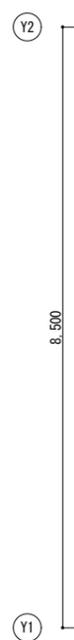
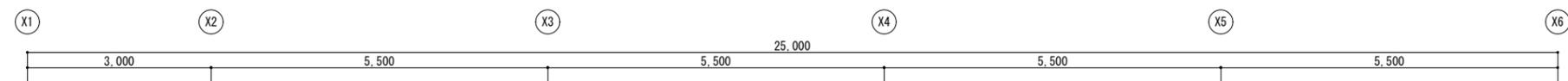


実験検査棟 2階 平面図

凡例	
××××××	: 残置配管・機器を示す
////	: 撤去配管・機器を示す
—	: 配管・機器、既存のまま
	: 既存管切断を示す

	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限会社 クラフト設備設計	工事名称	設計図	図面番号
	R04年03月04日		栗木	栗木	佐藤 大谷	建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事	縮尺A 1:50 A3 1:100	M - 21

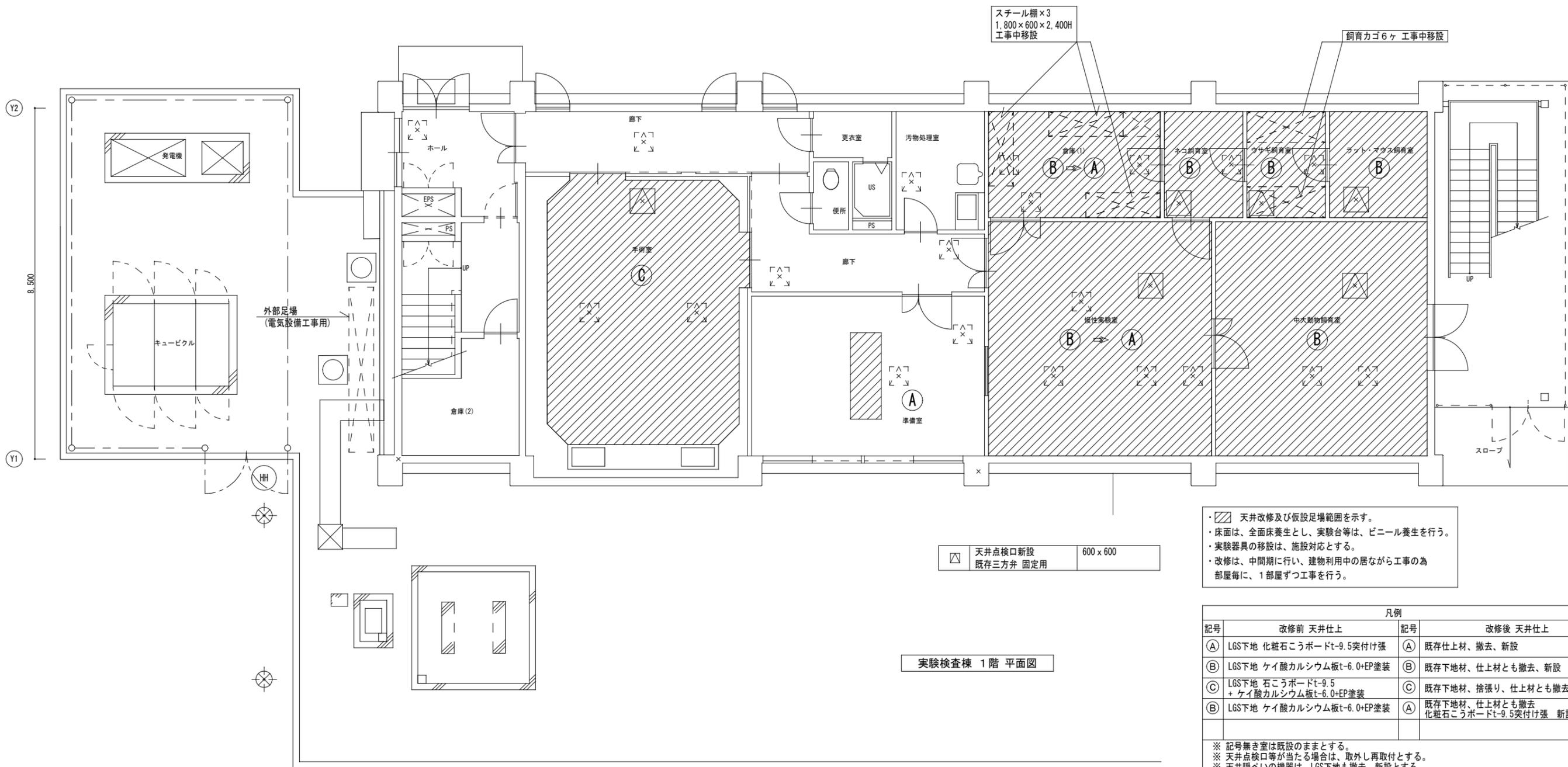
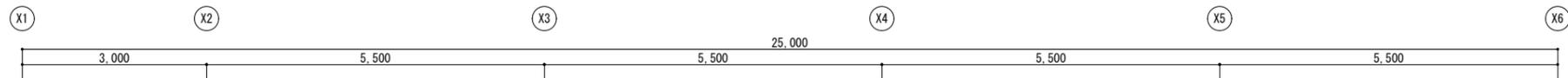


実験検査棟 R階 平面図

凡例	
××××××	: 残置配管・機器を示す
////	: 撤去配管・機器を示す
—	: 配管・機器、既存のまま
	: 既存管切断を示す

	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事 図面名 R階 空調ダクト設備図(撤去)	設計図 縮尺 A 1 : 50 A 3 : 100	図面番号 M - 22
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	---------------------------------	----------------



天井点検口新設
既存三方弁 固定用 600 x 600

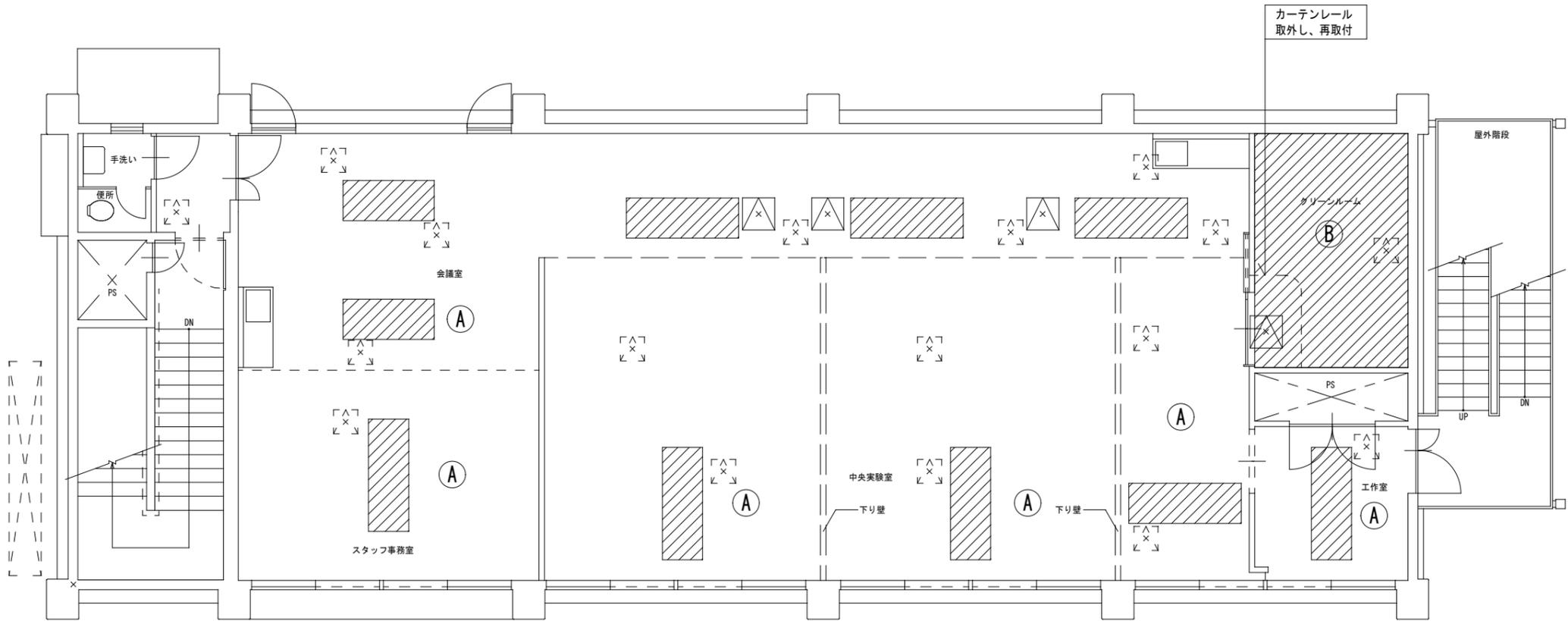
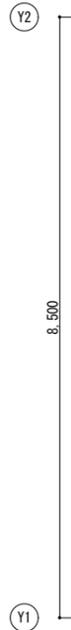
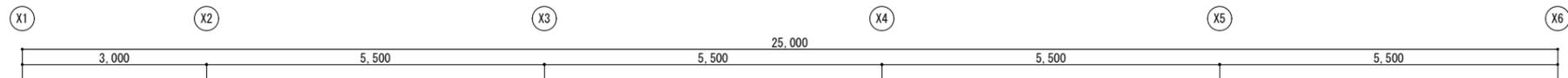
- 天井改修及び仮設足場範囲を示す。
- 床面は、全面床養生とし、実験台等は、ビニール養生を行う。
- 実験器具の移設は、施設対応とする。
- 改修は、中間期に行い、建物利用中の居ながら工事の為部屋毎に、1部屋ずつ工事を行う。

実験検査棟 1階 平面図

凡例			
記号	改修前 天井仕上	記号	改修後 天井仕上
(A)	LGS下地 化粧石膏ボードt-9.5突付け張	(A)	既存仕上材、撤去、新設
(B)	LGS下地 ケイ酸カルシウム板t-6.0+EP塗装	(B)	既存下地材、仕上材とも撤去、新設
(C)	LGS下地 石膏ボードt-9.5 + ケイ酸カルシウム板t-6.0+EP塗装	(C)	既存下地材、捨張り、仕上材とも撤去、新設
(B)	LGS下地 ケイ酸カルシウム板t-6.0+EP塗装	(A)	既存下地材、仕上材とも撤去 化粧石膏ボードt-9.5突付け張 新設

※ 記号無き室は既設のままとする。
 ※ 天井点検口等が当たる場合は、取外し再取付とする。
 ※ 天井隠ぺいの機器は、LGS下地も撤去、新設とする。
 ※ ケイ酸カルシウム板は、アスベスト含有の為、レベル3にて適切に処理する。

	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					



天井点検口新設 既存三方弁 固定用	600 x 600
----------------------	-----------

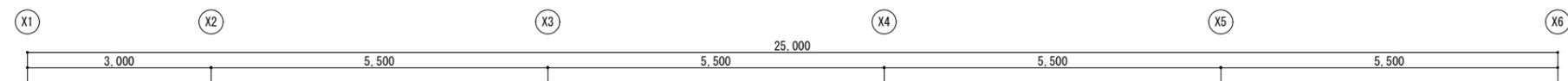
- 天井改修及び仮設足場範囲を示す。
- 床面は、全面床養生とし、実験台等は、ビニール養生を行う。
- 実験器具の移設は、施設対応とする。
- 改修は、中間期に行い、建物利用中の居ながら工事が、部屋毎に、1部屋ずつ工事を行う。

実験検査棟 2階 平面図

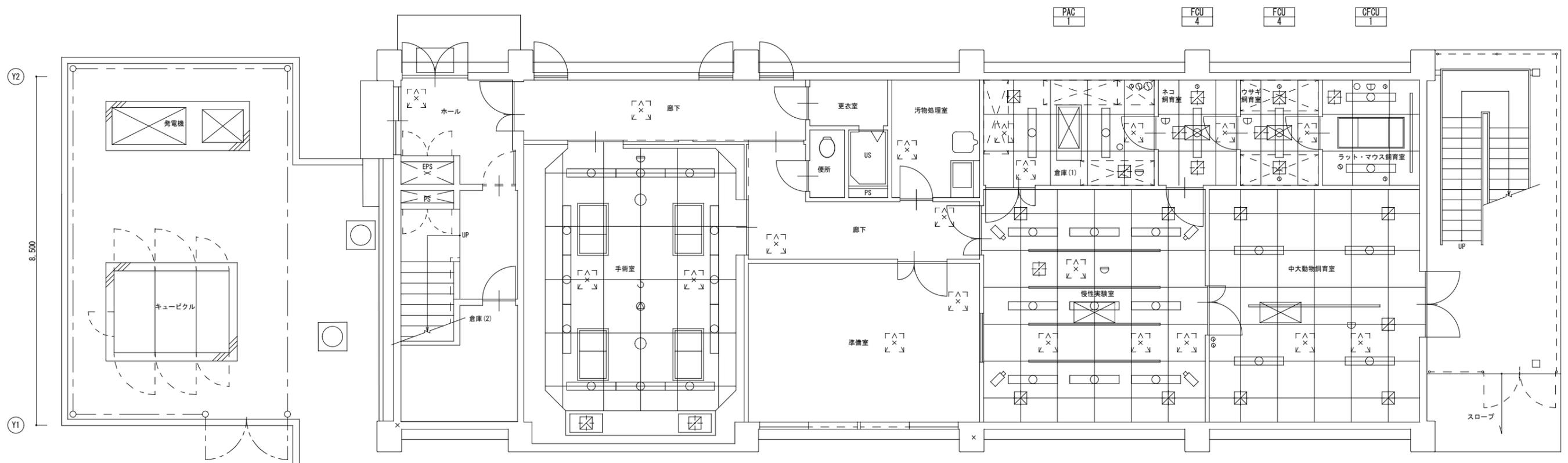
凡例			
記号	改修前 天井仕上	記号	改修後 天井仕上
(A)	LGS下地 化粧石膏ボードt-9.5突付け張	(A)	既存仕上材、撤去、新設
(B)	LGS下地 ケイ酸カルシウム板t-6.0+EP塗装	(B)	既存下地材、仕上材とも撤去、新設

※ 記号無き室は既設のままとする。
 ※ 天井点検口等が当たる場合は、取外し再取付とする。
 ※ 天井隠ぺいの機器は、LGS下地も撤去、新設とする。
 ※ ケイ酸カルシウム板は、アスベスト含有の為、レベル3にて適切に処理する。

	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					



- | | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 凡例 (倉庫(1))
◐ 差動式スポット型感知器
⊙ 配管
○ ブランクプレート
⊠ 吹出口
⊡ 吸込口
◯ 照明器具(直付型)
「^」
「x」
「v」 天井点検口 450×450 | 凡例 (ネコ飼育室・ウサギ飼育室)
◐ 定温式スポット型感知器 防水型
⊙ 配管
⊠ 吹出口
⊡ 吸込口
◯ 照明器具(直付型)
「^」
「x」
「v」 天井点検口 450×450 | 凡例 (ラット・マウス飼育室)
◐ 定温式スポット型感知器 防水型
⊙ 配管
○ ブランクプレート
⊠ 吸込口
◯ 照明器具(埋込型)
——— ライティングレール |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



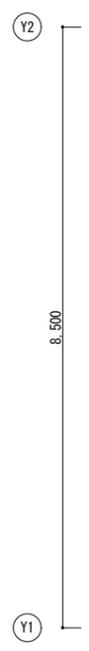
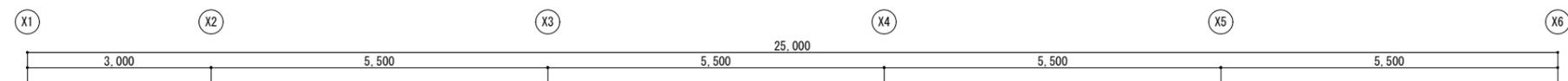
- | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 凡例 (手術室)
◐ 差動式スポット型感知器
⊙ フック
⊙ 天井直付スピーカー
⊠ 吹出口
⊡ 吸込口
◯ 照明器具(埋込型)
○ 无影灯
「^」
「x」
「v」 天井点検口 450×450 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

実験検査棟 1階 平面図

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 凡例 (慢性実験室)
◐ 差動式スポット型感知器
⊠ ITVカメラ
⊠ 吹出口
⊡ 吸込口
◯ 照明器具(直付型)
——— ライティングレール
「^」
「x」
「v」 天井点検口 450×450 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

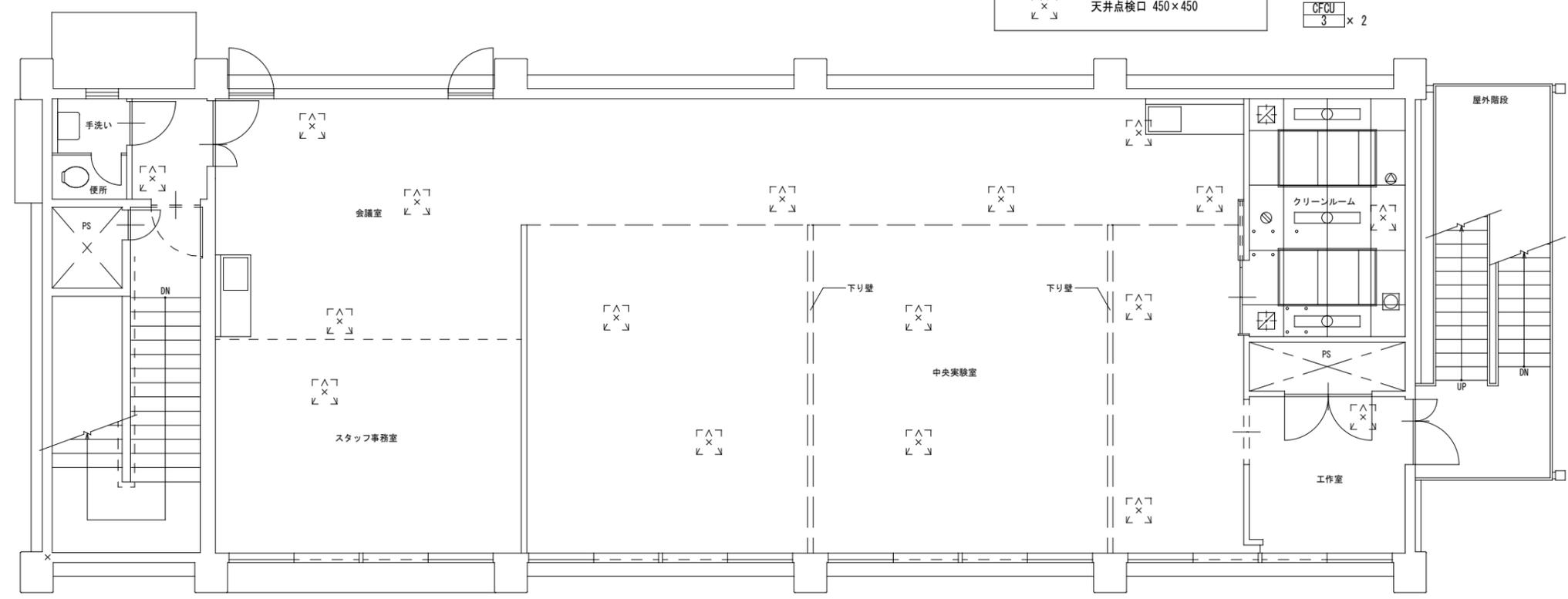
- | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 凡例 (中大動物飼育室)
◐ 定温式スポット型感知器 防水型
⊙ 配管
⊠ 吹出口
⊡ 吸込口
◯ 照明器具(直付型)
——— ライティングレール
「^」
「x」
「v」 天井点検口 450×450 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----



- 凡例 (クリーンルーム)
- ⊙ 天井直付スピーカー
 - ダクト
 - ⊗ 検知器
 - V吊りカーテンレール
 - ⊠ 吹出口
 - ⊡ 吸込口
 - 照明器具(埋込型)
 - 「^」
「x」
「v」 天井点検口 450×450

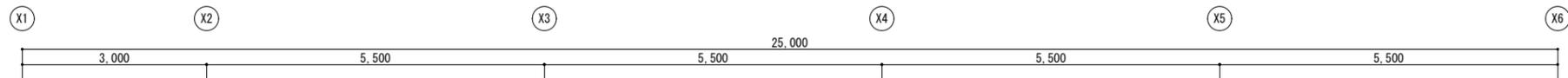
CFCU
3 x 2



実験検査棟 2階 平面図

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

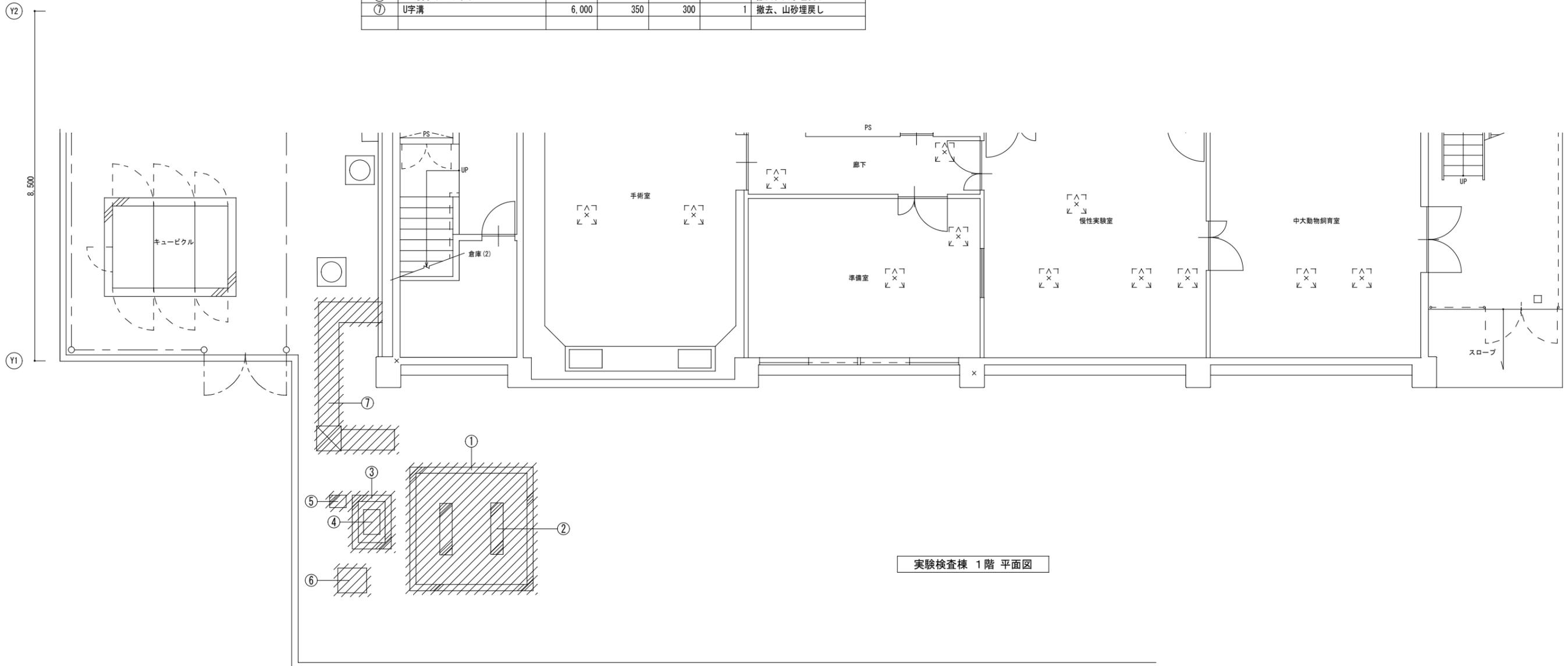
摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事 図面名 2階 天井伏図(既存)	設計図 縮尺 A 1:50 A 3:100	図面番号 M - 26
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	-----------------------------	----------------



番号	名称	基礎寸法			数量	備考
		W	D	H		
①	防油堤上りCON(幅150)	3,000	3,000	500	1	撤去
	防油堤ベース基礎	3,000	3,000	200	1	撤去
②	オイルタンク基礎	300	1,250	200	2	撤去
	防油堤上りCON(幅150)	950	1,300	200	1	撤去
③	防油堤ベース基礎	950	1,300	150	1	撤去
	オイルギアポンプ基礎	400	600	200	1	撤去
④	ストレナー基礎	400	300	100	1	撤去
⑥	FRP製オイルトラップ	700	600	550	1	撤去、山砂埋戻し
⑦	U字溝	6,000	350	300	1	撤去、山砂埋戻し

* 既存基礎は、切り撤去を行う。
⑥、⑦は撤去後、山砂にて埋戻しを行うこと。

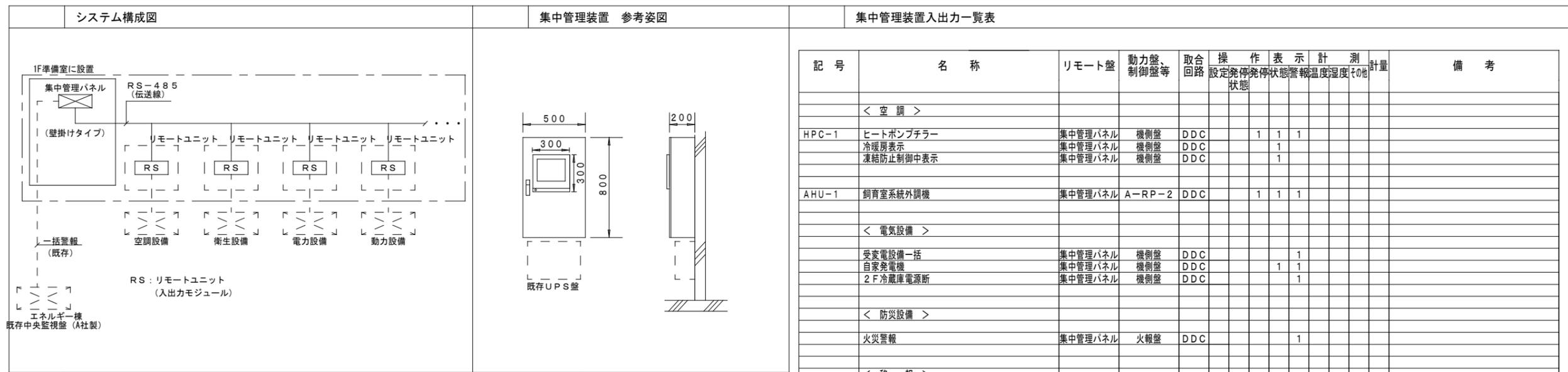
撤去を示す



実験検査棟 1階 平面図

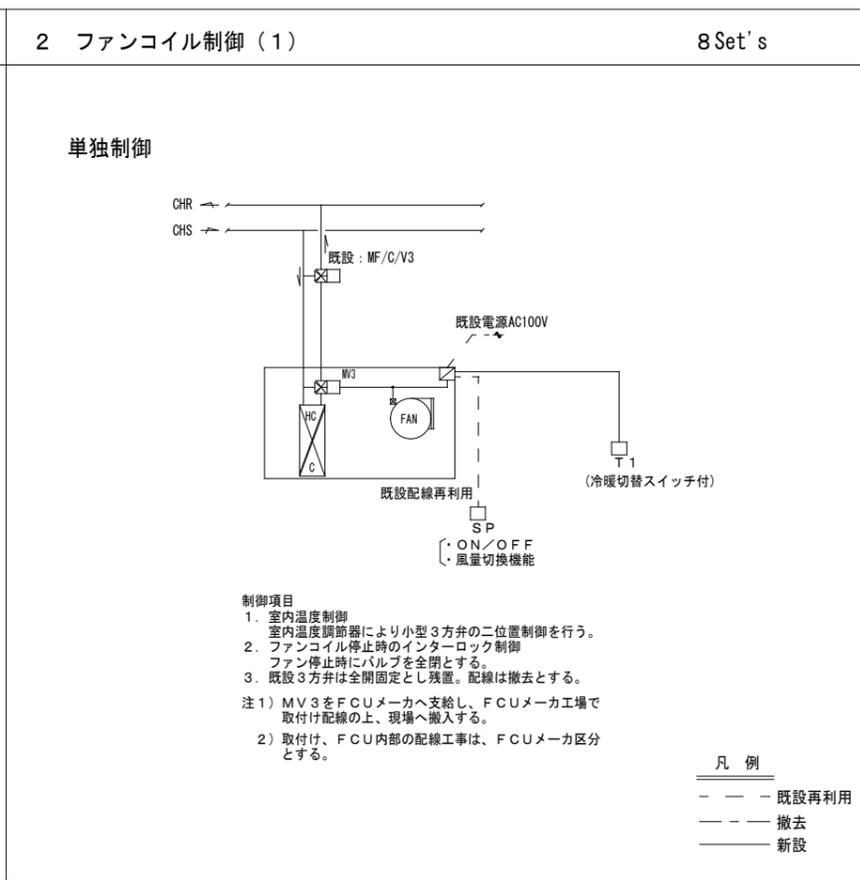
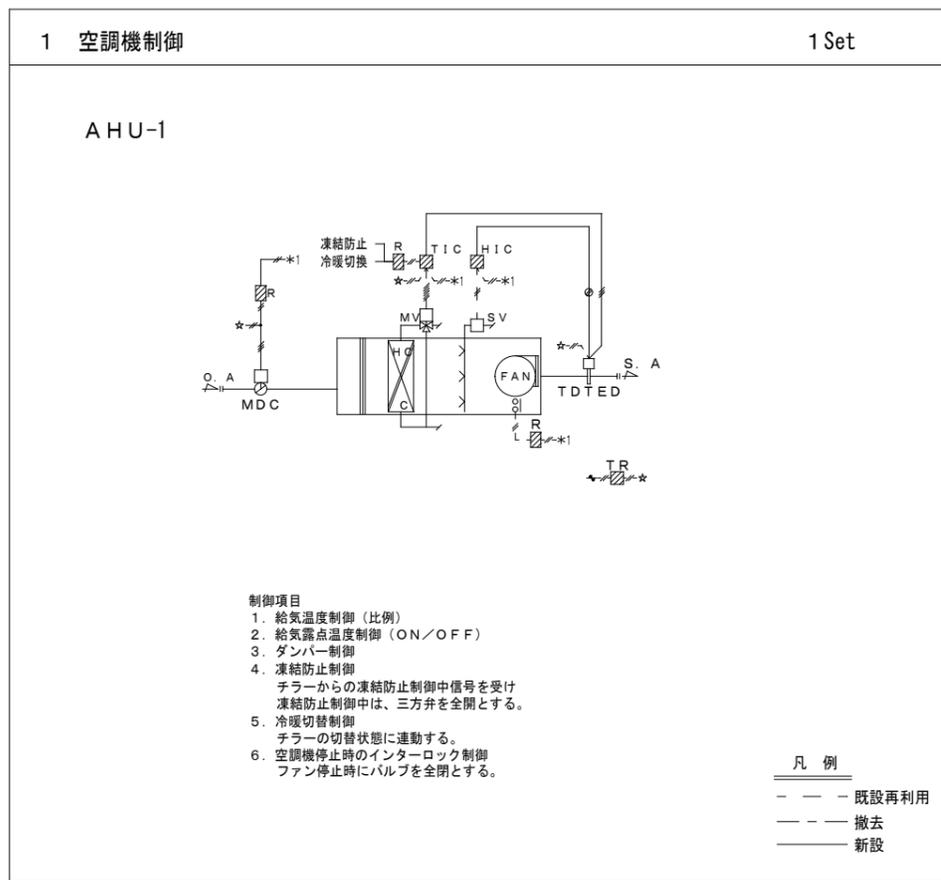
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事	設計図	図面番号 M - 27
						図面名 1階屋外 基礎図(撤去)	縮尺 A 1 : 50 A 3 1 : 100		



集中管理システム機器機能表		
機器名称	システム機能	機器仕様
集中管理パネル	<ol style="list-style-type: none"> 個別発停/設定機能 <ul style="list-style-type: none"> 設備機器の発停、運転状態、警報監視 また、警報発生時には画面表示及びブザーの鳴動を行う。 一覧監視機能 <ul style="list-style-type: none"> 監視点種別毎に監視ができる。 (一般発停/状態/警報/計測/計量) 一括警報出力 <ul style="list-style-type: none"> エネルギー検、既存中央監視盤へ移報する。 カレンダー・スケジュール機能 <ul style="list-style-type: none"> 年間カレンダーにより休日/特別日5種類の設定ができる。 (最大200カレンダー スケジュール数200、登録点16毎スケジュール、スケジュール動作回数16回) 機器運動運転機能 <ul style="list-style-type: none"> 監視点の状態変化/警報発生により設備機器の運動発停ができる。 操作/状態変化/警報履歴表示機能 <ul style="list-style-type: none"> 操作/状態変化/警報発生復帰の履歴が画面に表示できる。 (操作/状態変化/警報の合計で最大2500件) SDカードによりCSV形式で取出し可能 復電制御機能 <ul style="list-style-type: none"> 商用電源断後、復電した際、設備機器を復電後のあるべき状態にする様に機器の再起動を行う。 火災時一括停止機能 <ul style="list-style-type: none"> 火災一括信号入力時、設備機器の一括停止を行う。 	<p>システム</p> <p>定格電源電圧: AC100~240V+10%/-10% 50/60Hz +3Hz/-3Hz</p> <p>定格電源電圧: DC24V±10% 最大116W</p> <p>接地条件: D種接地</p> <p>周囲条件: 5~40℃, 20~85%RH (但し結露なきこと)</p> <p>停電補償: リチウム電池 (データメモリバックアップ)</p> <p>外部メモリ: データー収集用SDHCカード (4~32G)</p> <p>形式: 10.4型バックライト付カラーLCD</p> <p>解像度: 800×600 (SVGA) 1677万色</p> <p>操作方法: 投影型静電容量タッチパネル (保護ガラス付き)</p> <p>表示・操作部</p>
リモートユニット (RS)	<p>現場に設置して集中管理装置とデータ伝送を行う。</p> <p>端末伝送装置と各入出力点数は個別配線とし、動力盤との信号取り合いは補助リレー等で電氣的に分離して入出力の事故から影響を受けないようにする。</p>	<p>入出力点数: 集中管理入出力一覧表参照</p> <p>電源: AC100~240V +10%/-10%, 50/60Hz</p>
伝送線 (RS-485)	集中管理装置と端末伝送装置間のデータ伝送を行う。	<p>通信速度: 76.8Kbps</p> <p>通信方式: 専用通信</p> <p>ケーブル仕様: LANケーブル, コネクタ接続 (EIA568準拠カテゴリ3~5 0.5φ×4P)</p>

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長	管理幹	主 幹	主 任	担 当
-----------------------------	-----	-----	-----	-----	-----



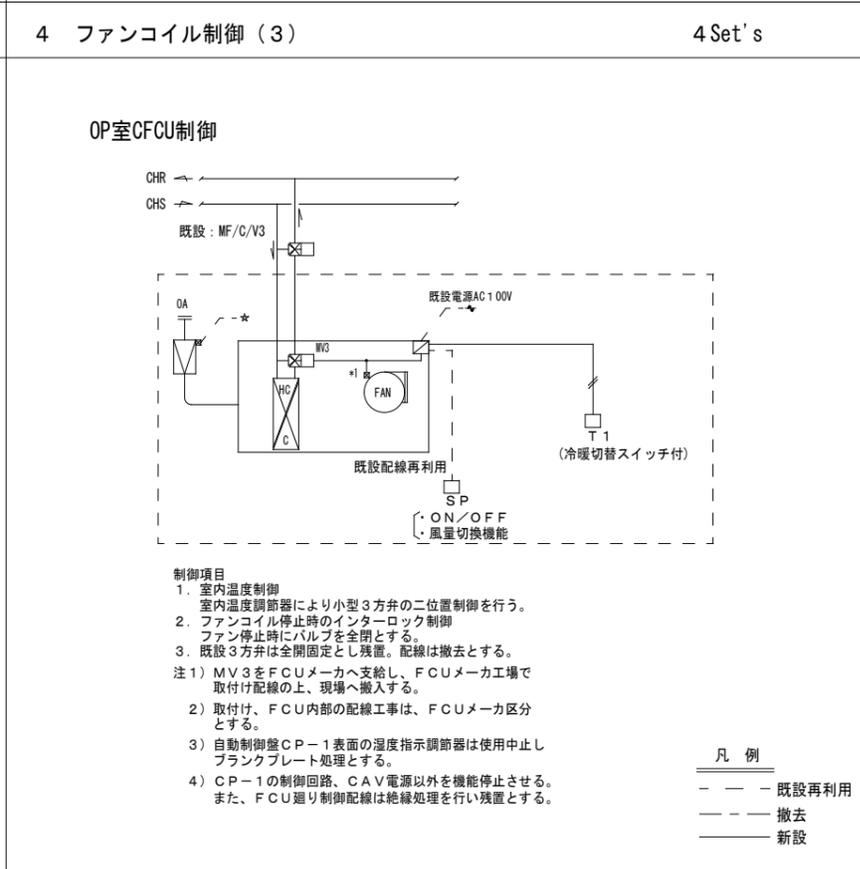
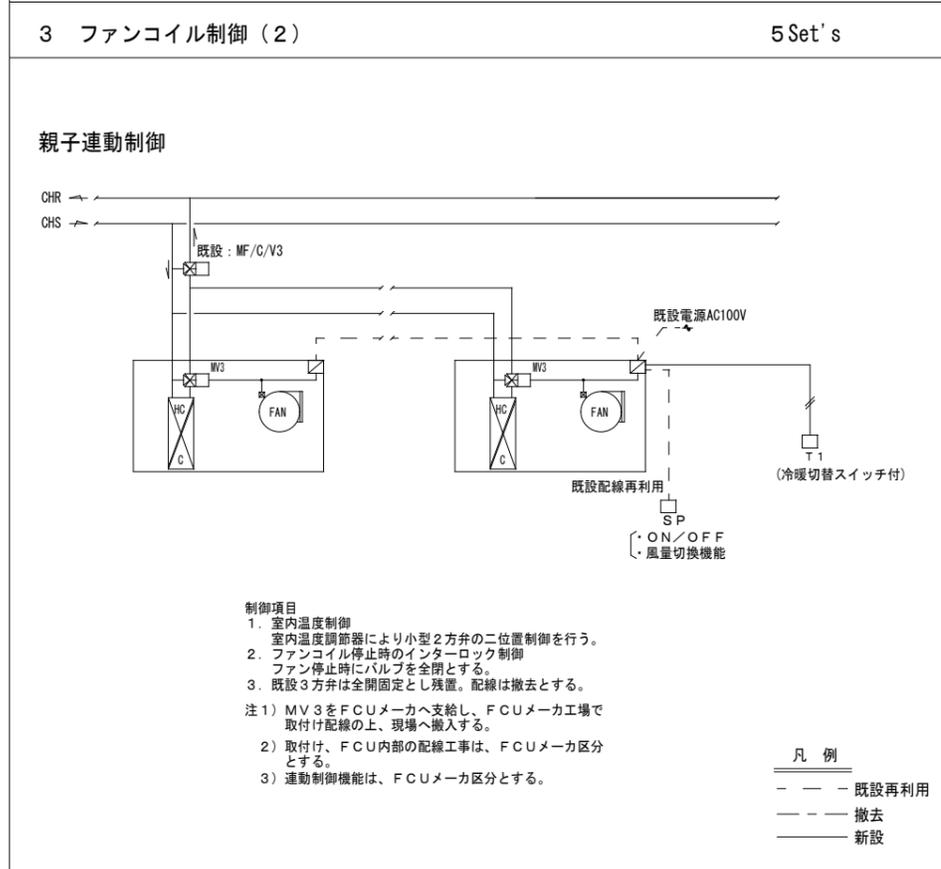
5 自動制御機器表

<自動制御機器表>

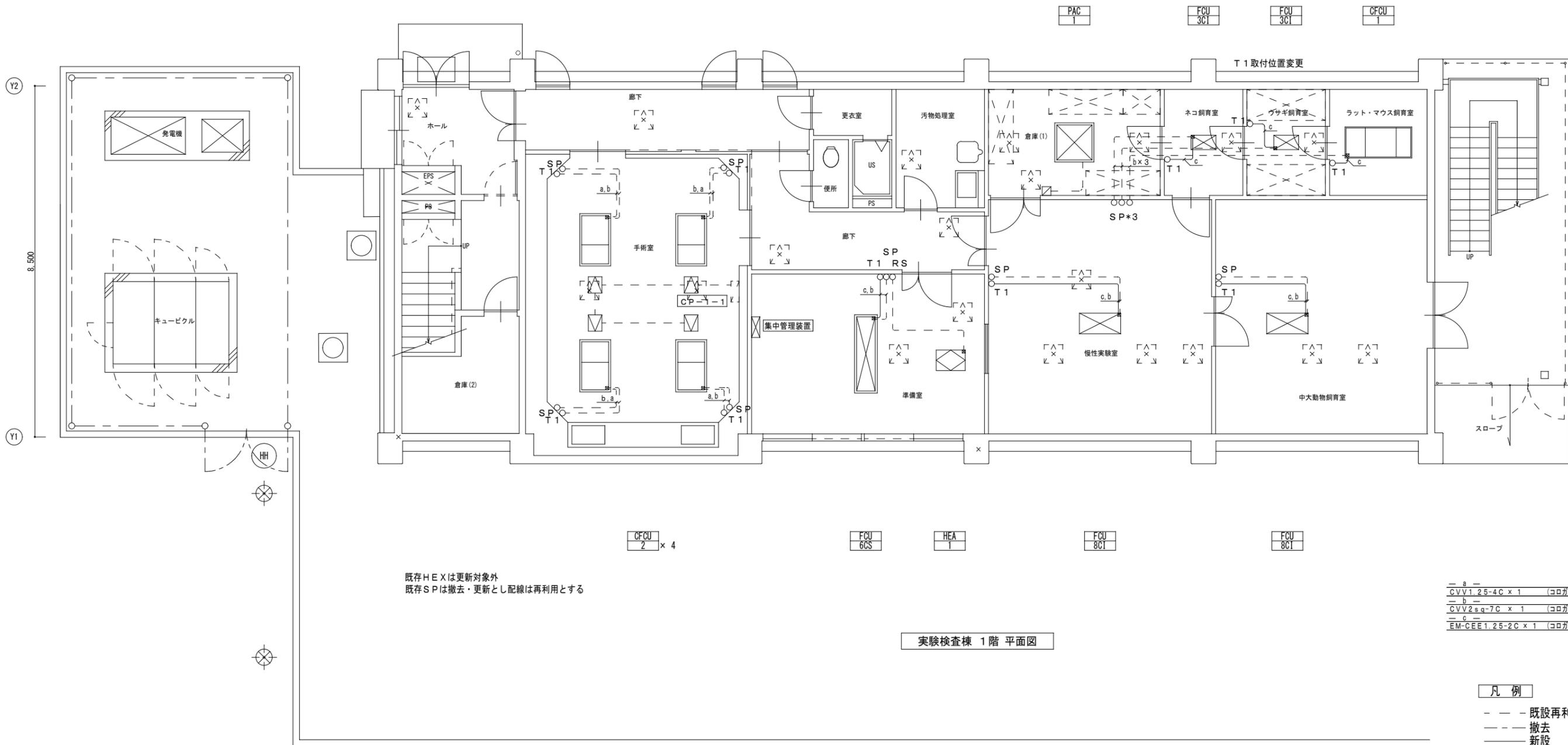
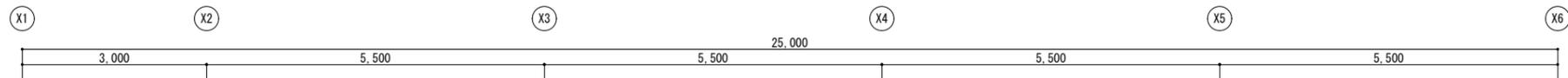
記号	名称	型番	備考
T1	室内型温度調節器	TY6100Z	
QY	マルチサーモケース	既存再利用	
SP	ファンコイルリモコンSW	空調付属品	
MV3	電動三方弁	VY6203A	口径20A
MV	アクチュエータ	MY5310A	
	三方弁	VY5303A	口径32A, CV値16
MDC	ダンパ操作器	M6050A	
TDTED	挿入型温度・露点温度センサ	HTY7905T	
TIC	温度指示調節計	R36TR1UA	
HIC	露点温度指示調節計	R36TROUA	
R	補助リレー		
SV	加湿器	AHU-1内蔵	
I/O	小型I/Oモジュール	RJ-12	
SMS2	スマートスクリーン2	BH-201J	

<既存 壁寸法表>

壁名	形状	参考寸法			備考
		W	W	W	
CP-1-1	壁掛	600	800	250	不要回路撤去、ブラックプレート処理
CP-R-1	自立	1200	1950	400	不要回路撤去
1F FCU用リレーBOX	壁掛	500	400	200	機能を停止し残置とする
2F FCU用リレーBOX	壁掛	400	300	200	機能を停止し残置とする



地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----



実験検査棟 1階 平面図

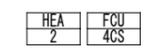
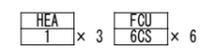
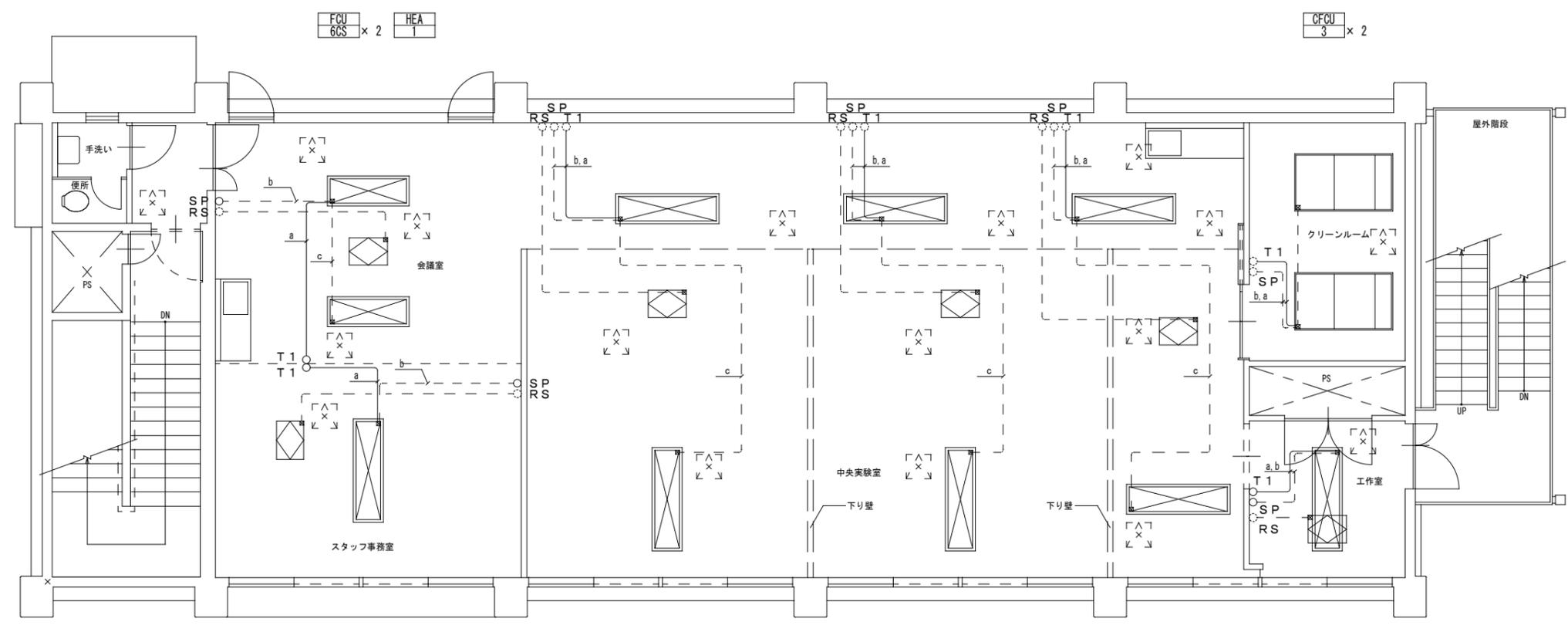
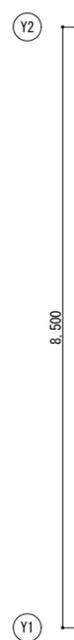
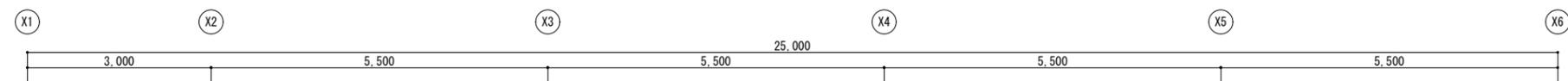
- a -	CVV1.25-4C x 1 (コロガシ) T1 (再利用)
- b -	CVV2sq-7C x 1 (コロガシ) SP (再利用)
- c -	EM-C EE1.25-2C x 1 (コロガシ) T1

凡例

- - -	既設再利用
---	撤去
—	新設

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷水発生機改修工事	設計図 1階 自動制御設備図(改修後)	縮尺 A 1:50 A 3:100	図面番号 M - 30
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------	------------------------	-------------------------	----------------



既存SPは撤去・更新とし配線は再利用とする

— a —	EM-C EE1.25-2C x 1 (コロガシ)	T1
— b —	CVV2sq-2C x 1 (コロガシ)	SP (再利用)
— c —	CVV2sq-7C x 1 (コロガシ)	FCU運動配線 (再利用)

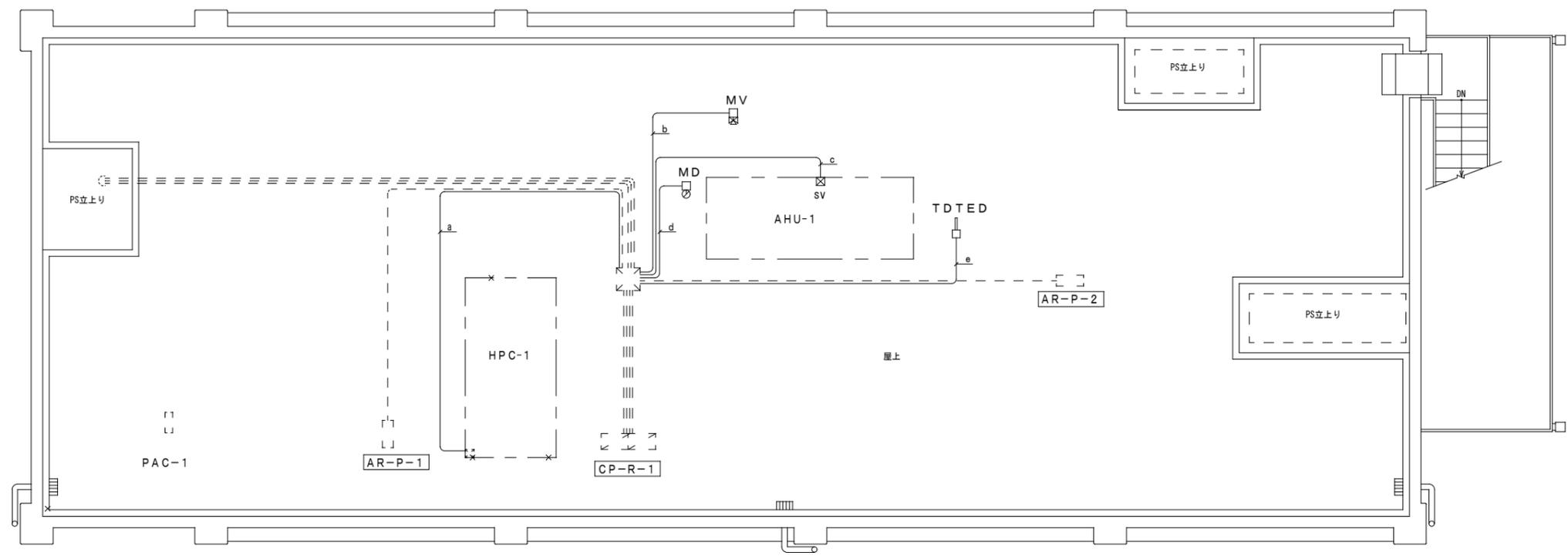
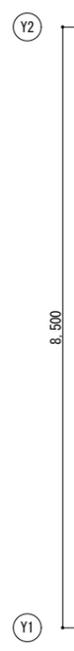
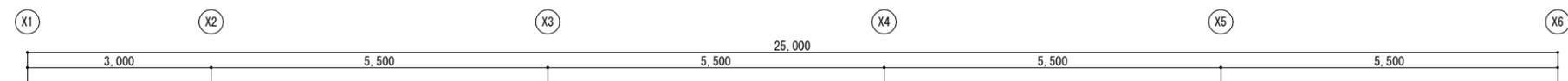
実験検査棟 2階 平面図

凡例

- 既設再利用
- 撤去
- 新設

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事 図面名 2階 自動制御設備図(改修後)	設計図 縮尺A 1:50 A3 1:100	図面番号 M - 31
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------	----------------



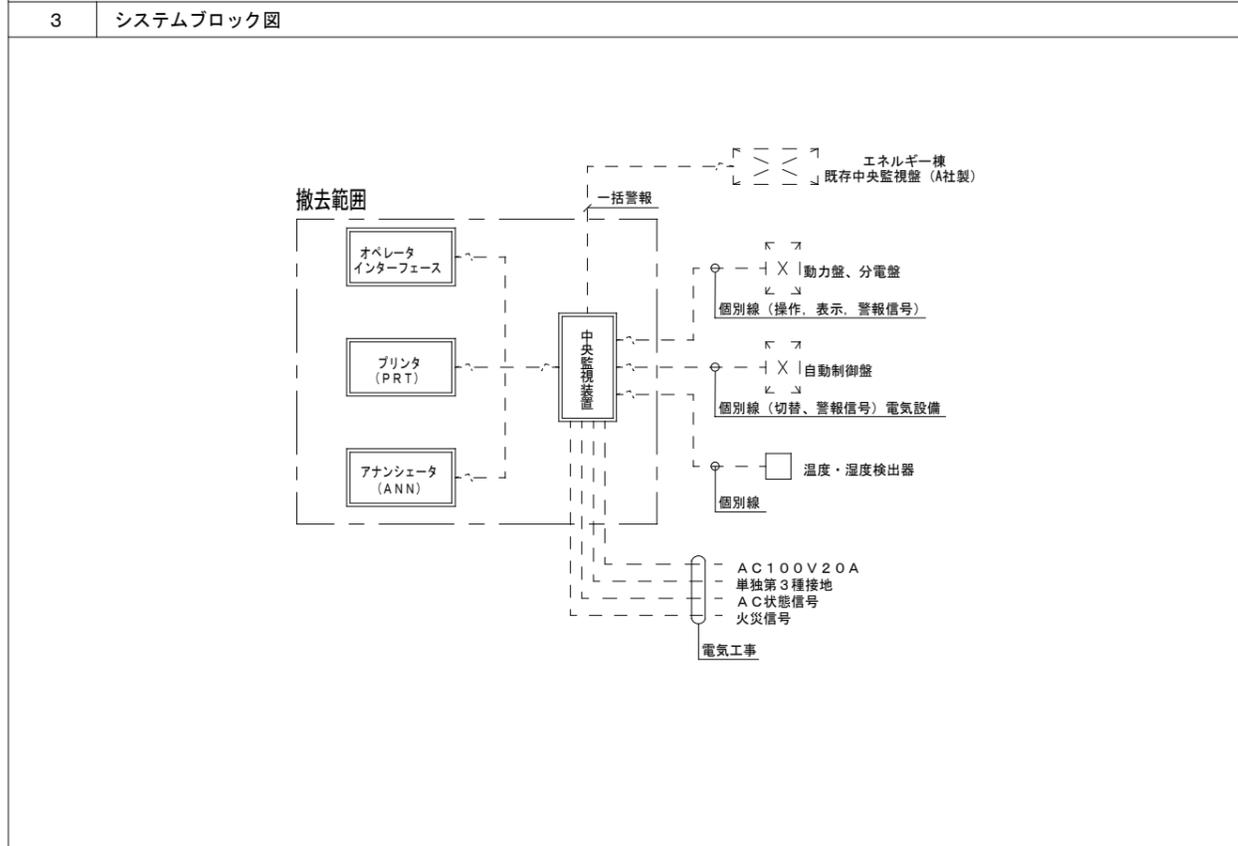
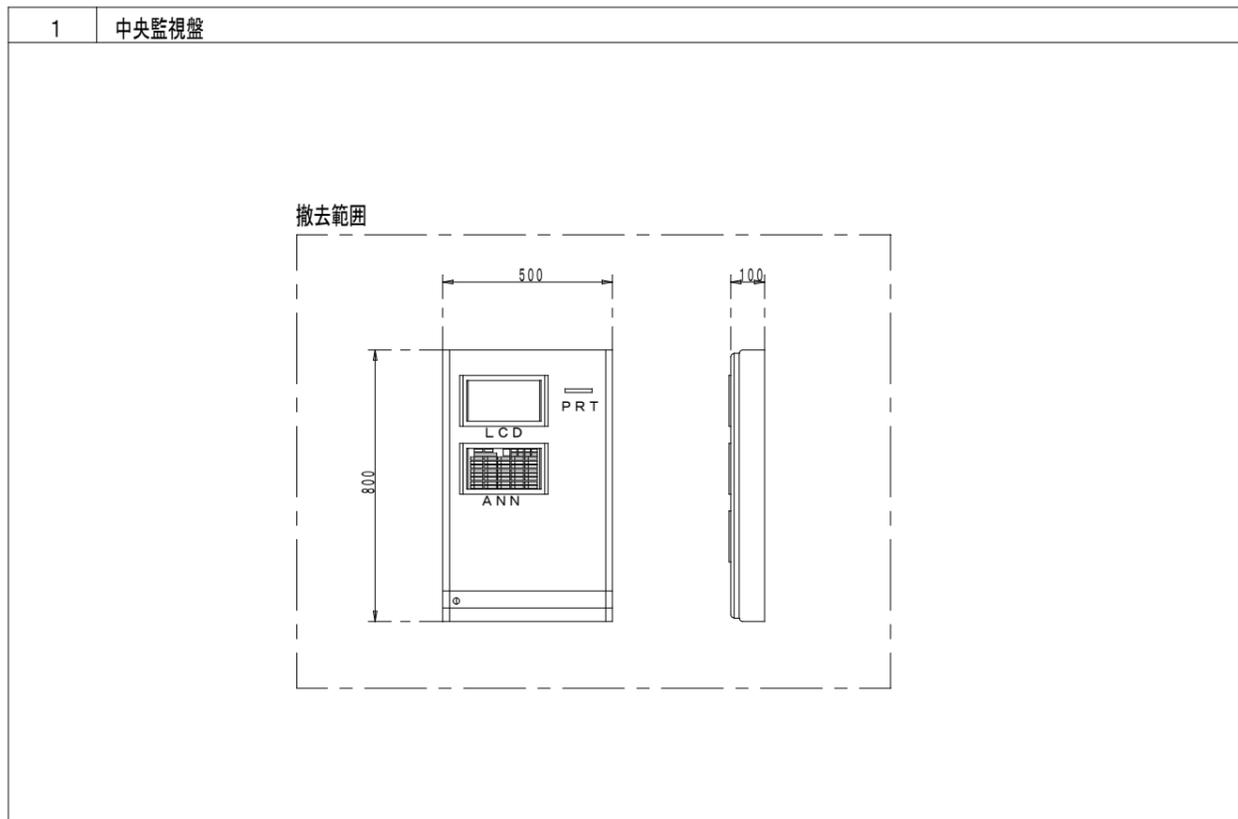
実験検査棟 R階 平面図

a	EM-CPEE0.9-5P x 1 (G22)	HPC-1 連絡配線
b	EM-CEE1.25-6C x 1 (G22)	MV
c	EM-CEE2-2C x 1 (G22)	SV
d	EM-CEE1.25-3C x 1 (G22)	MD
e	EM-CEE1.25-7C x 1 (G28)	TDTED

- 凡例
- - - 既設再利用
 - 撤去
 - 新設

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事	設計図	図面番号
	R04年03月04日		栗木	栗木	佐藤 大谷		R階 自動制御設備図(改修後)	縮尺 A 1:50 A 3:100	M - 32	



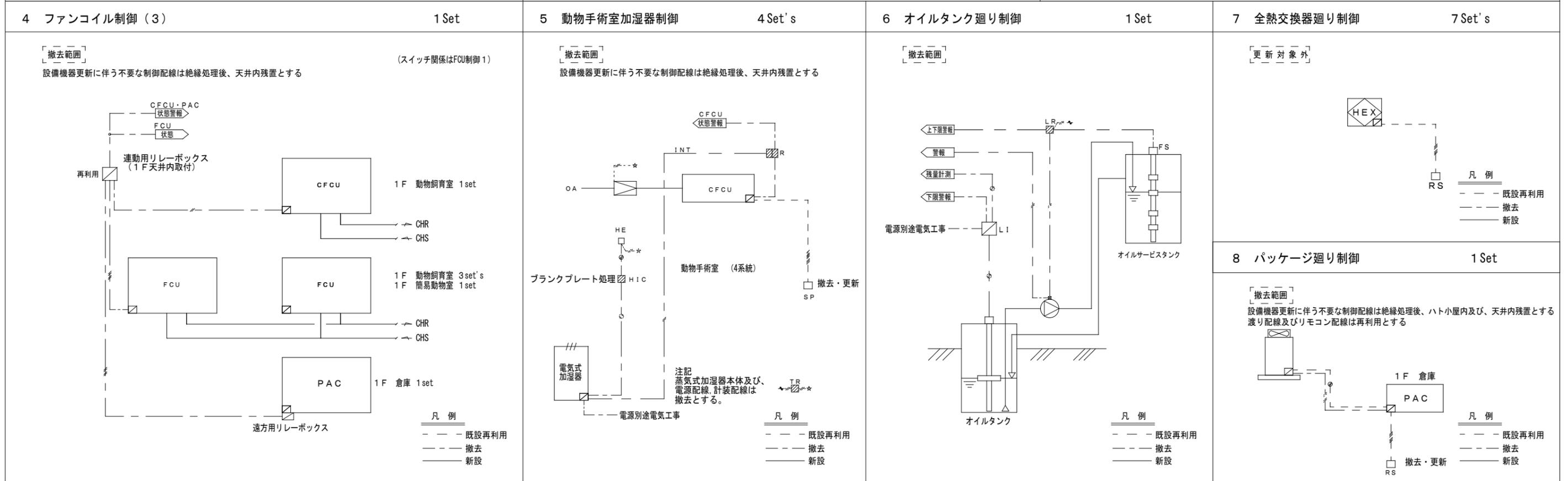
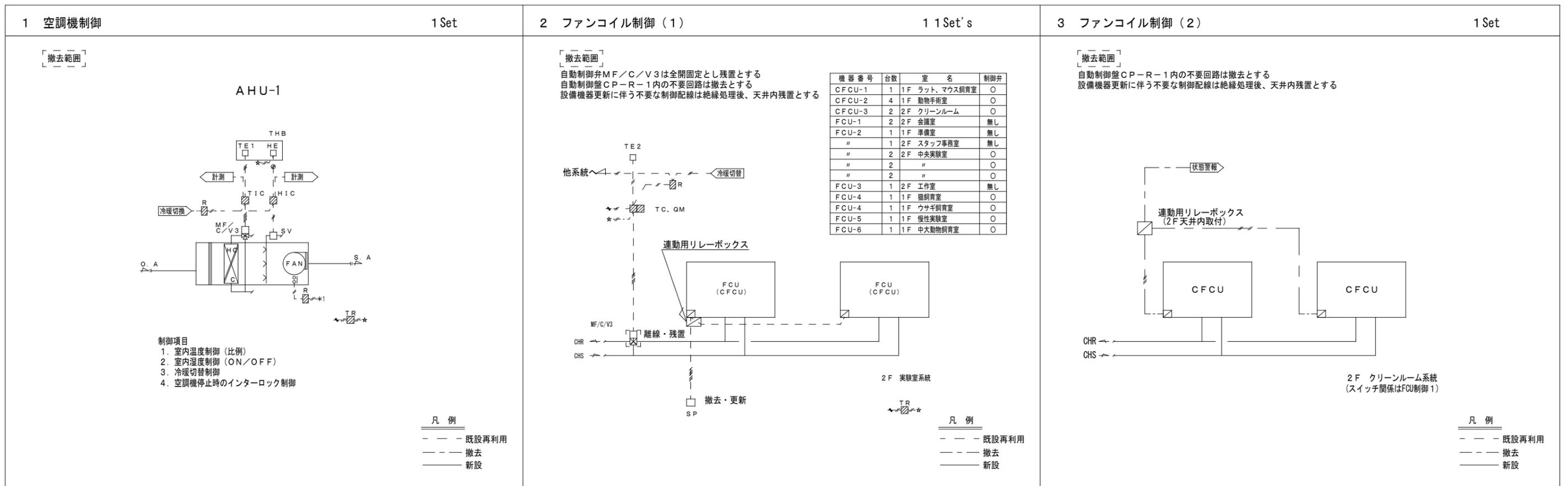
2 中央監視システム機能表

名称	システム機能	仕様
コントローラ	<ol style="list-style-type: none"> 1. マイクロプロセッサで構成し、機能はソフトウェアで処理する。 2. 周辺機器の操作制御を行う。 3. 警報検出及び警報の正常復帰検出 4. 状態変化の検出 5. スケジュール制御 6. テナントカレンダー制御 (20カレンダー) 7. 火災プログラム (火災時指定動力の停止) 8. 復電プログラム (復電時指定動力の順序起動) 9. アナログ値 (温度などの) の計測 10. アナログ値の上下限警報監視 11. 運転時間積算/投入回数積算監視表示 12. 自己点検 (システムチェック、発停エラーチェック) 	管理点数 : 200点 主記憶装置 : ICメモリ 接地条件 : 第3種単独接地 供給電源 : AC100V/200V、50/60Hz 最大200VA 電源断保護 : 停電後100時間のデータメモリ及び カレンダー動作 周囲条件 : 5~40℃、20~80%RH システム入出力 : システム出力 (システム異常、重故障、軽故障、 紙切れ、火災確認) システム入力 (給電状態、自家発切替、火災) 警報ブザー : 電子ブザー
オペレータ インターフェイス (LCD)	<ol style="list-style-type: none"> 1. タッチパネルによりデータの表示、操作、警報確認を行う。 (システム運用として、パスワードによる操作制限、運用区分設定機能を有する) 2. 各制御プログラムの変更を行う。 3. 各管理点の情報としてアドレス、名称、単位、状態を表示する。 (ハイアラキ画面、グループ画面、プログラム画面、一覧画面、アラーム画面を構成できるものとする。) 4. 画面には年月日、曜日、時刻を必要時表示する。 5. 画面にはオペレーションガイド表示を行う。(操作支援メッセージ表示) 6. オペレーションガイド 7. 警報ヒストリ表示 8. 操作、状態変化ヒストリ表示 	形式 : バックライト付大型LCD、10"相当 表示文字 : 英、数、カナ、漢字、 記号、絵文字 (アイコン) 表示色 : 白黒 (黒文字/白地) 操作部 : 表示部上全面タッチパネル : LCD自動消去
プリンタ (PRT)	<ol style="list-style-type: none"> 1. システムと連動し、異常発生時 (警報、状態変化、アナログ上下限) に、そのポイントの名称、データ、時刻を印字する。 2. 自動及び手動による各種操作に対して名称、データ (デジタル点、アナログ点)、時刻を印字する。 (制御、状態変化、一覧) 	形式 : 感熱式ドットマトリクス 印字文字種 : 英、数、カナ、漢字 印字色 : 黒 印字数 : ANK 40字/行
アナウンシェータ (ANN)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 簡易表示部に時刻又は、計測値、積算値、最終OFF時刻等を表示する。 2. 発停、状態、警報点の状態を常時表示する。 3. 発停点の個別手動発停操作を行う。 	簡易表示部 : 7セグメント、6桁 操作部 : 起動/停止、最終OFF時刻変更 : ランプテスト等 常時表示灯 : LED、2灯 (赤、緑) / 点 ANN : 40点

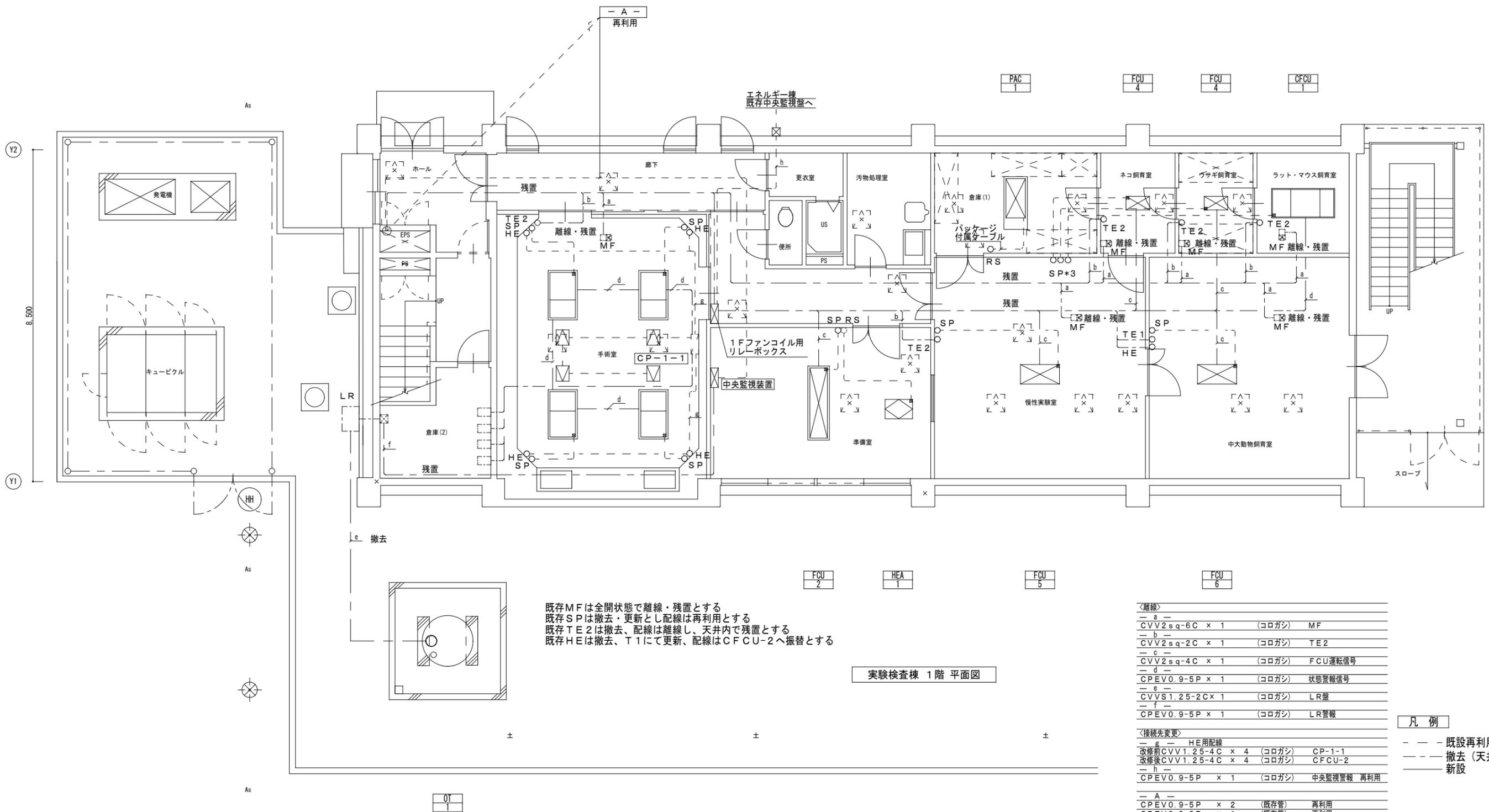
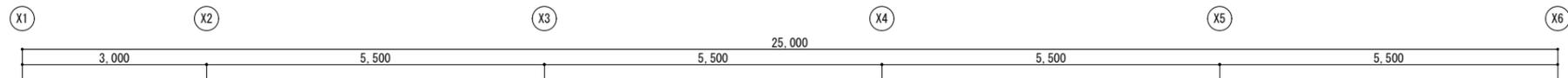
4 集中管理装置入出力一覧表

記号	名称	リモート盤	動力盤、 制御盤等	取合 回路	操 作 設定 発停 状態	表 示 状態	計 測 警報	測 温度	計 湿度 その他	計 量	備 考
R-1	冷水発生器		機側盤			1	1	1			
AHU-1	飼育室系統外調機		A-RP-2			1	1	1			
	" 室内温度								1		
	" 室湿度								1		
OT-1	オイルタンク 減警報						1			1	オイルタンク残量計測
OGP-1	オイルキアポン						1				
OST-1	オイルサービスタンク 満減警報						2				
CFCU-1	クリーンファンコイルユニット (ラット、マウス室)						1	1			
CFCU-2	" (手術室)						4	4			
CFCU-3	" (クリーンルーム)						2	2			
FC-4	ファンコイル (ウサギ、猫)						2				
FC-5	" (慢性実験室)						1				
FC-6	" (中大動物飼育室)						1				
PAC	パッケージ空調機 (倉庫)						1				
	冷暖切替				1						
	受変電設備一括		受変電設備					1			
	自家発電機		機側盤			1	1				
	2F冷蔵庫電源断		機側盤				1				
	< 防災設備 >										
	火災警報		監視盤本体	火報盤			1				
	< 移 報 >										
	警報リセット		監視盤本体			1					
	一括警報出力		監視盤本体			1	1				

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長	管理幹	主 幹	主任	担当
-----------------------------	-----	-----	-----	----	----



地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----



既存MFは全開状態で離線・残置とする
 既存SPは撤去・更新とし配線は再利用とする
 既存TE2は撤去、配線は離線し、天井内で残置とする
 既存HEは撤去、T1にて更新、配線はCFCU-2へ振替とする

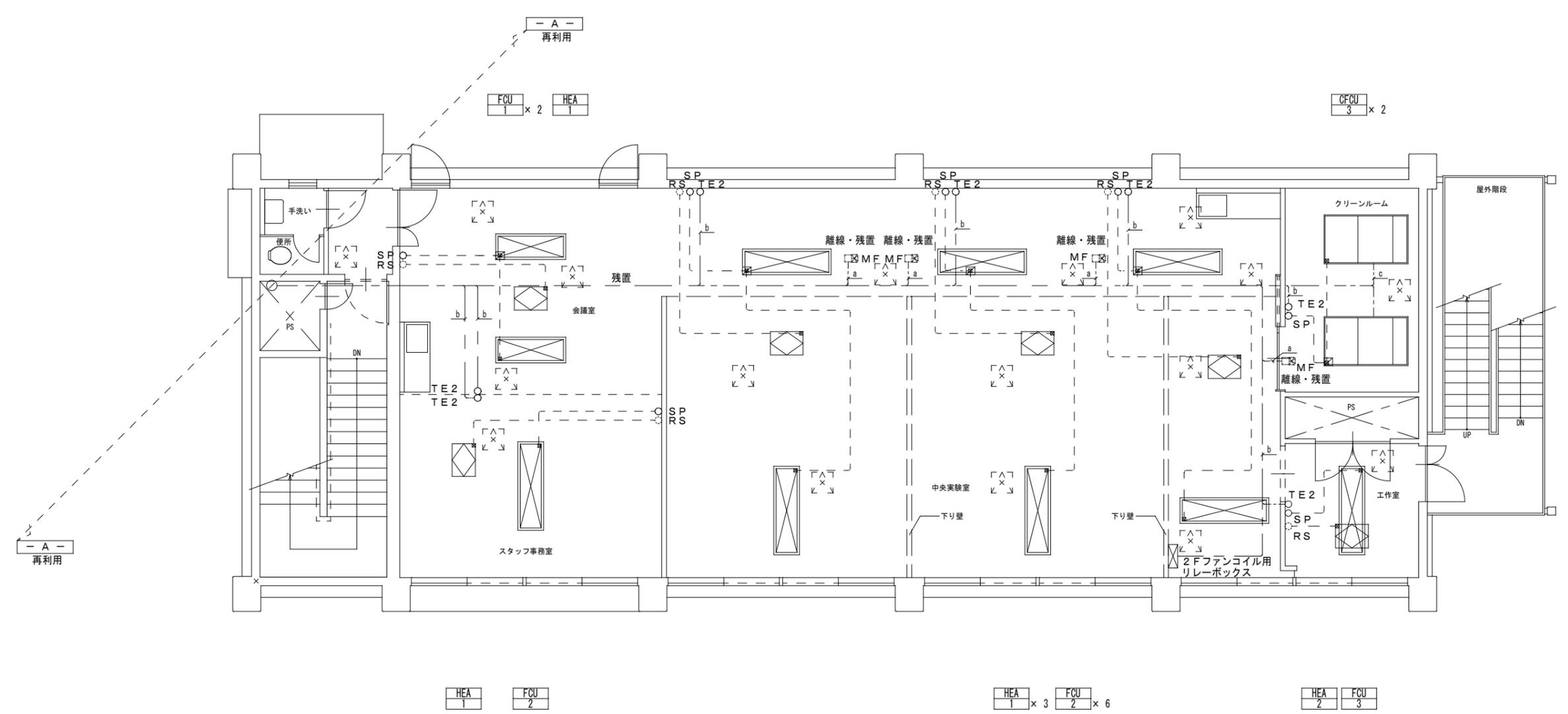
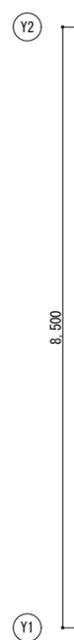
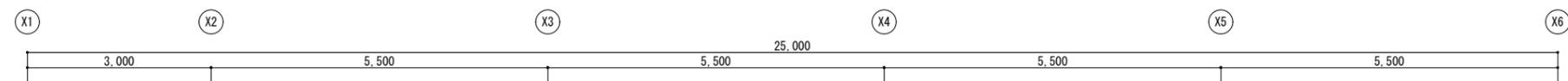
実験検査棟 1階 平面図

〈離線〉	
— a —	CVV2sq-6C x 1 (コロガシ) MF
— b —	CVV2sq-2C x 1 (コロガシ) TE2
— c —	CVV2sq-4C x 1 (コロガシ) FCU運転信号
— d —	CPEV0.9-5P x 1 (コロガシ) 状態警報信号
— e —	CVVS1.25-2C x 1 (コロガシ) LR盤
— f —	CPEV0.9-5P x 1 (コロガシ) LR警報
〈接続先変更〉	
— g —	HE用配線
— h —	改修前CVV1.25-4C x 4 (コロガシ) CP-1-1
— i —	改修後CVV1.25-4C x 4 (コロガシ) CFCU-2
— j —	CPEV0.9-5P x 1 (コロガシ) 中央監視警報 再利用
— A —	CPEV0.9-5P x 2 (既存管) 再利用
— B —	CPEV0.9-3P x 1 (既存管) 再利用

凡例	
---	既設再利用
---	撤去 (天井内残置)
---	新設

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事	設計図 1階 自動制御設備図 (改修前)	図面番号 M - 36
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------	-------------------------	----------------



既存MFは全開状態で離線・残置とする
 既存SPは撤去・更新とし配線は再利用とする
 既存TE2は撤去、配線は離線し、天井内で残置とする

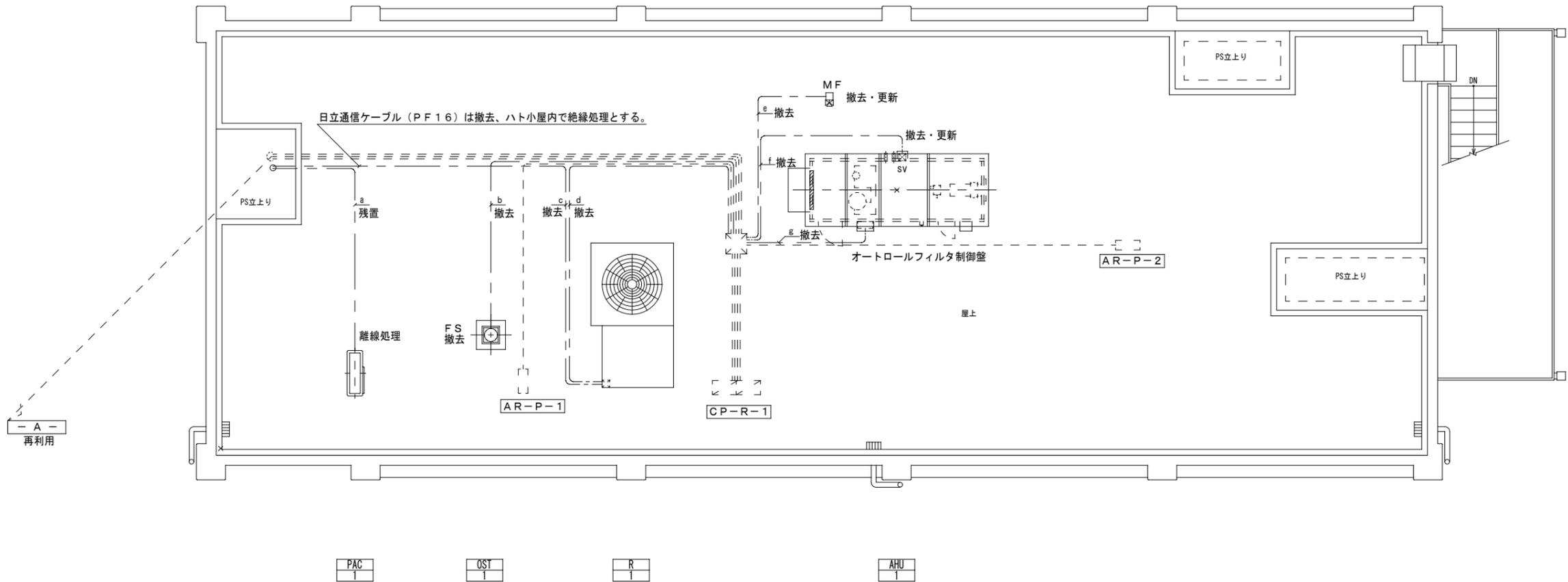
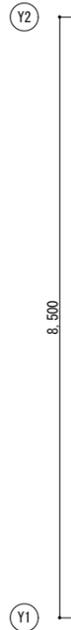
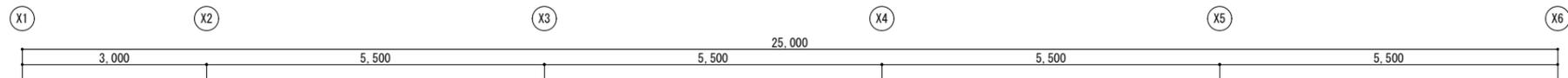
実験検査棟 2階 平面図

〈離線〉	
— a —	CVV2sq-6C x 1 (コロガシ) MF
— b —	CVV2sq-2C x 1 (コロガシ) TE2
— c —	CVV2sq-4C x 1 (コロガシ) FCU運転番号
— d —	CPEV0.9-5P x 1 (コロガシ) 状態警報番号
— e —	CVVS1.25-2C x 1 (コロガシ) LR盤
— f —	CPEV0.9-5P x 1 (コロガシ) LR警報
— A —	CPEV0.9-5P x 2 (既存管) 再利用
— B —	CPEV0.9-3P x 1 (既存管) 再利用

凡例	
---	既設再利用
---	撤去 (天井内残置)
---	新設

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長	管理幹	主 幹	主 任	担 当
-----------------------------	-----	-----	-----	-----	-----

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事	設計図 2階 自動制御設備図 (改修前)	図面番号 M - 37
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------	-------------------------	----------------



PAC 1 OST 1 R 1 AHU 1

実験検査棟 R階 平面図

<撤去>

— a —	CVV2sq-4C x 1	(G22)	PAC
— b —	CVVS1.25-5C x 1	(G22)	FS
— c —	VCTF0.75-2C x 6	(PF16)	日立通信配線
— d —	CPEV0.9-5P x 1	(G22)	R-1
— e —	CVVS1.25-6C x 1	(G22)	MF
— f —	CVV2sq-2C x 1	(G22)	SV
— g —	CVV2sq-4C x 1	(G28)	フィルタ警報

— A —	CPEV0.9-5P x 2	(既存管)	再利用
— A —	CPEV0.9-3P x 1	(既存管)	再利用

凡例

---	既設再利用
---	撤去
---	新設

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事	設計図 R階 自動制御設備図(改修前)	縮尺 A 1:50 A 3 1:100	図面番号 M - 38
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------	------------------------	---------------------------	----------------

電気設備工事特記仕様書

- 1 工事概要
 1.1 工事名 23循環器・呼吸器病センター実験検査棟吸引式冷水発生機改修工事
 1.2 工事場所 熊谷市板井1696
 1.3 工期 契約日から令和6年1月19日まで

1.4 工事科目 (○印の付いたものを適用する)

○ 電灯設備 ○ 動力設備 ○ 電熱設備 ○ 雷保護設備 ○ 受変電設備 ○ 電力貯蔵設備 ○ 発電設備 ○ 構内情報通信網設備 ○ 構内交換設備 ○ 情報表示設備 ○ 映像、音響設備 ○ 拡声設備 (非常放送設備) ○ 誘導支援、呼出し設備	・ テレビ共同受信設備 ・ テレビ電波障害防除設備 ・ 監視カメラ設備 ・ 駐車場管制設備 ・ 防犯、入退室管理設備 ○ 自動火災報知設備 ・ 自動閉鎖設備 ・ ガス漏れ火災警報設備 ・ 電話配管設備 ・ 中央監視制御設備 ・ 医療関係設備 ・ 昇降機設備
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 1.5 指定部分 ○ 無 ・有 (工期: 令和 年 月 日)
 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
 1 専任期間の始期 請負契約締結の日から、(○現場施工に着手するまで (現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで) の期間 ・令和 年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
 2 専任期間の終期 工事成業後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
 3 専任期間の中断 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時的に中止している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

1.7 建物概要
 実験実習棟 R C造 2階建て 延床面積425m²

1.8 工事概要
 実験実習棟の冷水発生機更新工事に伴う、電気設備工事を行う。

- 1.9 同時期発注の関連工事 ・ 建築工事 ○ 機械設備工事

2 工事仕様

- 2.1 共通仕様
 (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (以下「標準仕様書等」という。)及び監督員の指示に従い施工する。
 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
 (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
 (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
 2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印の付いたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。
 ○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。)

項目	特記事項
1 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
2 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律 (S63第91号) に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
3 工所用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
4 工所用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
5 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
6 監督員事務所	本工事で ・ 設ける (規模) ※設けない
7 保 険	受注者は工事事務及び工事材料について工事成業期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている積立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
8 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
9 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する (契約金額による) ・ 適用しない
10 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・ 適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表 (名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等) を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A 3 二折つり製本4部とする。
11 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事 ・ 別途) (1) 引渡しを要するもの () (2) 買取処分を要するもの (銅屑・鉄屑) (3) 再生資源化を図るもの (蛍光管) 蛍光管等は再資源化施設等に搬出し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物 () ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

- 12 金属電線管の塗装
 13 鍵
 14 地中電線路

(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

敷き均し土	管 種 別
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)

(2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び保護シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の保護シートは図面特記による。
 (3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面 (舗装する部分では路盤材下面) から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

- 15 回路の種別 行先の表示
 16 電線の接続

湿度の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

- 17 電線管の接続
 18 接地工事

屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。
 漏電遮断で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑・黄又は緑・色帯で区別する。

- 19 建設発生土の処理
 20 再生砂・再生アスコン

埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。
 ・構外搬出適切処理する。
 契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、 ・使用できる。 ※使用できない。
 再生砂使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

- 21 耐震施工
 設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修) を参考とする。
 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
 (1) 設計用水平地震力
 機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。
 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
屋上及び塔屋	水 槽 類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備 考】(※1) : 水槽類には、オイルタンク等を含む。
 重要機器
 ・配電盤 ・ 発電装置 (防災用) ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
 ・ 交換機 ・ 火災報知器受信機 ・ 中央監視装置 ・ 太陽光発電装置
 上層階の定義は次による。
 2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
 (2) 設計用鉛直地震力
 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

- 2.2 あと施工アンカー
 機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
 施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
 (原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
 あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

- 2.3 はつり及びあと施工アンカー打設
 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。
 電動ドリル等の刃が鉄粉、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

- 2.4 改修部分の足場
 本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
 (1) 内部足場 ※ 脚立足場
 (2) 外部足場 ※ A種 (枠組足場) ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
 ※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について (厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日) の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に準じ、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

- 2.5 墜落制止用器具 (フルハーネス型)
 ※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け基発0622第2号) による
 ・使用を要しない

- 2.6 アスベスト事前調査結果の報告
 2.7 電気保安技術者

全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
 (a) 受注者は、電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。
 (b) 電気保安技術者は、次による者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料を監督員に提出して承諾を受ける。
 (1) 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者、一級電気工事施工監理士又はこれと同等の知識及び経験を有する者。
 (2) 一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者。
 (c) 電気保安技術者は、監理技術者、主任技術者、現場代理人が兼任できる。
 (d) 電気保安技術者は、監督員の指示に従い、電気工作物の保安業務を行う。
 (e) 電気主任技術者を別途配置している電気工作物に係る工事においては、電気主任技術者及び監督員と協議し保安業務に支障がないよう努める。

- 2.8 工所用電力設備の保安責任者
 2.9 その他

(a) 受注者は、工所用電力設備の保安責任者として、関係法令に基づき、有資格者を定め、監督員に報告する。
 (b) 保安責任者は、前項2.5の電気保安技術者が兼任できる。
 (c) 保安責任者は、適切な保安業務を行う。
 (1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
 (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作物を監督員に提出し、承諾後製作する。
 (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
 (4) 本工事にかかる官公庁への随手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
 (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
 (6) 改修工事等を行う場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
 (7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。
 (8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
 (9) 特に騒音振動など周辺に大きな影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
 (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

- 2.3 工事別一般事項 (特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する)

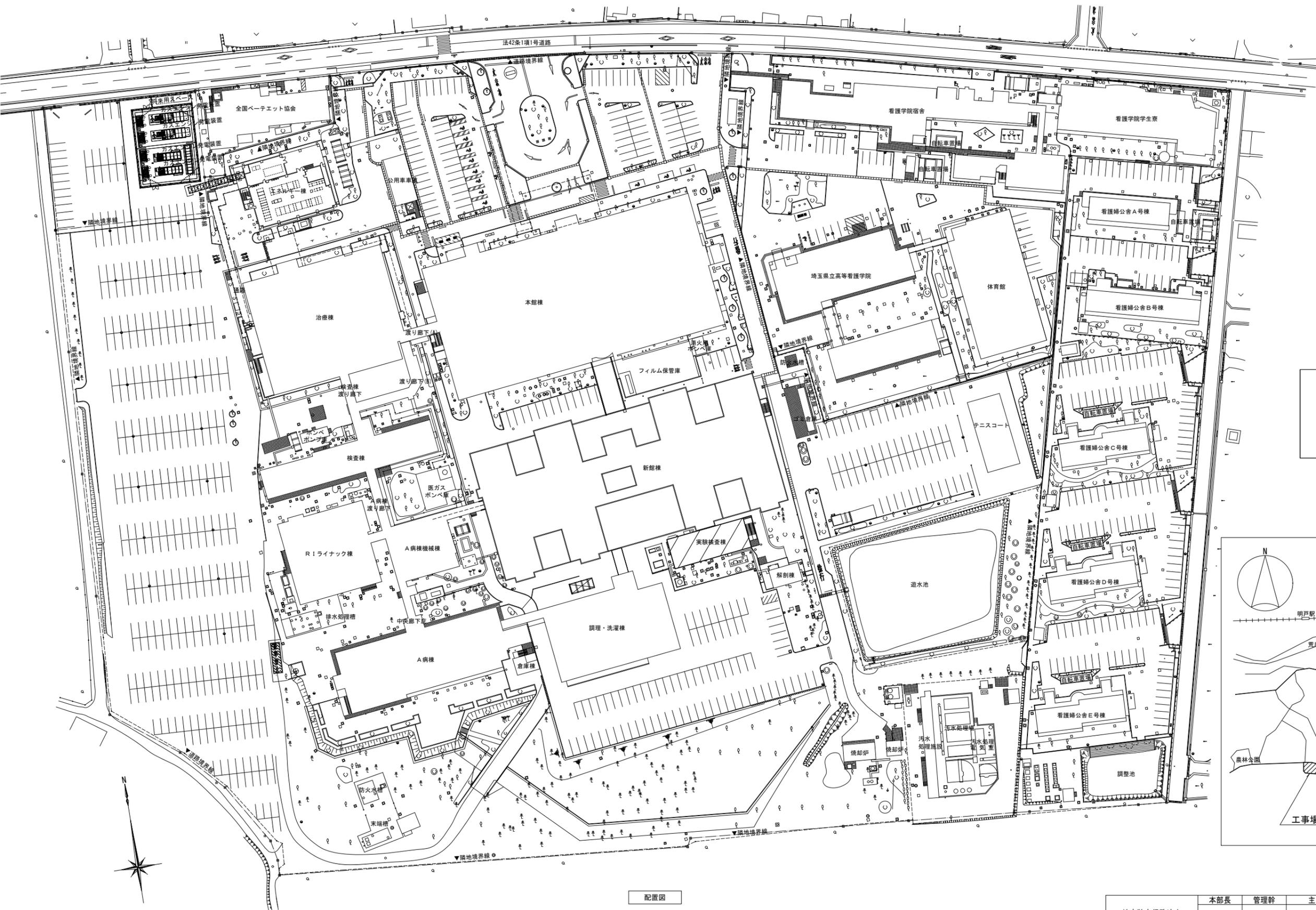
項目	特記事項
1 電灯設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は連用形とする。なお、2口コンセントは横式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 (3) 照度測定 電灯設備工事の際し、新設工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 継柱 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継柱を使用する。ただし、ボード張り、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継柱を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルところがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略してもよい。
2 動力設備	(1) 動力制御盤及び閉開器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	受雷部突針はLR1とする。
4 受変電設備	高圧引込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 (端末処理 ・ 耐塩用 ・ 一般用) 受 電 電 圧 柱上高圧空气中 負荷開閉器 (PAS) 主 変 断 装 置 変圧器設備容量 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 定格電圧 7.2kV 定格電流 A 電灯用 kVA× 台 高圧進相コンデンサ kVar× 台 直列リアクトル ・ 6% ・ 1.3% kVar× 台
5 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 電力貯蔵設備	・直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置

項目	特記事項
7 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱供給 (コージェネレーション) 発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要)
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備 (非常放送設備)	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

- 2.4 取付高さ
 壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)	
		一 般	県営住宅
スイッチ (一般)	床上~中心	1,300	1,200
" (身体障害者用)	"	1,100	1,000
" (人感センサー切換用)	"	2,000	2,000
コネクタ、電話用770Vト、直列ユニット	"	300	400
" (和室)	"	150	200
" (台上)	台上~中心	150	500
防水型コンセント	床上~中心	500	500
分電盤、制御盤、閉開器箱	"	(上端1,900以下) 1,500	(上端1,900以下) 1,500
呼出ボタン (身体障害者用)	"	900	900
復帰ボタン (")	"	1,800	1,800
廊下表示灯 (")	"	2,000	2,000
端子盤	"	(上端1,900以下) 1,500	2,000

- 3 その他
 3.1 他工事との取合区分
 発注図又は工事区分表による。
 3.2 図面上の縮尺
 図面上の縮尺は、JIS A1版とし縮尺とする。
 3.3 疑義
 本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。



凡例

 工事範囲を示す

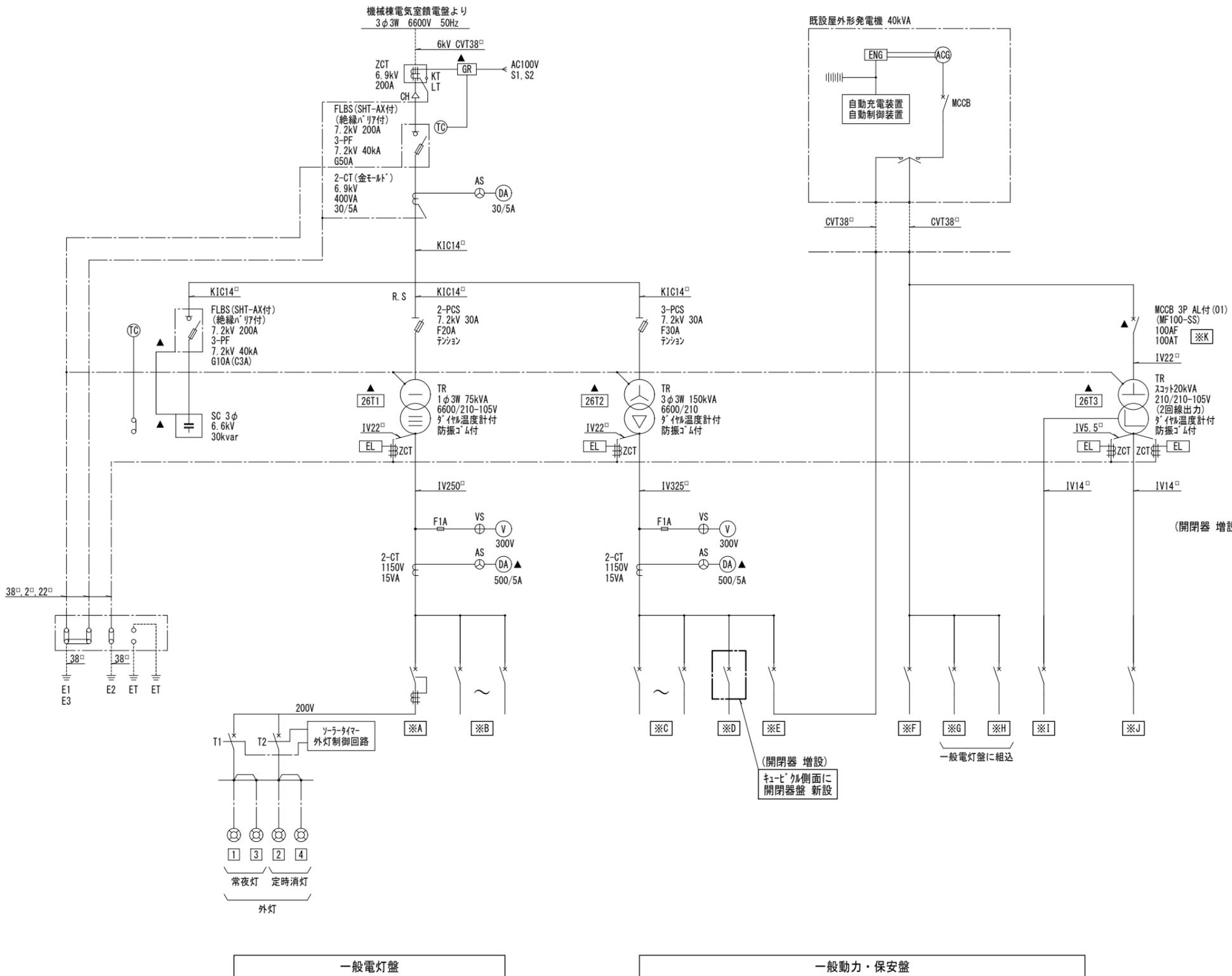


案内図

配置図

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限 クラフト設備設計 会社 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷水発生機改修工事 図面名 案内・配置図	設計図 縮尺A 1:1:600 A3 1:1200	図面番号 E - 02
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------	---------------------------------	----------------



開閉器リスト

一般電灯盤 ▲トリップ一括警報

幹線 No.	負荷名称	負荷容量 kVA	開閉器定格		幹線サイズ mm2
			AF	AT	
※A	外灯	200V	3.400	ELCB 3P 100 / 50	
※B	AL-1 A-1LP-1	13.140	MCCB 3P 100 / 100	CVT 22	
	AL-2 A-2LP-1	34.520	MCCB 3P 225 / 175	CVT 100	
	AL-3 予備		MCCB 3P 225 / 150		×
	AL-4 H-LP (廃棄物保管庫)	6.160	MCCB 3P 50 / 50	CV-3C 14	
	予備		MCCB 3P 100 / 100		×
	AL-5 フロント庫(2)・電灯コンセント	100V	0.200	ELCB 3P 100 / 20	CV-2 3.5
	X1, Y1 蛍光灯コンセント電源	100V		MCCB 2P 50 / 20	
	S1, S2 継電器警報電源	100V		MCCB 2P 50 / 15	
	発電機補機電源	100V		MCCB 2P 50 / 20	CV-2 3.5
⑤	非常警報装置	100V		MCCB 2P 50 / 20	

一般動力・保安盤 ▲トリップ一括警報

幹線 No.	負荷名称	負荷容量 kW	開閉器定格		幹線サイズ mm2
			AF	AT	
※C	AP-1 A-1LP-1, A-1P-2	9.800	MCCB 3P 100 / 75	CV-3C 14	
	AP-2 A-2LP-1	31.000	MCCB 3P 225 / 150	CVT 38	
	AP-3 実験棟排水処理施設・検査排水処理施設2	3.100	MCCB 3P 225 / 125	CV-3C 14	
	AP-4 OP-1	15.000	MCCB 3P 100 / 75	CVT 22	
	AP-5 S-4 ガス強制酸化装置	4.200	MCCB 3P 50 / 50	CV-3C 14	×
	AP-7 H-LP (廃棄物保管庫)	8.820	MCCB 3P 100 / 75	CV-3C 14	
	AP-8 A-RP-1, A-RP-2	8.225	MCCB 3P 100 / 100	CV-3C 14	

(開閉器 増設)

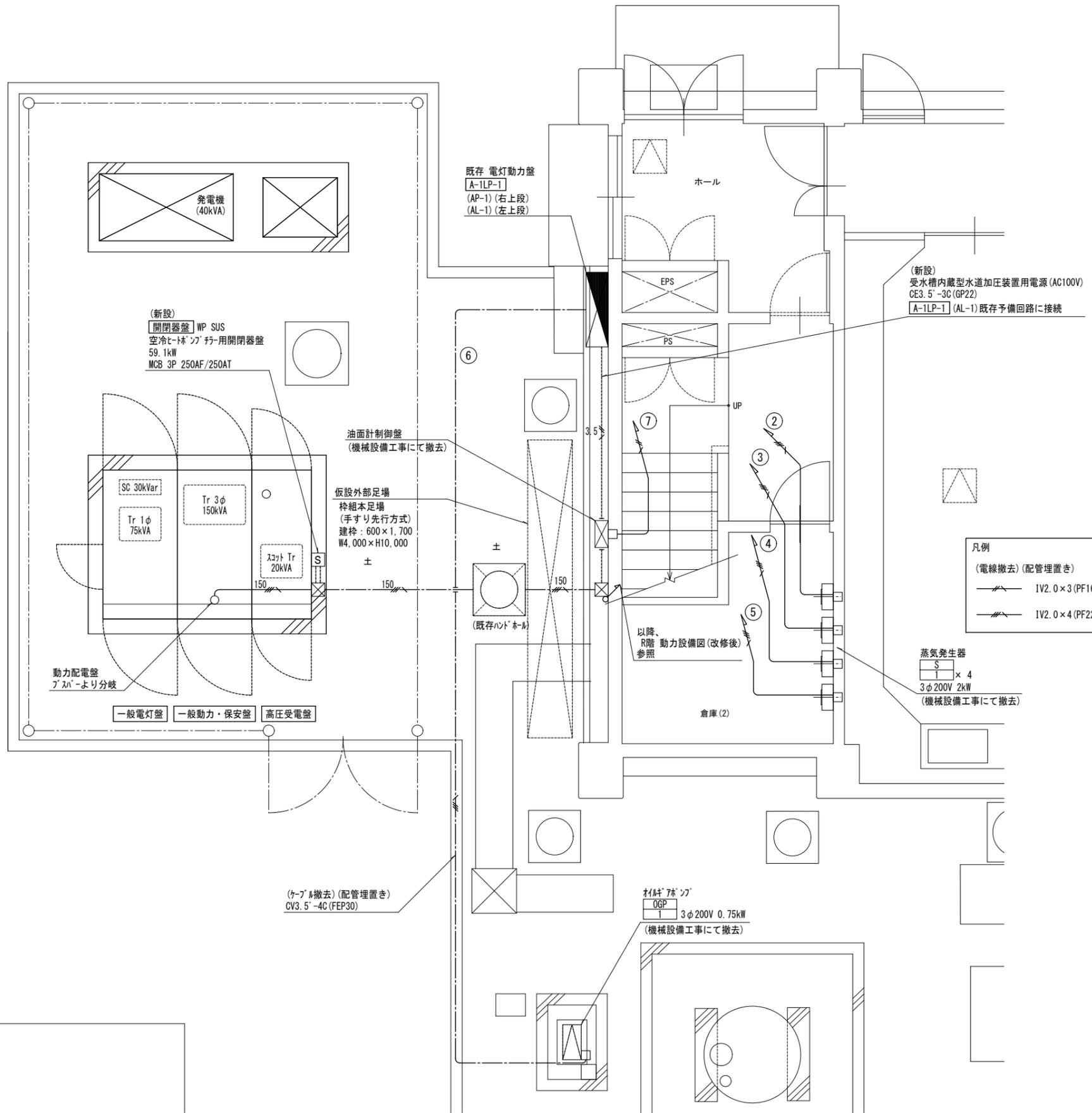
※D	HPC1 空冷ヒートポンプチラー	59.100	MCCB 3P 250 / 250	CET 150	
※E	AP-6 発電機	35.000	MCCB 3P 225 / 150	CVT 38	
※F	GP-1 A-1LP-1, A-2LP-1	34.000	MCCB 3P 100 / 100	CVT 38	
※G	GP-2 A-RP-1	11.620	MCCB 3P 100 / 100		
※H	GP-3 洗濯機キュービクル・排水キュービクル	3.100	MCCB 3P 50 / 50	CV-3C 14	
※I	GL-1 A-1LP-1, A-2LP-1	10.340	MCCB 3P 100 / 75	CVT 22	
※J	GL-2 A-1LP-1	11.600	MCCB 3P 100 / 75	CVT 22	
※K	スコットTR1次	20kVA	MCCB 3P 100 / 100		

×：開閉器OFFを示す

凡例

- ▲：故障(異常)表示用接点
- ：範囲内本工事を示す

	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					



既存 電灯動力盤
A-1LP-1 (AP-1)

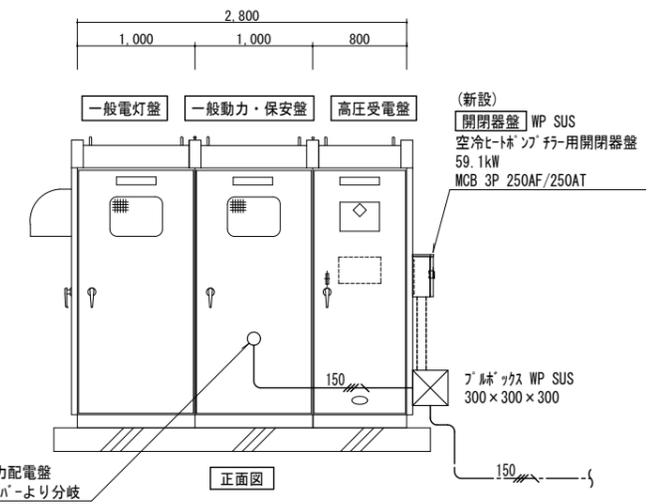
回路番号	回路名称	開閉器定格		現況	→	改修後	備考
		AF	AT				
	AP-1主幹	MCB 3P	50 / 50	ON	→	OFF	
①	加圧給水P	MCB 3P	50 / 50	OFF	→	OFF	
②	蒸気発生器	MCB 3P	50 / 20	ON	→	OFF	2次側ケーブル撤去
③	蒸気発生器	MCB 3P	50 / 20	ON	→	OFF	2次側ケーブル撤去
④	蒸気発生器	MCB 3P	50 / 20	ON	→	OFF	2次側ケーブル撤去
⑤	蒸気発生器	MCB 3P	50 / 20	ON	→	OFF	2次側ケーブル撤去
⑥	オイルポンプ	MCB 3P	50 / 20	ON	→	OFF	2次側ケーブル撤去
⑦	油面計制御盤	MCB 2P	50 / 5	ON	→	OFF	2次側ケーブル撤去

(新設)
受水槽内蔵型水道加圧装置用電源 (AC100V)
CE3.5'-3C (GP22)
A-1LP-1 (AL-1) 既存予備回路に接続

凡例
(電線撤去) (配管埋置き)
1V2.0×3 (PF16)
1V2.0×4 (PF22)

蒸気発生器
S
I × 4
3φ200V 2kW
(機械設備工事にて撤去)

オイルポンプ
OGP
I 3φ200V 0.75kW
(機械設備工事にて撤去)



既存キュービクル参考姿図

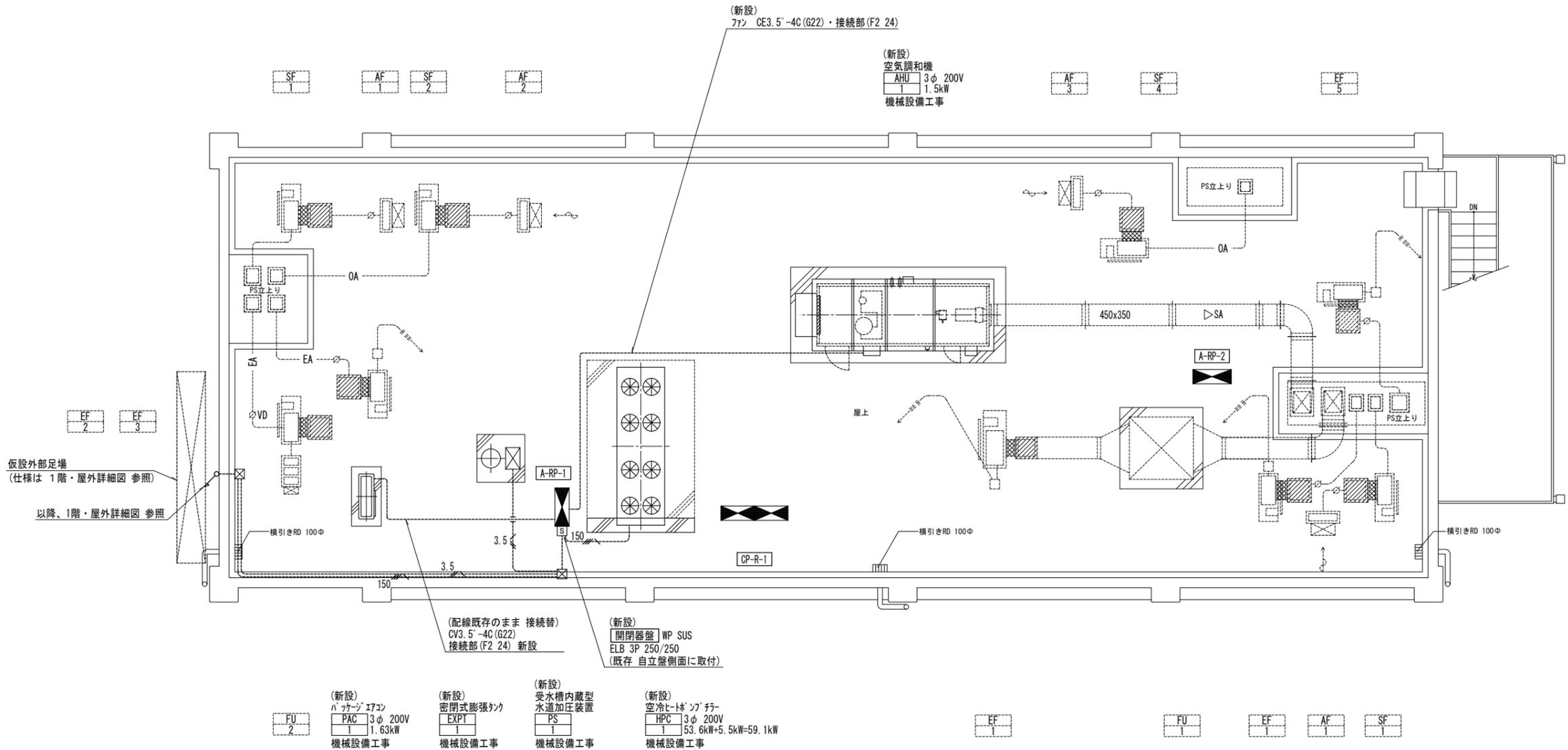
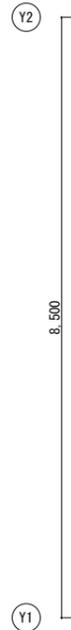
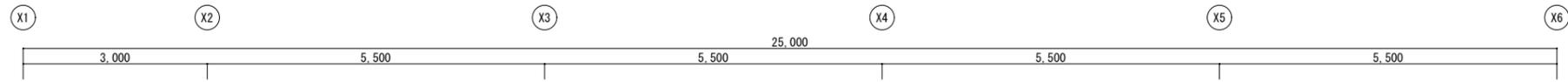
凡例

新設ケーブルリスト

	負荷名称	記号	容量	ケーブル	埋設	屋外露出
150	空冷ヒートポンプ	HPC-1	59.1kW	CET150' E22'	FEP100	GP92
3.5	受水槽内蔵型水道加圧装置	PS-1	0.1kW	CE3.5'-3C	-	GP22

☒ プールボックス WP SUS
300×300×300

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----



実験検査棟 R階 平面図

凡例

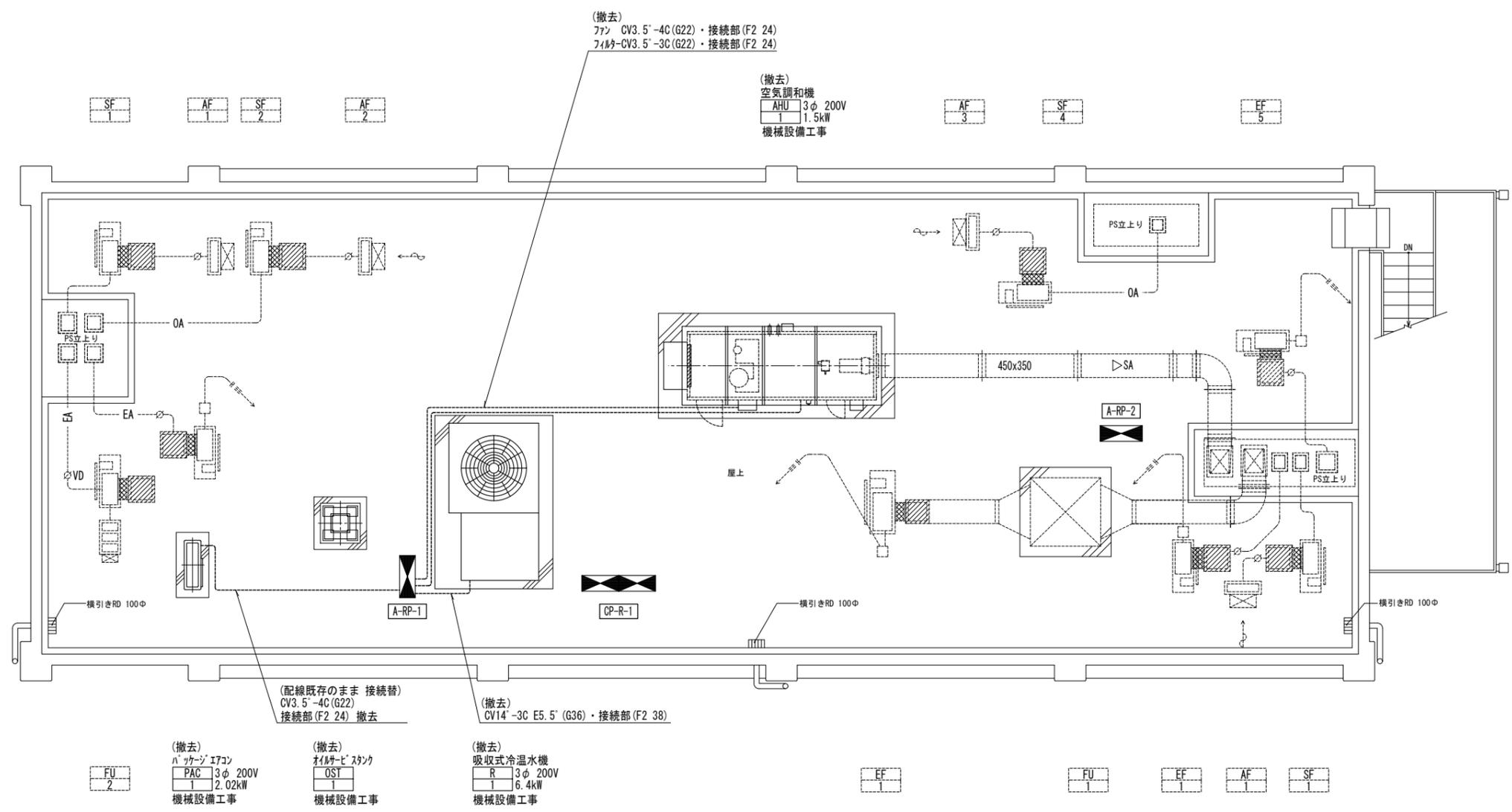
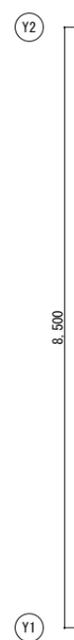
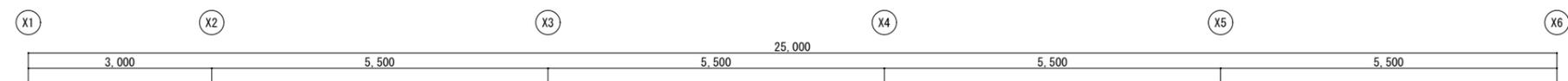
新設ケーブルリスト

記号	負荷名称	記号	容量	ケーブル	屋外露出	接続部
GP92	空冷ヒートポンプ 1	HPC-1	59.1kW	CET150' E22'	GP92	F2 83
GP22	受水槽内蔵型水道加圧装置	PS-1	0.1kW	CE3.5'-3C	GP22	F2 24

☒ プルボックス WP SUS
300×300×300

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

概要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事 図面名 R階 動力設備図(改修後)	設計図 縮尺 A 1:1:50 A 3:1:100	図面番号 E - 05
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	---------------------------------	----------------



実験検査棟 R階 平面図

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事 図面名 R階 動力設備図(改修前)	設計図 縮尺 A 1:50 A 3:100	図面番号 E - 06
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	-----------------------------	----------------

改修前 照明器具

記号	形状	電球	型番
V402	富士型	FL40W×2	FSS4-402
V402B	富士型(バッテリー内蔵)	FL40W×2	K1-FSS4-402
V402WP	富士型(防水)	FL40W×2	FSS4RP-402
V402WPB	富士型(防水)(バッテリー内蔵)	FL40W×2	K1-FSS4RP-402
C402	クリーンルーム向け 埋込型	FL40W×2	-
C402B	クリーンルーム向け 埋込型(バッテリー内蔵)	FL40W×2	-
C404	クリーンルーム向け 埋込型	FL40W×4	-
C404B	クリーンルーム向け 埋込型(バッテリー内蔵)	FL40W×4	-



改修後 LED照明器具

記号	形状	電球	型番	入力電圧
V402	直付ベースライト 富士型	LED Hf40×2 相当	LSS9-4-37	100~242V 対応
V322	直付ベースライト 富士型	LED Hf32×2 相当	LSS9-4-48	
V322HWP	直付ベースライト 富士型 防湿型	LED Hf32×2 高出力相当	LSS9MP-4-64	
C322	クリーンルーム向け 埋込型	LED Hf32×2 相当	SP-1	
C322H	クリーンルーム向け 埋込型	LED Hf32×2 高出力相当	SP-2	

- ・仕様は参考としメーカー標準品とする
- ・機器等の能力等は表示された数値以上とする

クリーンルーム向け 埋込型

SP-1	C322 : 5200lmタイプ、消費電力31.9W
SP-2	C322H : 6900lmタイプ、消費電力43.1W

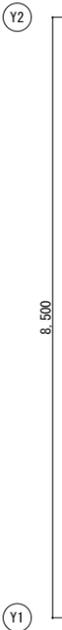
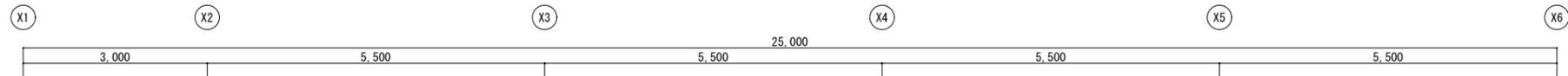
一般タイプ、ISOクラス6(多重気密)
 定格出力型、電圧100~242V
 本体・反射板:銅板(高反射白色粉末塗装)
 枠:ステンレス(クリア塗装)、カバー:倍強度ガラス(透明)
 ライトカバー(カバー):ホリカーボネート(乳白)
 光源寿命40000時間(光束維持率85%)
 昼白色(5000K)、Ra83、電源装置 内蔵

(参考姿図)

H13	LED非常照明 (JE13W相当)	H13WP	LED非常照明 防湿型 (JE13W相当)	H13C	LED非常照明 (JE13W相当)	非常照明 自己点検用リモコン																														
K1-LRS11-2	(電池内蔵)	K1-LSS14MP-2	(電池内蔵)	SP-3	クリーンルーム向け (電池内蔵)	本工事にて1台納入																														
<table border="1"> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>2.4m</td> <td>2.5m</td> <td>2.7m</td> <td>3.0m</td> </tr> <tr> <td>単体配置</td> <td>4.6m</td> <td>4.7m</td> <td>4.8m</td> <td>4.9m</td> </tr> </table>		器具取付高さ	2.4m	2.5m	2.7m	3.0m	単体配置	4.6m	4.7m	4.8m	4.9m	<table border="1"> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>2.4m</td> <td>2.5m</td> <td>2.7m</td> <td>3.0m</td> </tr> <tr> <td>単体配置</td> <td>4.5m</td> <td>4.6m</td> <td>4.7m</td> <td>4.7m</td> </tr> </table>		器具取付高さ	2.4m	2.5m	2.7m	3.0m	単体配置	4.5m	4.6m	4.7m	4.7m	<p>φ175低天井用(〜3m) LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯/常時消灯 レンズ:ガラス、カバー:ガラス(透明) 枠:ステンレス(約1つや消し仕上) 電圧:100~242V、蓄電池:ニッケル水素電池、点検スイッチ付 自己点検スイッチ付、充電端子(緑)付</p> <table border="1"> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>2.4m</td> <td>2.5m</td> <td>2.7m</td> <td>3.0m</td> </tr> <tr> <td>単体配置</td> <td>4.5m</td> <td>4.6m</td> <td>4.7m</td> <td>4.7m</td> </tr> </table>		器具取付高さ	2.4m	2.5m	2.7m	3.0m	単体配置	4.5m	4.6m	4.7m	4.7m	
器具取付高さ	2.4m	2.5m	2.7m	3.0m																																
単体配置	4.6m	4.7m	4.8m	4.9m																																
器具取付高さ	2.4m	2.5m	2.7m	3.0m																																
単体配置	4.5m	4.6m	4.7m	4.7m																																
器具取付高さ	2.4m	2.5m	2.7m	3.0m																																
単体配置	4.5m	4.6m	4.7m	4.7m																																

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

概要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限会社 クラフト設備設計	工事名称	循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事	設計図	図面番号
	R04年03月04日		栗木	栗木	佐藤 大谷	建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	図面名	照明器具 姿図	縮尺 A1 1:NON A3 1:NON	E - 07



凡例 (非常照明新設)

- EEF1.6-3C
- (新設) LED非常照明
- (新設) LED照明器具

凡例 (倉庫(1))

- ※再取付
 - ☐ 差動式スポット型感知器
 - ブランクプレート
- ※新設
 - ☐ 照明器具(直付型)

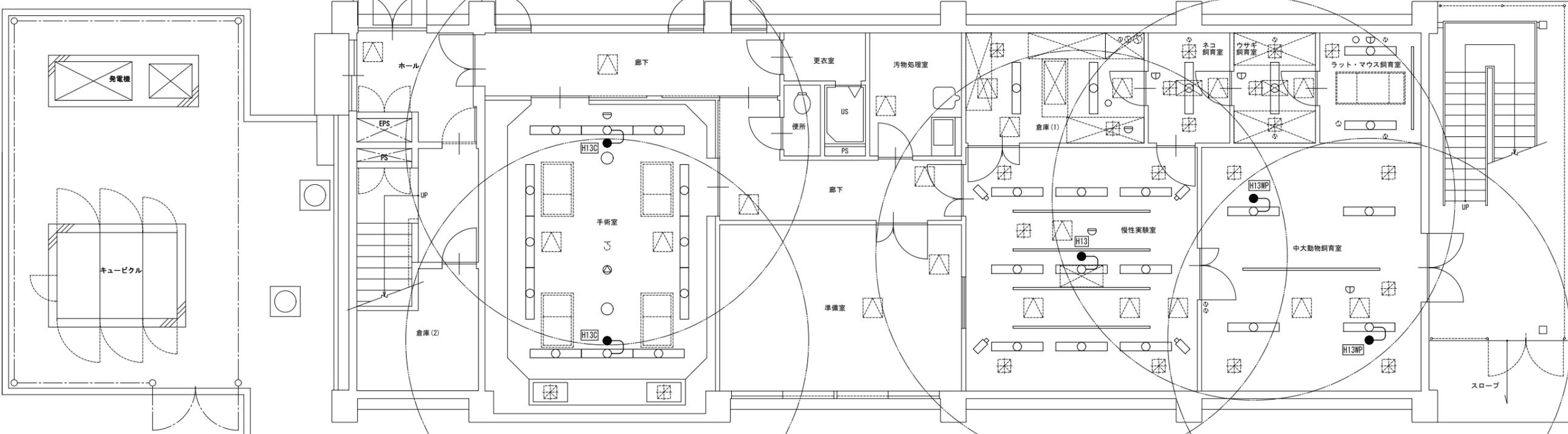
凡例 (ネコ飼育室・ウサギ飼育室)

- ※再取付
 - ☐ 定温式スポット型感知器 防水型
- ※新設
 - ☐ 照明器具(直付型)

凡例 (ラット・マウス飼育室)

- ※再取付
 - ☐ 定温式スポット型感知器 防水型
 - ブランクプレート
 - ライティングレール
- ※新設
 - ☐ 照明器具(埋込型)

倉庫(1) V322×2 ネコ飼育室 V322HWP ウサギ飼育室 V322HWP ラット・マウス飼育室 C322×2



凡例 (手術室)

- ※再取付
 - ☐ 差動式スポット型感知器
 - ⊙ 天井直付スピーカー
 - 無影灯
- ※新設
 - ☐ 照明器具(埋込型)

実験検査棟 1階 平面図

凡例 (慢性実験室)

- ※再取付
 - ☐ 差動式スポット型感知器
 - ☐ ITVカメラ(天井吊下げ)
 - ライティングレール
- ※新設
 - ☐ 照明器具(直付型)

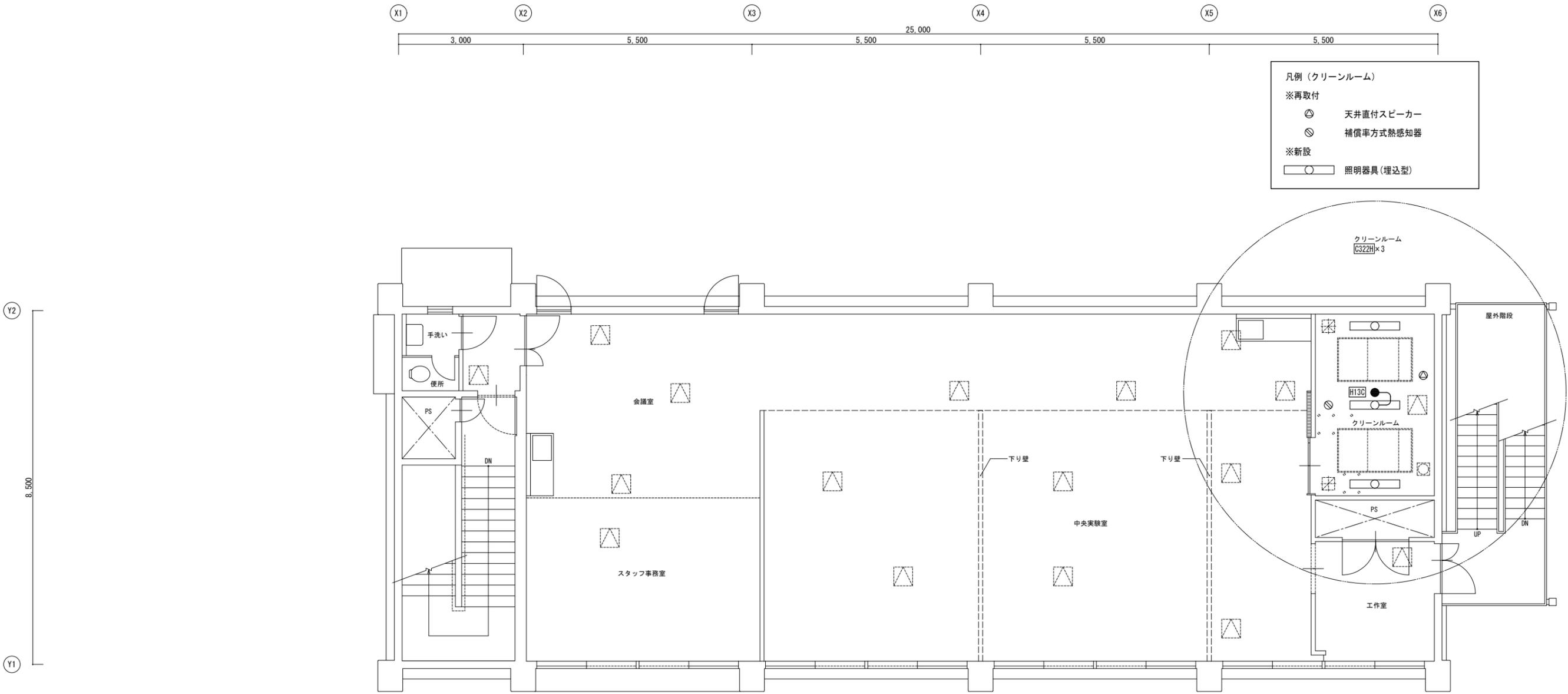
凡例 (中大動物飼育室)

- ※再取付
 - ☐ 定温式スポット型感知器 防水型
 - ライティングレール
- ※新設
 - ☐ 照明器具(直付型)

手術室 C322×12 慢性実験室 V402×9 中大動物飼育室 V322HWP×4

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

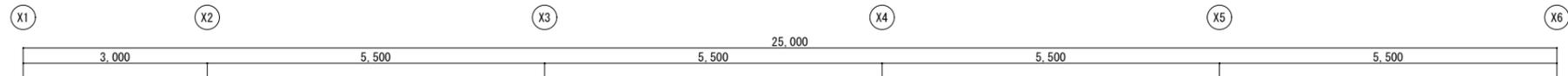
概要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷水発生機改修工事	設計図 1階 電灯設備図(改修後)	図面番号 E - 08
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------	----------------------	----------------



実験検査棟 2階 平面図

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

概要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限 会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 本高 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事 図面名 2階 電灯設備図(改修後)	設計図 縮尺 A 1 1 : 50 A 3 1 : 100	図面番号 E - 09
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	-------------------------------------	----------------



凡例 (倉庫(1))

※取外し

- ☐ 差動式スポット型感知器
- ブランクプレート

※撤去

- ◯ 照明器具(直付型)

凡例 (ネコ飼育室・ウサギ飼育室)

※取外し

- ☐ 定温式スポット型感知器 防水型

※撤去

- ◯ 照明器具(直付型)

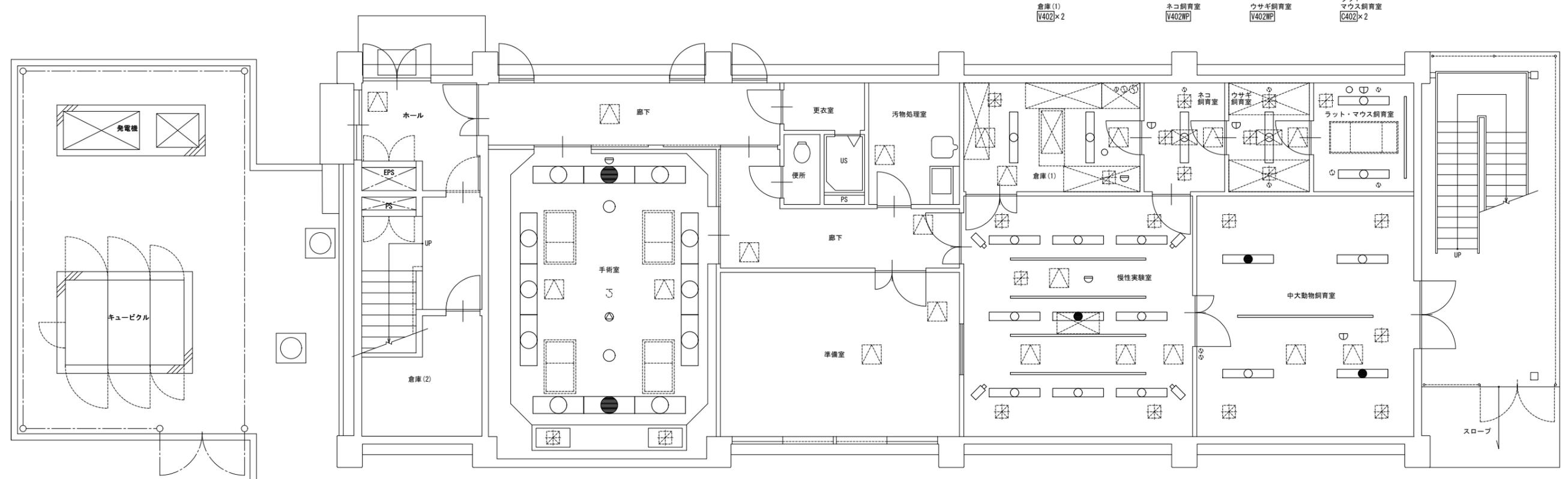
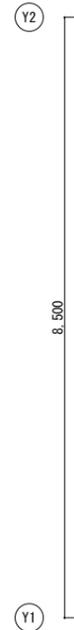
凡例 (ラット・マウス飼育室)

※取外し

- ☐ 定温式スポット型感知器 防水型
- ブランクプレート
- ライティングレール

※撤去

- ◯ 照明器具(埋込型)



倉庫(1) [V402]×2
 ネコ飼育室 [V402WP]
 ウサギ飼育室 [V402WP]
 ラット・マウス飼育室 [C402]×2

手術室 [C404]×10
 [C404B]×2

凡例 (手術室)

※取外し

- ☐ 差動式スポット型感知器
- ⊙ 天井直付スピーカー
- 無影灯

※撤去

- ◯ 照明器具(埋込型)
- 照明器具(埋込型) (バッテリー内蔵)

慢性実験室 [V402]×8
 [V402B]×1

凡例 (慢性実験室)

※取外し

- ☐ 差動式スポット型感知器
- ☐ ITVカメラ(天井吊下げ)
- ライティングレール

※撤去

- ◯ 照明器具(直付型)
- 照明器具(直付型) (バッテリー内蔵)

中大動物飼育室 [V402WP]×2
 [V402WPB]×2

凡例 (中大動物飼育室)

※取外し

- ☐ 定温式スポット型感知器 防水型
- ライティングレール

※撤去

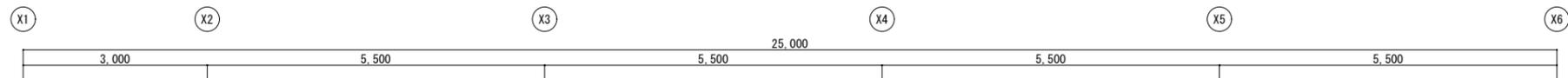
- ◯ 照明器具(直付型)
- 照明器具(直付型) (バッテリー内蔵)

実験検査棟 1階 平面図

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

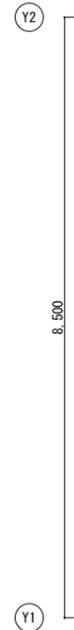
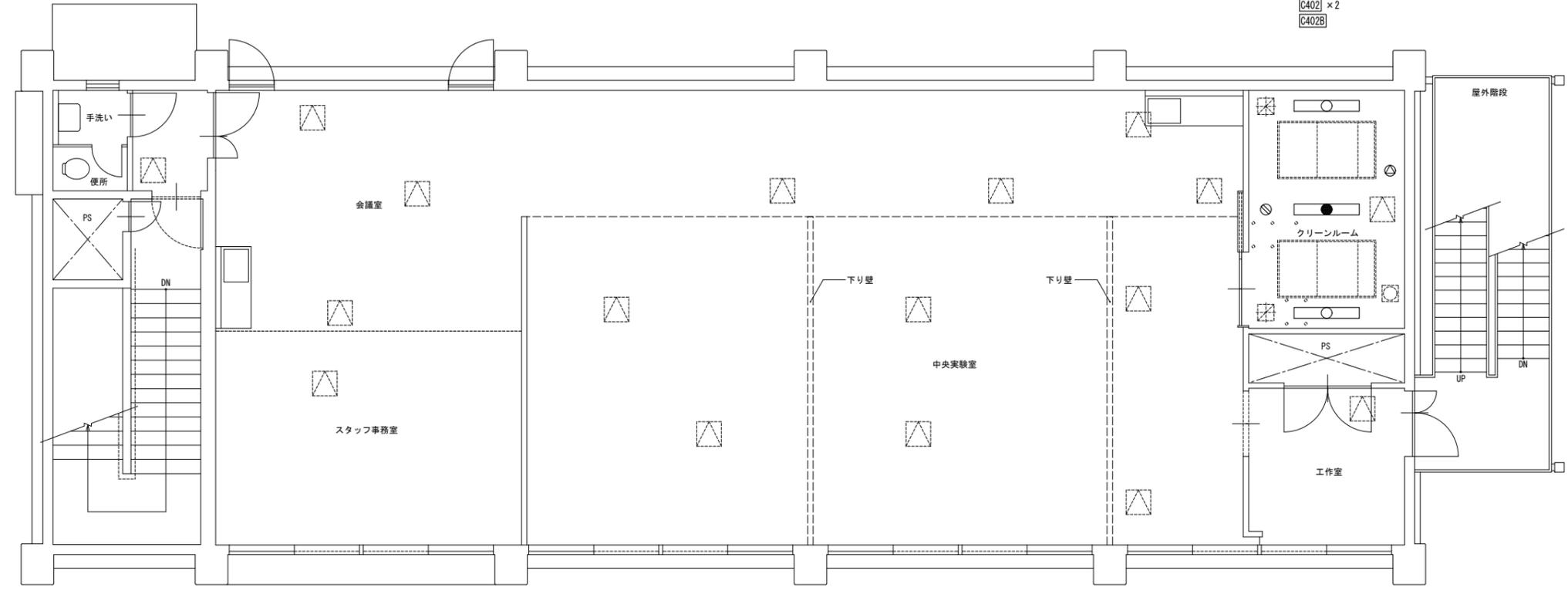
概要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷水発生機改修工事	設計図 1階 電灯設備図(改修前)	図面番号 E - 10
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------	----------------------	----------------

縮尺 A 1 : 50
 A 3 : 100



- 凡例 (クリーンルーム)
- ※取外し
 - ⊙ 天井直付スピーカー
 - ⊗ 補償率方式熱感知器
 - ※撤去
 - 照明器具(埋込型)
 - 照明器具(埋込型) (パナソニック内蔵)

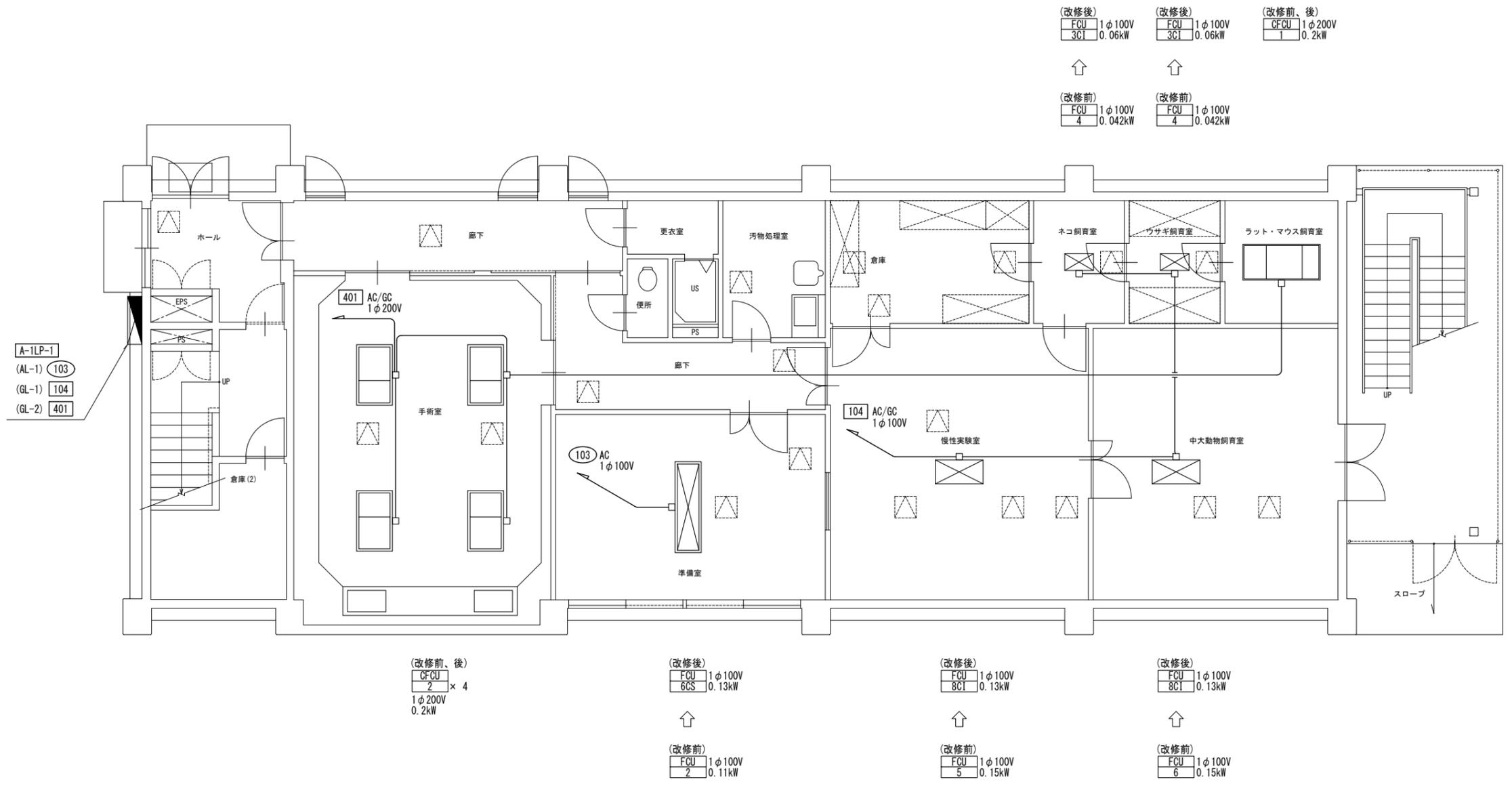
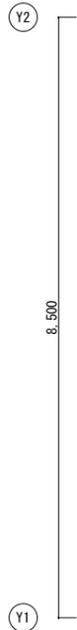
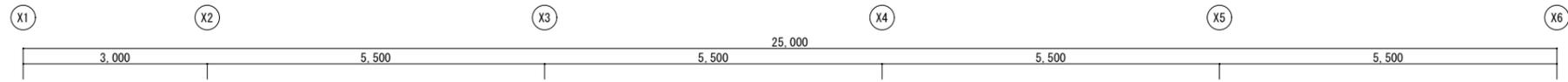
クリーンルーム
C402] × 2
C402B



実験検査棟 2階 平面図

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限 株式会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 本高 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事	設計図	図面番号
	R04年03月04日		栗木	栗木	佐藤 大谷		2階 電灯設備図(改修前)	縮尺 A 1 1 : 50 A 3 1 : 100	E - 11	

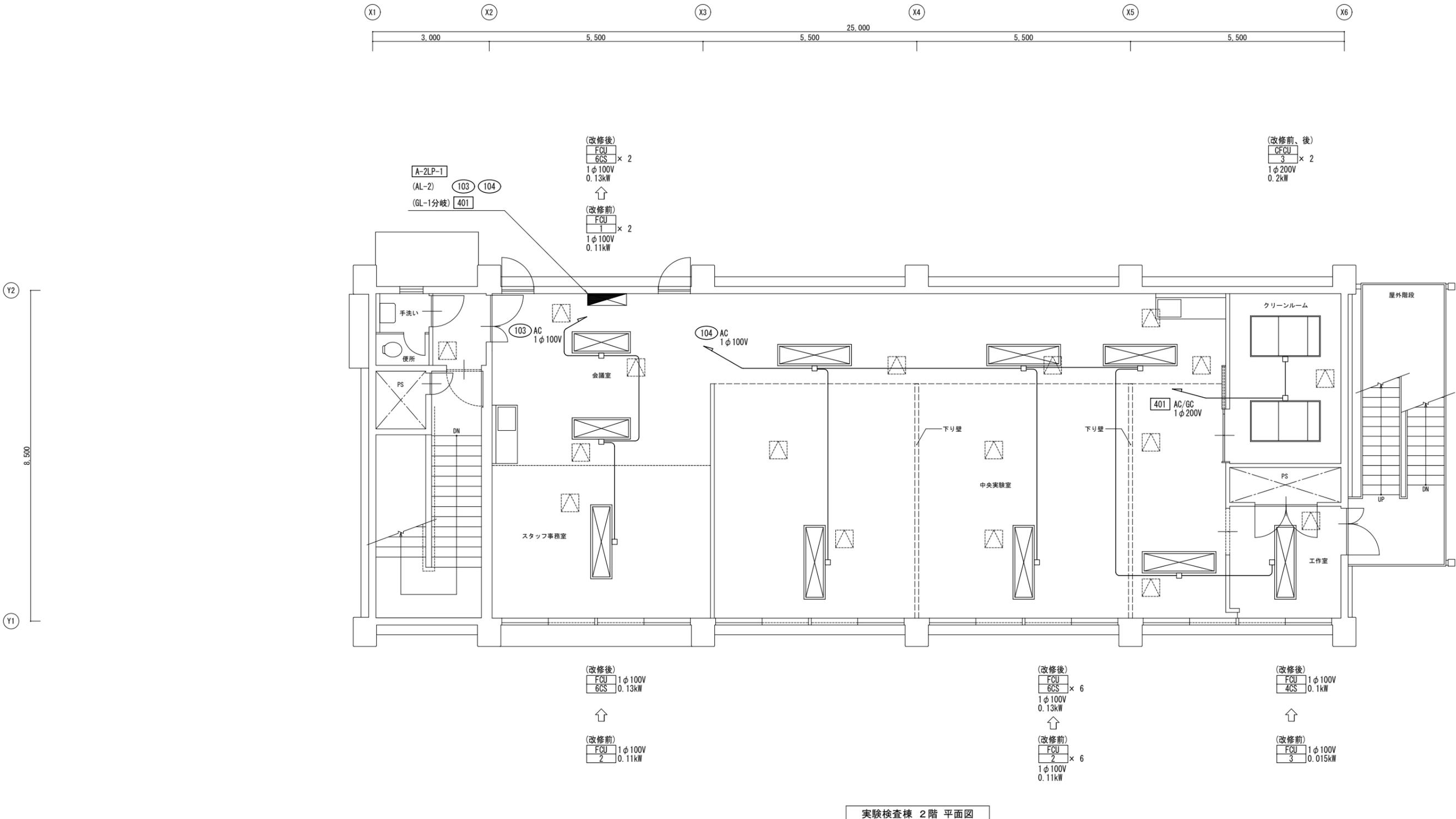


実験検査棟 1階 平面図

- ・ファンコイル電源ケーブル 既存のまま、再利用
- ・ファンコイル更新に伴い、既存電源ケーブル取外し、再接続

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

摘要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷水発生機改修工事 図面名 1階 ファンコイルユニット電源 接続図(改修前、後)	設計図 縮尺A 1:50 A 3:100	図面番号 E - 12
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------	----------------



実験検査棟 2階 平面図

- ・ファンコイル電源ケーブル 既存のまま、再利用
- ・ファンコイル更新に伴い、既存電源ケーブル取外し、再接続

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
----------------------------	-----	-----	----	----	----

概要	設計年月日 R04年03月04日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有限会社 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M号 一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 循環器・呼吸器病センター 実験検査棟 吸収式冷温水発生機改修工事 図面名 2階 ファンコイルユニット電源 接続図(改修前、後)	設計図 縮尺 A 1 : 50 A 3 : 100	図面番号 E - 13
----	---------------------	-------	----------	----------	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------	----------------